

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

MAY, 1920 No. 29.

大正九年五月

青島實業協會

月報

第貳拾九號

大正七年八月十九日第三種郵便物認可 (每月一回二十日發行)
大正九年五月二十日發行



△本號要目▽

△青島物價表	△統計	△青島港出入汽船一覽表	△倫敦銀塊相場	△法商銀行	△協會商店彙錄	△青島商社	△青島雜要	△青島經濟要商	△內要貿易品商	△主運及鐵	△海運及鐵	△貿易及鐵	△工資	△資
--------	-----	-------------	---------	-------	---------	-------	-------	---------	---------	-------	-------	-------	-----	----

青島實業協會月報 第貳拾九號 目次

資 料

△銀價下落と青島市況……………一

工 業

△青島に於ける卵粉業概況……………四

貿 易

△青島貿易近況(三月中)……………二

△主要輸出入貨物情勢(三月中)……………二

△民船貿易概況(四月中)……………二

海 運 及 鐵 道

△青島最近出入船舶(三月中)……………一三

△内地最近海運市況……………一三

△青島海運界近況……………一三

△内地對歐運賃引締……………一三

△遠洋復航沈滞……………一四

△三驛發著主要貨物情勢(三月中)……………一四

△濟南驛發著貨物情勢(四月中)……………一五

△八年度山鐵輸送貨物……………一六

△山鐵輸送貨物比較……………一六

△八年度博山驛發著貨……………一七

主要貿易品概況 (五月中)

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □洋紙 □木材 □米
 落花生油 □落花生實 □石炭 □牛肉 □鹽 □桐材

内外經濟要報

△綿業シンジケート愈進捗……………二〇

△戰後世界變遷の實態……………二一

△銀價の前途不勢……………二二

△銀の生産に就て……………二三

青 島 雜 錄

□低資供給請願 □埠頭積卸料金 □灣鹽輸入命令數量
 □埠頭の新造曳船 □兩炭坑出炭量 □魚市場水揚高
 □營業許可件數 □邦人にも課税 □郵便爲替貯金 □
 屠畜數大減退 □臺東鎮管内家畜數 □鐵道客貨增加
 □取扱患者數 □料金後納電報數 □戰跡保存計畫 □
 發電所現在燈數 □嶗山療養所修築 □電話規則改正
 □八年度山鐵輸送客

青島要覽

△山東町町勢一班.....三〇

會社商店彙報

□齊魯燐寸許可 □川崎工場着手期 □帝國製糖規模
□秋田商會組織變更 □和田製材所拂込 □三業會社登
記 □福隆燐寸拂込 □青島醬油總會 □試運轉好成績
□相互建築總會 □漁業組合認可 □取引所竣成 □鈴
木容器工場 □二五會本許可 □福隆創立總會 □三業
組合許可 □興業會社設置願

協會錄事

△定例總會(六月).....三五
△工業部例會(五月).....三七
△工業部主催太田氏送別會.....三八

附屬運動部彙報

□△太田氏送別會.....三九
△協會テニスコート開き.....四〇
△全青島庭球試合.....四〇
□短艇競漕參加.....四〇

法規

△電話規則.....四〇

△電話通話規則中改正.....四五

倫敦銀塊相場

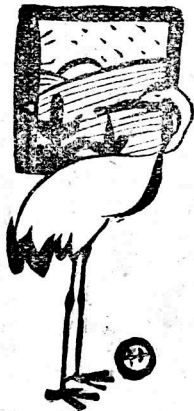
△大正九年五月中表示.....四六

寄贈書類目錄

△大正九年四、五月到著分.....四六

統計表

△青島港出入船舶細別表(四月中).....四八



青島實業協會月報 第貳拾九號

資料

銀價下落と青島市況

△銀價の漸落

一時八十片臺を突破せし倫敦銀塊相場も四月下旬に至りて稍軟調を現はし日々漸落の歩調を辿りしが五月に入りて急に暴落を告ぐるに至れり蓋今次の倫敦銀塊相場が何等投機思惑を包含し居らざることは一般の認むる所即ち戦争の終熄に伴ふ歐米軍の占領地帯に於ける貨幣の需要激減其他の原因により從來の如き昂騰の可能性を有せざる事を推定するに難からず近時米國政府の採り來れる投機思惑の防遏手段たる資金制限策は銀塊の取引業者にも及び紐育銀塊が稍頽廢的趨勢を示し來れる等は此間の消息を語るものと見て可なるべし、更に支那市場に於ける銀價の趨勢を見るに四月八日の上海對英爲替相場は六志を割りて五志九片に落込み之に順應して對日爲替四十五兩四分の三と急激の暴騰を示せるは對英爲替の激落及支那に於ける對外輸出貿易の不振等與つて力ある事勿論にして戰爭中勃興せる支那の輸出貿易が平和克復と共に舊態に復せむとするは當然なりと目さる

△青島貿易に及ぼせる影響

事情斯の如くなるを以て日本の對支爲替は過般來漸次昂進の趨勢を辿り益輸出不利の情勢を示しつゝあり一方内地經濟界の趨勢を見るに財界の惡化に従ひ金融業者は益警戒の度を加へたるにより金融甚だしく硬塞し株式の崩落に引續き綿糸布界の恐慌

を惹起し牽て諸物價の暴落となり一般經濟界の動搖甚だしき際銀價の暴落に遇ひ對支輸入商は大打撃を受け窮狀其極に達せる有様なれば對日貿易を主とせる當港の貿易界が輸出入共頗る振はざるは其所にして殊に輸出貿易に在りては各商店共五十萬圓或は百萬圓位宛銀高當時（二百圓以上）の輸出爲替を抱込み居れるを以て例令銀の低落により或種の貨物に對し採算有利となるものもあるも高値時代の爲替を使用せざる可からざる立場に在り銀價の小戻し等により損失の幾分を輕減し得ることありとすも此窮境より脱却するは蓋し容易の業に非ざるが如し次に輸入貿易に就て述べんに銀の暴落と共に輸入爲替は著しく不利に傾き輸入品は銀呼値を引上げたるを以て支那商人は仕入高に伴ふ奧地相場を氣支ひ安値待買控の態度を採れる爲め自然商況の不振を招致するに至れり故に例令有利なる爲替を所持するものあるにもせよ目下の商狀窮況に對し策の施すべき無く活潑なる荷動き望まれざるが如し

△主なる商品との關係

□綿糸布 戰後の好調に乘じ突非の高値を持續し來りし本邦綿糸布界も財界の突風に遇ひて大崩落を演じ市場を攪亂し四月二十六日大阪定期綿糸は三百九十圓と本年度の高値より三百餘圓方の大慘落を演じ恐慌時代を現出せる一方久敷問題となり居れる細糸禁輸も何時解禁を見るべしとの見定め付かざりし爲め商館筋は何れも支那向輸出爲替の取極を躊躇せる際銀價の暴落に遭遇し輸出爲替は刻々不利の狀態に陥り氣配益惡化するに至れり此慘狀を目撃せる上海、天津、青島市場も恐怖の投物さへ現はれ相場は連日棒下げの有様にて市場の買氣全く萎縮し上海、天津の兩定期市場並に各大口手持筋は銀の暴落と相場の慘落と

により悲痛なる打撃を蒙りたるも當市場は過般來金融逼迫の爲商館筋一體大口手持を差控へ居たるにより其受けたる打撃も左程に大ならざるものゝ如し

○**燐寸** 財界の變動金融硬塞の爲め日本内地市場投物續出し輸入の有利を誘ひしが折柄銀價の暴落に遇ひ輸出爲替は著しく不利の状態に陥りたる一方當地製品も生産力の恢復と共に手持筋一齊賣急の氣味にて漸次相場の下向を促し輸入の不利を招致せり

○**砂糖** 原糖に引締められ日本内地は依然高値を持続せるが銀價の暴落に従ひ漸次逆轉の奇現象を現はし四月中は却て日本に向け青島在荷を逆送せる程にて爾來銀價の漸落と共に日本糖に對しては全然引合なく輸入不可能の状態に推移せり然れど銀建値の品物に對しては前途益銀安見込にて思惑買を爲せる向ありて多少の荷動きを見つゝあり

○**洋物雜貨** 支那人向洋物雜貨は銀の暴落により自然賣價を引上られたるを以て支那商は仕入高に伴ふ奥地相場引上難を考へ安値待の態度にて買控へ居れる爲め全然荷動き無く頗る閑散の商狀を呈せり

○**米** 米の當港に輸入せらるゝものは主として青島及沿線在住邦人飯米に使用せらるゝを目的とするものにして支那人に使用せらるゝは僅かに一少部分に過ぎず從來當地方に於ける邦人の需要米としては朝鮮米最も勢力あり青島及沿線、濟南に迄輸送せられしが相場の暴騰に従ひ漸次上海米の輸入を呼び現在に於ては全く主客を顛倒し朝鮮米は單に壽司米として僅かに需要の途を繼ぎつゝあるの實情に在るを以て銀仕入の上海米は銀價の暴落と共に金仕入の朝鮮米に對し益大巾の値開きを見せ三斗入

一以金九圓六拾錢といふ近頃珍らしき安値を示すに至れり故に在住邦人は著しく生活費に餘裕を生ずる事となり一般需要の激増と共に商人筋買進み輸入の増加を示せり

○**卷煙草** 當港に輸入せらるゝ紙卷煙草は東亞、朝鮮、東華（以上日本人經營）南洋（支那）英米（英米トラスト）の各會社製品及埃及煙草の各種にして頗る多種に亘り居れるが邦人經營の三社を除くの外は悉く銀建値を用ひ居れるを以て今回銀の暴落により先影響を受くべきは是等の外品に非ずして却而金建たる邦人會社の製品たり就中東亞の「金瓢」「スピア」の如き銀高を利用して販路の擴張に勗め久敷銀建たる南洋の「双喜」「英米の」「ニユーヨーク」等に對し有利の商狀を續けしが銀の暴落と共に遽かに反對の現象を呈し昨今市中小賣「金瓢」「スピア」「七錢」「双喜」「七錢」「紐育」「六錢」を唱へ「双喜」「紐育」の賣行を増加せるに似たりされど日本人向口付紙卷煙草は邦人會社の獨占にして外人會社には之が對抗品なく常に需要に追はれつゝありて何等の影響を受くる事無し

○**落花生油同實** 米國市場の不味により急轉直下の大暴落を演じたる花生油は銀相場の暴落により打撃の幾分を輕減せられたる如き觀あるも事實は却て反對にして花生油及實の需要國たる米國は同時に世界の銀產國として有力なる銀市場を有し倫敦市場を凌駕せん勢あり銀價の變動に對しては尤も敏感なるを以て銀價の暴落による本品の採算如何は先米市場に於て裁定せられ注文を發せらるゝ譯なれば此場合爲替の變動により有利なる商狀を獲得せん事は絶對に期待せられず殊に米國政府の採りたる資金制限策は徒らに米市場の金融を硬塞せしめ商狀伸びず日本内地も堆貨山積の有様にして更に買氣無く氣配沈衰の極に達せ

るが例令商況の好化を見る事あるも高値時代の輸出爲替を抱込み居れる當地貿易商は銀の暴落に伴れ激落せる内地相場に對し二圓以上の爲替を使用せざる可からざる立場に在り一方油の受渡問題もあれば茲一整理を終らざる間は活潑なる商狀は望まれざるべし

○**鶏卵** 鶏卵の日本輸出は毎年産卵期たる五六月頃を以て最も旺盛の時期とせられしが本年は四月に入ると共に銀の激落に従ひ採算頗る有利となりたる爲め輸出商は極力之が輸出に励め聊か賣競ひの氣味にて幾分内地相場の下落を招きしが銀の暴落は之を度外視して益輸出を有利に導き別表の如き輸出の盛況を見るに至れり

○**豆粕** 内地肥料界不味の影響を受け相場は却て逆鞘となり商狀全く萎縮するに至りしが銀價の暴落と共に再び出合姿となりたるも時既に内地金融の逼迫極度に達しさらでだに不味の商狀に在りたる斯界の氣配を減入らしめたる爲め全然買氣出でず市況全く沈衰せりされば四月中旬頃迄は多少舊約物の積出しを見たるも爾來商狀益惡化し全然積出し出來ず

○**牛肉** 日本向輸出牛肉は年を逐ふて旺盛を告げ本年一、二、三、四月を通じて既に一萬五千六百餘頭の枝肉を輸出せり生肉の輸出は毎年十月頃より翌年五月頃迄に限られ其後は暖氣の爲腐敗の恐あるを以て中止するを例とせるが本年四月以降銀價の激落により採算著しく有利となり頗る輸出の盛況を示せり

自大正九年四月十五日 銀塊並爲替相場
至大正九年五月廿五日

月 日 銀塊 相場 正金 日本向爲替相場

四月十五日 六十八片 3/4 一九四、〇〇〇 一八六、〇〇〇
十六日 六十八片 一八八、〇〇〇 一八二、〇〇〇

十七日	六十七片	3/4	一八八、〇〇〇	一八二、〇〇〇
十八日	日 曜			
十九日	六十八片	1/2	一九二、〇〇〇	一八六、〇〇〇
二十日	同		一九六、〇〇〇	一八八、〇〇〇
二十一日	同		同	同
二十二日	六十八片	5/8	一九八、〇〇〇	一九〇、〇〇〇
二十三日	同		一九四、〇〇〇	一八六、〇〇〇
二十四日	六十九片	1/2	同	同
二十五日	日 曜			
二十六日	六十九片	5/8	一九七、〇〇〇	一八九、〇〇〇
二十七日	六十九片	5/8	一九四、〇〇〇	一八六、〇〇〇
二十八日	六十五片		一八六、〇〇〇	一七六、〇〇〇
二十九日	六十六片	1/8	一八一、〇〇〇	一七三、〇〇〇
三十日	六十六片		一八三、〇〇〇	一七五、〇〇〇
三十一日	六十四片	1/2	一八〇、〇〇〇	一七二、〇〇〇
五月一日	日 曜			
二日	六十三片	3/4	一七一、〇〇〇	一六三、〇〇〇
三日	六十五片	1/2	一七三、〇〇〇	一六五、〇〇〇
四日	六十四片	5/8	一七一、〇〇〇	一六三、〇〇〇
五日	六十三片	1/2	一六八、〇〇〇	一六〇、〇〇〇
六日	六十二片	1/4	一六三、〇〇〇	一五六、〇〇〇
七日	六十片		一五六、〇〇〇	一四九、〇〇〇
八日	日 曜			
九日	六十一片	5/8	一五六、〇〇〇	一四九、〇〇〇
十日	六十一片	1/2	一五九、〇〇〇	一五二、〇〇〇
十一日	六十片	3/4	一五四、〇〇〇	一四七、〇〇〇
十二日	五十九片	3/4	一五六、〇〇〇	一四九、〇〇〇
十三日	五十八片		同	同
十四日	五十八片	1/8	同	同
十五日	日 曜			
十六日	五十八片		一五八、〇〇〇	一五一、〇〇〇
十七日	五十八片			

十八日	五十八片	1/2	一六三、〇〇〇	一五六、〇〇〇
十九日	五十八片	3/4	一六九、〇〇〇	一六二、〇〇〇
二十日	五十八片	1/4	一六八、〇〇〇	一六一、〇〇〇
二十一日	同		一七〇、〇〇〇	一六三、〇〇〇
二十二日	五十八片	1/2	一七〇、〇〇〇	一六三、〇〇〇
二十三日	日曜			
二十四日	五十九片	1/4	一七〇、〇〇〇	一六三、〇〇〇
二十五日				

青島貿易各年別(三、四、五月分)比較表

年 別	三 月		四 月		五 月	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
大正六年	四四、七九六	四三、〇九四	三八、七四一	三六、六四四、五	四一、九五・	三八、四八〇
同 七 年	三八、三八一	五〇、八三六	三〇、五三四	四四、二七九	三〇、八八二	三五、三四五
同 八 年	三四、八九七	七、〇六四	三三、八三三	五、五三七	四〇、五九七	五八、二九七
同 九 年	三七、四三〇	三、六九一	三七、八七九	六七、九〇六	一三、七四七	一九、七二七

主要輸出入品各年別(四、五月)比較

品名	大正七年		大正八年		大正九年	
	四月	五月	四月	五月	四月	五月
△輸入						(十日迄)
綿絲	二五二五八	四一七二三	三〇八四三	三四二四〇	九三三七	六九七七
綿布	五九一〇	六四四〇	一〇三九四	一三九八八	一一一四	二六七一
砂糖	一六八四九	五三五六	三九九九	六七六	三四五	一四五一
赤糖	二八〇九一	九七六六	二七四二	六四二	二〇三九	九七八
礬寸	一五七九九	一五七七八	一七五〇	一五五九二	三八八二	五三五一
卷煙草	九八三	五三三六	一五八〇	一一七三	一四八二〇	三三一
米	五七八八	八三三六	一一八三	一五五二	一四九四	二五四
洋物雜貨	四九〇九	三八三二	五七七七	六七七六	六五〇九	二五二七
△輸出						
落花生實	三七五〇	二三〇八七	七一八五	七八八九	六四四八	一八七六四
同油	三〇九六〇	二七三〇八	四八三三一	一一一五七三	三一八六五	一〇三三三

工業

青島に於ける卵粉業概況

△卵粉業の沿革 支那に於ける卵粉業沿革を探ぬるに近々十數年以前頃人某氏始めて支那に於ける鶏卵の豊富なるに着眼し之が貯藏の方法に就て種々研究の結果卵粉製造の方法を案出し其製品を遠く歐洲市場に輸出して好評を博せしに始まり其製法至極簡易にして且小資本を以て事業を經營し得らるゝ便あり支那人中にも之に倣ひて工場を開始するもの漸次多きを加へ其製品は益々歐洲方面に需要あるに至れり殊に過般歐洲大戰に際し其の戰時携帯食糧品として夥だしき需要を喚起したるを以て斯業の勃興は茲に期せずして一大氣勢を示すに至れり即ち現在に於ては上海、鎮江、南京、蕪湖、九江、漢口、沙市、福州の各地方より拱花、新郷、天津、濟南、青島に及び山東省内生産額のみを以てするも一ヶ年九萬擔以上に達し青島港輸出額は年銀百六十萬元を超過するに至れり而して青島に於て始めて卵粉の製造を開始せるは千九百九年の頃にして「カールユーベック」「コロンビヤ」の獨人經營の二會社ありしが戰後獨人の引上と共に大倉組及大星公司の二社之に代りて起り戰後の活況に乘じ旺んに製造輸出に努力せしが大正八年に至り大倉組は其事業一切を擧げて之を日支鶏蛋公司の經營に移し現在に於ては青島に日支鶏蛋及大星の二工場あり張店に日支鶏蛋分工場あり濟南に中華、

豆	一、四八七	七、五〇二	四、一八九九	一、三四三三	九、四三七	—
粕	六、三七七	四、七七七	八、八六四	九、一九七	九、〇〇三	三、六七
牛	九、五九九	七、二	二、四四八	三、八五	三、四四三	一、六三七
肉						
鶏						
卵						

蛋廠、東亞蛋粉及振華蛋廠の三工場ありて合計一日二萬百五十斤の生産力を有し當港より輸出せらるゝ蛋粉は漸く世界的に注目を惹くに至れり

△鶏卵の産地及産額

支那に於ける養鶏は農家の副業として到る處之を飼育せざるは無く殊に山東省は他省に比し農事の發達せる丈け多數の養鶏を見るされど毎年各戸の必要に應じ種卵を孵化せしめ三四年頃に至れば或は食用に供し或は販賣するを以て常に異動ありて省内に於ける家鶏に對し的確なる數字を掲ぐるは至難なりと雖ども大正元年度の支那官憲の調査によれば成育せる家鶏の概數を一百萬羽と計上せる事あり然れど此數字は餘りに少數に失せるものにして現在省内の戸口數より其他諸般の家鶏に關する資料を綜合し將又李村管内に於ける養鶏狀態等より推考するときは其數百八十萬羽を下らざるべく而して之を五雌一雄の配合として牝鶏百五十萬羽と見積りは大差無かるべしと傳へらる省内に於ける牝鶏數は前述の如くなるが牝鶏は凡て孵化後六七ヶ月にして産卵を始め一ヶ年六十日乃至百二十日間産卵し三四ヶ年にして肉用に供せらるゝを普通とするが故に一年平均約七十個の産卵を爲すものとし之を基準として其産卵數を計算するときは年産額約一億〇五百萬個を得べし故に此内より毎年輸出額千百三十一萬八千餘個(大正八年中輸出)を差引尙食用として約一千萬個を控除するときは約八千萬個の蛋粉原料を得べし、而も一日の消化能力克く二百二十七萬個を算する省内蛋粉製造工場に對し八千萬個の原料卵は甚だ寡少に失するの嫌あるも濟南、張店、青島及其他二三の工場を除く以外は省外の鶏卵集數市場たる黄河沿岸、大運河沿岸及津浦線沿道の各市場より交通の便を借りて鶏卵の吸集を企つるは容易なるを以

て萬一蛋粉需要旺盛時期に於て省内の産卵に不足を感ずる場合に於ては此附近の各工場は不足を省外の鶏卵を仰ぐ事却つて經濟上甚だ有利なるものあり若し其れ産卵の價格昂騰し家鶏の飼育が商品として採算有利なるに於ては山東省内の産卵額を現在の三倍位に増加せしむるは至難の業に非ざるべしといふ其省内に於ける生卵の主なる集散市場を示せば左の如し

一 芝罘、青島、濟南、德州、兗洲、清河鎮、濰口、濟寧、
一 黄河沿岸各市場、大運河沿岸各市場

△鶏卵の買付 鶏卵の出廻時期は産卵の最も多き時期にして春より初夏にかけ三、四、五、六の四ヶ月及九、十、十一の秋期に於て最も多く出廻りを見七、八の兩月は減少し十二、一、二月は最も寡少なりとす各蛋粉工場に於ては需給の關係により随時間屋筋と賣買契約を爲すか或は工場員を附近集散市場或は産地に派して買入に従事せしむ鶏卵の賣買法には從數法及從量法の二あり從數方は數により値を建つるものにして大抵一千個建銀何圓と相場付を爲しつゝあり此方法に従へば小型の鶏卵を多く取扱ふに至る不便あり、亦從量法は量目により相場を建つるものにして戦前に於ける賣買方法は多く此法に従ひ一千個當重量何程價何程として取引せられしが現在蛋粉原料として買付を爲す場合に用ひらるゝ方法は前記二法を折衷せるものにして先づ鶏卵を大卵、中卵、小卵の三種に區分し出廻最も多き中卵(一個の量目十二匁)を基準として一千個銀幾圓と相場付を爲すを普通とせり故に此基準より大型の物に對しては幾分相場を引上小型のものに對しては相場を引下ぐるものとす。相場は青島の如き二卵粉工場を控へたる一方毎月尠なからざる日本輸出を爲しつゝある地方に在りては常に一定せず出廻の時期及需

要の増減等により騰落を示し現に本年四月の如き月始千個銀十一、二元見當を唱へつゝありしか蛋粉市況の不味に遭ひて大星公司は全然其作業を休止し日支鶏蛋亦既約品の製造に止め鶏卵の需要激減するや遽かに市中在荷潤澤となりたる爲め銀價の暴落を眺めつゝ相場は九元五十錢迄暴落せり其後出廻の減少と共に稍持直したりとは云へ腐敗性を有せる本品の如きは相場不引合の場合と雖も他品と異なり手持を爲すべき可能性を有せざれば需給關係如何は直ちに市價變動の因を爲しつゝあり

△卵粉の種類 現在支那に於て製造せられつゝある蛋粉の種類は左記六種に區別する事を得るも支那人經營に屬する工場は主に土方により機械を使用するは最も稀なるに反し外人經營の各工場は殆んど機械を使用せざるは無き有様にして其製品も自然二分せられ即ち機械工場に在りては主として塊蛋白、蛋白粉、蛋黃粉の製造に従事し土方工場は主に塊蛋白、卵黃液、卵黃粒の製造に従事しつゝあり而も其製品の粗雜にして一種の臭氣を有する事等邦人工場製品に對し甚だしく遜色あり相場も常に二三割の値開きありといふ

塊蛋白 (Crystal albumen)

蛋白粉 (Spray albumen)

蛋黃粉 (Spray yolk)

卵黃液 (Liquid yolk)

混合卵粉 (Whole eggs)

蛋黃粒 (Granulated yolk)

△卵粉の用途 歐米に於ける卵粉の用途は近年に至り著しく擴大せられたると共に其製法も亦改善せられて生卵中に含有せる營養價值は寸毫も減損せらるゝ事無く貯藏久しきに堪ゆるを以

て滋養食料品としては勿論各種工業用原料として益需要の激増を見るに至りたるが生卵に比すれば却而品質の統一せられたる價格の低廉なる敗腐の恐なき等の特長あり殊に之に完全なる包装を施すに於ては數年の久しきに亘り變色變質の怖なく保存し得らるゝ特色ありて益各方面の需要を喚起するに至れり今各種粉末の用途に就て述べんに

一、蛋白粉、本品は卵白粉狀にして水に溶解するときには新鮮卵の白味と同様となる各種食料品殊に菓子製造原料及滋養劑「ヘ Dein、プロトゲン、レチン、レチプラズマ」等の製劑原料として用ひらる殊に牛乳の飲用不可なる消化器病者の食料品として最も好適し其他左記各種工業用藥品として使用せらる

□セルロイド代用品、染色用媒色劑、高等絹布類光澤出し用、龜甲代用品及人造象牙製造原料、金版用糊、寫眞乾版、裝飾用卵甲、卵子澁、オブラード製造用、頭髮洗滌用、化粧品原料、光澤出し塗料、葡萄酒其他釀造用、氷砂糖加工用、金泊下二、蛋黃粉 本品は橙黃色の粉狀を呈し水に溶解するときには新鮮なる卵黃と同様なるを以て食用として單獨に或は卵白に適宜に混合し各種の食用品を作るに適し又菓子原料及「アイスクリーム」鶏卵酒用として使用せらるゝ外工業用として皮革工業及鶏卵油採用に供用せらる

三、混合卵粉、本品は帶黃色の粉狀にして鶏卵を其儘乾燥粉末となしたるものなり水に溶解するときには新鮮卵の内容と同一物となるを以て主に諸種の食料品調製に好適せり

△卵粉の價格 山東省に於て生産せらるゝ卵粉の種類は前記の六種類なるも其需要最も擴きものは塊蛋白及蛋白粉及蛋黃粉にして混合粉、蛋黃液、蛋黃粒之に亞けり、從て價格も亦塊蛋白

及蛋白粉を最も高價なりとす要するに卵粉の主眼とする所は生卵中に包含せられたる滋養分を滅失する事無く使用に當りよく水に溶解するを以て最良とするも其光澤及臭氣の有無等により品質を鑑別し相場の格付をせらるゝにより此點に於て機械製は常に土方製品に比し二三割の高値を呼び居れり山東の卵粉工業は邦人工場の發展と共に優良卵粉の産額を増加せるも支那人經營のものは多く土方により機械によれるものは省内唯一德源公司あるのみにして過般歐戰當時需要の激増に伴ひ土方濫造粉の輸出を爲したる爲尠ならず歐洲市場に於ける山東卵粉の聲價を傷くるに至れりといふ支那人經營の工場に於て土方により製出せらるゝ卵粉は兎角一種の臭氣を帶び勝にして之か爲製品の價値を減殺せらるゝ事尠ならずと現今市場に於ける機械製卵粉の價格を示せば

蛋白粉 一擔 百兩より百二十兩
 蛋黃粉 三十兩より四十兩
 蛋黃液 十五兩前後

即ち需要方面の最も擴き蛋白は最も高價なるを見る卵粉の用途は逐年擴大せられつゝあり殊に歐戰中其需用の激増と共に注文一時に殺到せし爲め省内卵粉業者は生産に忙殺せらるゝの盛況を呈し價格も戰前の倍額に達するの暴騰を見しが昨今世界的不景氣の餘波を受けて僅かに日支鶏蛋か既約品の製造に従事せる外は殆んど作業休止の状態に在り相場建たず△山東省内に於ける日支人經營卵粉製造工場を列舉すれば左の如し(大正九年五月)

所在地 工場 名 一日鶏卵消費數製造方法 經營者
 青島 株式會社日支鶏蛋 二十萬個 機械 日本人
 公司

同	合資會社大星公司	二十萬個	同	同
張店	日支鶏蛋公司分工場	五萬個	同	同
濟南	中華蛋廠	二十五萬個	機械	同
濟南	振華蛋廠	二十萬個	機械	同
同	東亞蛋粉株式會社	四十萬個	同	日本人
濰口	濟源公司	八萬個	土方	支那人
德州	德源公司	十萬個	同	同
桑園莊	廣發公司	八萬個	同	同
臺兒莊	同發卵粉廠	十萬個	同	同
濟寧	同發卵粉廠	十一萬個	同	同
同	同濟鶏蛋廠	八萬個	同	同
同	義昌公司	八萬個	同	同
兗州府	德源公司	十萬個	機械	同
夏鎮	同新祥	十五萬個	同	同
窪灣	同福公司	十萬個	同	同
計	十六工場	二百二十七萬個	同	同

一日の製產能力(蛋白粉 一萬二千五百斤 蛋黃粉 二萬四千九百七十斤)

△卵粉製造法 卵粉加工方法に就ては各工場其秘密を嚴守し自家製品の優良を誇らんとする風あり容易に詳細を知り難しとするも其概略を述べんに第一檢卵、第二蛋白蛋黃の分離、攪拌を終れば蛋黃は直ちに乾燥室に導かれ蛋白は一定の期間内醱酵室内に放置し醱酵作用の起るを俟て乾燥仕上せらる今一萬個の鶏卵中より產出する各粉の割合を示せば左の如し

原料鶏卵一萬個(一個當平均十二匁) 此斤數七百五十斤
 製產額(卵粉 百五十斤 蛋白粉 四十五斤 蛋黃粉 百五十斤)
 (蛋黃液 二百二十斤(蛋白粉の生産は前記に同じ))

□蛋白蛋黃の分離作業 檢卵を終りたる鶏卵を分離室内に搬入すれば數十名の女工は殻を破りて蛋白蛋黃を分離せしめ各別の容器に收容す斯くして分離せられたる卵液は更に一大容器に收容せられ木製の棒を以て充分に攪拌せらる

□蛋白の醱酵作用 充分に攪拌せられたる蛋白は一定の容器に盛りて直に醱酵室内に運搬せられ醱酵作用を起すに至る迄室内に放置せらる或は此間醱酵補助に要する少許の藥品を加ふる事ありといふ

□蛋白の乾燥 醱酵作用を起したる蛋白は更に之を珐瑯鐵製の小圓盆に分割して蛋白乾燥室内に送られ茲に裝置されたる棚上に併置せらる此小圓盆は乾燥作用を容易ならしむる爲極めて底淺く直徑一尺餘の稍楕圓形に作られあり室内には縦横にスチームパイプを通じて温度の加減に便ならしむ。此醱酵の程度及乾燥に要する温度の高低は各工場共秘密に付せられありて温度高きに過ぐれば乾燥に容易なるも使用に當り充分水に溶解せず亦低きに失すれば腐敗の怖れあるを以て温度の加減並に製品に對する含有水分檢定等大に専門の技術を要する所にして品質の良否は一に懸りて此作業中に在るを以て各工場共最も茲に注意し各自獨創の見地に立ちて優良品の製造に苦心しつゝあり蛋白液は乾燥仕上迄に約七日間乃至十日間の作業期間を要するを普通とす

□蛋黃の乾燥 攪拌せられたる蛋黃液は分離室より唧筒作用により鐵管を通じて間斷なく蛋黃乾燥場に送液せらる卵黃乾燥場の下部には大火爐ありて鐵管により火氣を導けり分離工場より茲に送られたる卵黃液は機械裝置によりて絶えず乾燥機中に流出するや直に火氣に遇ひて乾燥せられ粉末と化して電

力により方三尺角位に作られたる木造風路中を飛走す此風路は常に相當の温度を保つて置なるを以て火氣と風力とにより粉末中に包含せる水分は漸次發散し含有水分約八%に至る迄乾燥せられ再び一定の容器に收容せらる此乾燥は最も容易にして一日三十萬個分を加工するは容易なりといふ今日支鶏蛋公司製品の分析表を示せば左の如し

△東京衛生試験所分析成績表

一、混合卵粉

一 含窒素有機物(蛋白質として)	四二、二二分
一 脂 肪	四〇、〇三分
一 無窒素有機物	五、三五分
一 鐵 質 物(灰分)	三、四二分
一 水 分	八、九八分

一、卵白粉

一 含窒素有機物(蛋白質として)	七一、九四分
一 脂 肪	〇、七二分
一 無窒素有機物	四、九三分
一 鐵 質 物(灰分)	五、二九分
一 水 分	一七、一二分

一、卵黃粉

一 含窒素有機物(蛋白質として)	二八、二二分
一 脂 肪	五〇、六二分
一 無窒素有機物	九、七三分
一 鐵 質 物(灰分)	三、三八分
一 水 分	八、〇五分

△使用支那職工に就て 青島及張店濟南の邦人各工場に於て使役せらるゝ支那職工に就て見るに男工約二百十名女工四百六十名雜役苦力二百六十名ありて盛時に當りては一日よく百二十五

萬個の鶏卵を加工しつゝあり鶏卵加工作業は極めて簡易なるのみならず技術を要する主要部には悉く日人技術者を配しあるを以て彼等支那職工の作業範圍は蛋白蛋黃の分離、攪拌、送液、仕上、箱詰及雜役等に止まり左迄の熟練を要せず一人前の職工たるは容易にして其賃銀も一月銀十一、二元より十四五元の間在り女工の作業は蛋白蛋黃の分離に限られ熟練せるものは一日二千個より三千個の分離作業を行ひ得といふ而して其賃銀も全部請取制度とし作業の容積に對し支給しつゝあるが平均銀十五錢見當にして雜役苦力は一、二銅元三十枚を支給せらる青島に於ける蛋粉工場の職工は全部通勤にして青島及其附近の者多く遠きは湛山地方よりの通勤者もありといふ

△輸出數量及仕向地 當港の卵粉貿易を見るに千九百九年獨人工場開始以來漸次發展増進の機運を辿りしが歐洲大戰の勃發と共に軍需携帶食糧品として需要激增せる爲め輸出は遽かに盛況を呈し日獨開戰前千九百十五年に於て遂に二萬二千八百六十九擔を輸出し新記録を示せしが同十六年には日獨戰の後を請けて頓挫したるも再び邦人の手によりて企圖經營せられ爾來歐米方面需要旺盛に刺激せられて同十九年遂に一萬五千八百八十四擔を輸出し戰前盛況時代の疊を摩するの氣勢を示したる矢先平和克復後に於ける世界經濟界の混亂は漸次濃厚を來し金融極度の硬塞を告ぐるに至り歐米市況全く沈衰し全然買氣無く本年四月以降輸出商情中絶の有様なるを以て省内蛋粉工場は日支人經營を問はず全部作業休止の止むなき状態に在りされど如斯は一時的現象に過ぎずして遠からず歐米市況の恢復と共に當港卵粉貿易も活氣を呈するに至るべしと觀測せらる。次に同品の仕向先に就て見るに戰前は獨逸商人勢力を占めたる爲め當港輸出卵粉も

獨國に輸出せらるゝもの多く其他佛國、伯國、英、米、西、伊等何れも相當の輸出を見たるも大戰中は歐洲向輸送意の如くならざりし爲め主として米國方面に仕向けられ米國を経由して歐洲市場に輸送せらるゝの順序に在りしが平和克復と同時に再び上海を経由して歐洲方面に輸出せらるゝもの漸次多きを加へ僅かに日本輸出を數ふるに至れり別表に示せる如く大正六、七、八年中を通じて當港卵粉は其殆んど全部を上海に輸出せらる上海は長江一帶の卵粉工業地帶を控へ十數年前より卵粉貿易港として歐米市場と密接なる連絡を保持せる結果當港の卵粉が此貿易系統により上海市場に吸集せられ再び同港より歐米市場に向つて再輸出せらるゝの餘議なき實情に在り今大正六年以降卵粉輸出狀況を示せば左の如し

品名			日本			霧國			上海			計		
六年中			七年中			八年中			(九)年 (四月迄)					
乾蛋	蛋黃	蛋白	乾蛋	蛋黃	蛋白	乾蛋	蛋黃	蛋白	乾蛋	蛋黃	蛋白	乾蛋	蛋黃	蛋白
計	七	七	計	一〇三	四一〇	計	五一三	四二九	計	二、〇二〇	一八〇	計	四九二	一、六五九
			</											

△關稅及諸掛 卵粉は最も濕氣を厭ふものなるが故に先づ之を
 鉢力製の罐に入れて密閉し更に木製函中に收むるを普通とす而
 して塊蛋白及蛋白粉は百磅入鉢力罐二個を以て一箱とし蛋黃粉
 は二百磅入鉢力罐一個を以て一箱とす蛋黃液は一樽三百斤入の
 樽詰と爲すか或は石油新罐詰とし(百二十八斤を以て一罐とす)
 二罐を以て一箱に包裝せり今左に各種蛋粉に對する輸出税を示
 せば

塊蛋白 百斤 海關兩 一、五〇 一箱の才數 七才

蛋黃粉 從價の百斤三十一、五〇 同 六才七

蛋黃液 百斤 海關兩 〇、二二五一樽の才數 十一才

△卵粉工業の將來 支那の卵粉工業は僅かに十數年の歴史を有
 するに過ぎざるも其發展振興の跡著しく殊に過般歐洲大戰に際
 し需要の激増を示し採算頗る有利なりしを以て益斯業の勃興を
 促し其製品は今や漸く世界的注目を惹き輸出は年々増加の趨勢
 を辿りし折柄平和克復と相繼ぎ世界經濟界の恐慌時代を現出し
 歐米各市の金融硬塞其極に達したる爲め當地の卵粉に向つて殆
 んど買氣なく爲替も亦逆鞘を呈し頗る不況の商狀を辿るに至れ
 り青島に於ても目下日支鶏蛋公司が既約品殘部の製造に従事し
 つゝある外は大星公司並濟南東亞蛋粉も五月二十日既約品の積
 出しを了すると共に休業し其他支那人側に在りても製品暴落採
 算不引合の爲悉く休業の姿にあり然りと雖ども斯の如きは商工
 業界全般に亘れる一時的現象にして本品の如き需要範圍最も擴
 く且他物の代用を容れざる物品に對しては例令諸種の原因によ
 り一時的不況を招く事ありとするも近き將來に於て復活せるら
 ゞは豫想に難からざる所にして或は戰時中軍需攜帶食料其他と

して一時的需要増加を呼びたるものに對しては戰爭の終局と共
 に同方面の需要激減を説くものあり誠に然る事ながら大戰八ヶ
 年間に於ける卵粉使用の方法は各般に亘り研究擴大せられ製品
 も亦曩日の比に非ざれば之を開戰前の狀態に比するに雲泥の差
 あり不日歐米經濟界の一轉機と共に再び過般の盛況を現出する
 事左程の難事に非ざるべしと推考せらる

現今卵粉工業は支那の重要特產物として世界的供給の地位に
 立ち原料の豊富なる工賃の低廉なる工場設備簡易にして小資本
 を以て開業せらるゝ等の便ある爲め其工場數は非常の多數に上
 り現に山東省のみを以てして十六工場を數ふるに至りたる有様
 なるが外人工場の進歩發達著しきに反し支那人經營の各工場は
 多く幼稚なる土方により毫も改善進歩の跡無く製品頗る劣等に
 して使用に當り溶解度充分ならず且一種の臭氣を有する等の爲
 め歐米市場に於ける山東製品の聲價を傷けたる事大にして一時
 紐育市場に夥しき堆貨を見煩を本邦人工場製產品に及ぼせる事
 あり前述の如く本品加工の目的は生卵と異ならざる含有滋養分
 を有する粉末を得る事にして之が加工包裝等特に注意を要する
 ものあり此目的に添はざる劣等品は卵粉の價値を滅失するもの
 なるを以て現在の狀態より考へ粗製濫造の支那工場製品を其儘
 山東卵粉として歐米市場に提供するは折角發展せる卵粉工業の
 前途を危ふくするものにして山東卵粉界の爲採らざる所なりさ
 れど鶏卵の產出は自から限りあり將來卵粉需要の増加と共に鶏
 卵價格の昂騰を見るに於ては低廉なる劣等卵粉は採算不引合に
 陥る一方益優良粉の需要を喚起し劣等品製產工場は自然的に陶
 汰せらるゝの日に到達すべしと雖ども出來得べくんば其以前に
 山東卵粉(主として支那人工場)の統一改善を計るを以て刻下

の急務なりとす而して一方歐米市場に對し直接交渉を開始し輸出の途を講ずるに於ては戰後上海、天津方面に貿易經路を變換せる山東卵粉全部を當港に吸集するは容易にして獨り當港と云はず支那卵粉優良品に對する引合は將來益活況を呈するに至るべしと觀測せらる

貿易

青島貿易近況

三月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は三萬七千二百四十三擔にして船積(輸出)は六萬三千六百九十一擔を示し其價額は總計一千二十四萬二千九百八十一銀元に達せり之を前月と比すれば輸入貨に於て一萬三千五百九十七擔を増加せるも輸出貨に於て四萬一千二百三十六擔を減じ總計貿易價額の上三百二十五萬三千五百五十銀元の減退を見るに至れり(單位擔)

陸揚貨物 船積貨物 計	二月 中	三月 中	比較
陸揚貨物	三三、六四六	三七、四四三	○三、九七七
船積貨物	二四、六二七	六三、九六一	△四、二二四
計	二八、七五五	一〇一、四〇四	○七二、六四九

更に之を昨年今月分と比較するに輸入貨に於て二千三百四十五擔を増加せるが輸出貨に在りては一萬二千三百七十五擔の減退を現はし貿易價額に於て四百八萬四千三百五十六銀元の減退を見たり

陸揚貨物 船積貨物 計	本年三 月中	昨年三 月中	比較
陸揚貨物	三七、四四三	三三、六四六	○三、九七七
船積貨物	六三、九六一	二四、六二七	△三九、二八四
計	一〇一、四〇四	五八、二七三	△四三、一三一

主要輸出入貨物情勢 (三月中)

銀價強調の爲輸入爲替の有利なるを利用して輸入は引續き盛

況を持續せるが綿絲布は排日勃發以來奧地商況恢復せず二、三の小市場を除くの外は取引斷絶し益不振の状態を呈したるが綿布中の粗布、細綾、天竺等は安値に伴れて好況を齎し燐寸は時々爲替の好調に乘じ輸入荷を見るも當地製品に押されて振はず砂糖は舊正明後相場高の爲實需以外買控夫々輸入の不振を招けりされど巻煙草は奧地購買力の増加に従ひ漸次好調を呈し木材は前年建築界未曾有の盛況に鑑み本年結氷明手當として仕入を爲したる爲め輸入増加の程度特に著しく米は青島市場に於ける上海米の好況に伴れ益同米の輸入を促進せるに似たり翻て輸出貨に就て見るに豆粕は内地肥料相場瓦落の影響を受けて減退し牛皮は内地經濟界の惡化と共に問屋筋一齊買進ます花生油も亦米市況案外平凡從て内地市場不味の爲輸出の減退を示し鹽は既に本年度契約納鹽を略完了し明年度の發令を俟つ迄の閑散状態に入りたるが山東炭は淄川の出炭増加と共に自然炭燥の餘裕を得花生實は本年の商談未曾有の盛況を告げたる爲め既約品の積出し旺盛を極め牛肉は漸次内地市場との連絡濃密となり益其販路を擴大し何れも輸出の増進を見るに至れり

△輸入品

品目	單位	二月中	三月中	昨年三月中との比較
生金	市正	七四一	一四、一五三	△一五、七九元
シーチング (日本品)	同	五、四〇〇	二、一六〇	○九、〇四〇
同 (支那品)	同	五〇〇	五、四〇〇	○六、九〇〇
シェーン (日本品)	同	一、七七八	五、二四六	○三、四六八
天竺布三十二吋 (同)	同	二、五五〇	四、四〇一	○一、八五一
コットンイタリヤ	同	二、五五五	二、七〇七	△一、一五二
シラツスイング	同	二、五五五	二、七〇七	△一、一五二
緋金巾、綿天竺布	同	二、四三三	三、六六三	△一、二三〇

綿	絲(印度)	擔	四九二	四九七	二六六八	△	二二六
同	(支那)	同	六二九	五五七七	一〇〇四九	△	四四七二
同	(日本)	同	二六六四	三八七八	六七四六	△	二八四八
鐵、軟鐵(古)		同	二六七三	二八四〇	二五〇五五	○	三三六五
業鐵		同	二五四〇	二九六一	二三	○	二九四八
麻袋		同	三八五七	二七三七四	一九二一二	○	九六三三
紙卷煙草		千本	一五九九五	一四六九〇	一五、四九五	△	八五
同	(日本品)	同	一六五二	八〇四五	八〇	○	七二五
同	(支那品)	擔	二二七	二六七八	一〇二	○	一五七
アニリン		兩	一〇〇	一、〇二	一、〇六七	△	九八五
電氣材料		兩	八〇四	四五六	四六〇八	△	二九
燐寸黃燐		哥	二八、〇〇	二二、一二五	三六、二六七	△	一七四、二五
石	油(日本品)ガロシ		—	—	一九四〇〇	△	一九四〇〇
石	油米品ガロン		四八、三〇	五〇	九九七、〇九八	△	九九七、〇八
スマトラ			—	—	七〇七、一二	△	七〇七、一二
石	鹼(化粧用)	兩	一六八二	二九八八	六七七三	△	三七五
砂糖(赤)		擔	五、五三	八九二六	二六、三四	△	一七三〇八
同	(白)	同	五三	三、〇六	一〇八	○	三〇九八
同	(精製)	同	一七、四〇	二、五六二	三、三三	○	八〇九
木材(堅)	立方呎	同	七七七	五九〇、四〇	一、〇九三	○	五七、九四七
同	(軟)	同	五四、五〇	三、二〇八、九〇	二四、一三	○	三、三六八
米	(支那品)	擔	二五	四、九八	一〇、三	○	三、六
小麥粉機械製(支那品)		擔	五、二二	一三七二	一〇七〇	○	二九二
△輸出品							
豆粕		擔	三九、三	三九、三八	五〇、八五	△	二七四
牛肉	クオーター		三四、七九	一九、八〇	一七、六三	○	一六五七
獸骨		擔	二五、七六	六、六六	一三、三三	△	六、五五
山東炭		噸	五、三〇	五、七三	二四、八四九	○	二五、九二四
棉花		擔	一、三三	五、六	九一〇	△	三、七
鷄卵	千個		一二八	一、七四	一、四七八	△	一〇一
花生實	擔		三二、四七	二〇、九四	四七、七〇	○	六、一

民船貿易概況

四月中の民船貿易は概して前月來の盛況を持続し特に銀の暴落により花生仁、鮮蛋、米等邦人向金建物の移入増加を示せるか豆粕は内地と逆輸の商狀を呈し輸出不能の爲漸次減退し花生油亦商況振はずして僅かに千八百三十二擔と激減を見せたるが玉蜀黍、竹稈は相變らず盛況を持続しつゝあり移出貨物は前月に比すれば稍活況を呈し石炭は山鐵賣價の改定と共に支那商側買進み沿岸送り荷の増加を見落花生實及落花生油は當地商況不振の爲却て上海方面向出荷の増大を示せり

△移入貨物

花生油	花生實	竹稈	豆粉	玉蜀黍	朱麥	小麥	鮮蛋	輕木料	各種席	△移出品	石炭
五、七〇六	二、三〇二	九、六〇〇	三、二五二	二〇、九四七	五、八九四	三、三〇二	七、二〇〇	六、九三	二、八一〇	一、二九八	一、五三五
一、八三二	二、二五五	一、一〇一	一、三八四	二〇、五一五	七、〇九九	四、六三三	二、九四	二、一七四	五七〇	四六五	四六五
二、三、九三八	一六、九七五	九、六八四	六〇、三三三	九、九八八	九、〇二一	八六〇	一、七七一	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇

棉花	一、三二三	五九五	二六五
落花生	五八一	九三〇	六九
石灰	四七四	一、四三〇	二、七四五
豆油	二三八	二、八七二	二、八七七
花生油	三、六八八	五、〇五〇	三、〇三二

海運及鐵道 (三月中)

青島最近出入船舶

本月中の入港船舶(汽船)は百二十三隻此登簿噸數二十二萬五千九百九噸、出港百二十一隻二十萬七千七百二十三噸にして入港卸荷三萬七千二百四十三擔出港積荷六萬三千六百九十一擔を示せり更に之を一月以降の累計に徴するに入港四百七隻五十四萬八千二百二噸出港四百五隻五十三萬八千二百五十八噸卸荷十萬三千四百十三擔積荷二十八萬四千八百五十七擔に達せり

	本年三月中	昨年三月中	比
入港	三三隻	三三隻	〇
出港	三三隻	三三隻	〇
卸荷	三三隻	三三隻	〇
積荷	三三隻	三三隻	〇

内地最近海運市況

倫敦海運市況は依然其日暮し的にして目先判然せず對歐荷動きは徐々として進行しつつあるも其大部分は外國船の吸收する處となりて瓜哇糖大連豆油等の大口物以外未だ多く邦船を潤すに至らず米航は是復瓜哇糖の紐育輸送等特殊物出で一時の沈衰状態より稍恢復しつつあるも復航は漸く沈滞し傭船料は歐洲片道十圓五十錢(浮虜輸送のハドソン丸は十一圓五十錢)北米一航九

圓見當に居据はり居れり此外一般市況は大凡次の如くなるが近海は最近大連航路に豆粕積取船集中し一時的刺戟を見つゝあるを除き北海材木を初め一般荷動き鈍狀を呈し前途尙軟弱を免れざる形勢なり

世界航路九圓▲歐洲片道十圓半▲普通遠洋九圓▲北米一往復九圓▲濠洲同上八圓半▲近海(一區)七圓半▲同上(二區)八圓

青島海運界近況

昨今海運界の不振は其極に達し傭船料は低下して益繫船數を増加する一方なるが内地大連間大連上海間は多少の荷動きあるものの如く俄かに悲觀すべからざる模様なるも當港に於ける海運界は甚だしく寂莫の感あり昨今當港大連間當港上海間及當港内地間の貿易は本月に入りてより著しく激減し例年上海に向け輸送せらるべき山東產葉煙は近々四五萬噸を積出したるまゝ、英米煙草倉庫荷問へを理由に積出しを中止し内地向桐材も亦賣買相方の協定により本月十五日より輸送を中止せるが落花生實合油豆油等米市場不味の爲何れの方面にも荷動き無く唯僅かに内地向鹽及金嶺鎮鐵礦の積出しあるに止まり最近山鐵に於て粉炭の上海輸出を企てつゝあるも格別の出荷も無く日貨排斥の餘燼は時々魔手を延して華商貨物の移出入も活況を呈するに至らず當地船舶業者の困憊其極に達せる模様なり

内地對歐運賃引締

財界の急激なる反動來にて輸出向重要商品價格激落し一時思惑的海外商談旺盛なりとの唱へありしも其後引續き金融の硬塞市場の混亂一層甚だしく、大口取引は殆ど中絶の姿となり、海外市場に於ける買付品の轉賣も頻に行はれて瓜哇糖の如きは四十

萬噸買付の中三十萬噸は既に轉賣せられて内地輸送のものは將來皆無たるべしとは既記せる如し、折柄對外爲替は頗る逆調を呈して外國貿易は殆ど輸出壅塞の有様なれば海運界は直接この影響を破りて近海小型船を始め遠洋中型大型船も内地外國間の需要起らず頗る閑散狀態を呈して内地海運市場は甚だしき打撃を受けつゝあるが海外市場に於いては最近歐米東洋間の食料品輸送活況を呈し砂糖瓜哇紐育六十五圓乃至七十圓、瓜哇桑港二十弗乃至二十五弗瓜哇歐洲百七十志見當にして瓜哇紐育間五、六、七月積五萬噸の引合あり大連歐洲大豆、豆油一萬噸百六十志乃至百七十志蘭貢歐洲米二萬噸百六十志乃至百七十志見當の引合ありて運賃は前月に比し一般に二十志方騰貴を示せり又十日發香港商況に依れば海運界軟弱にして運賃下落の傾向を現しつゝありて香港ホングイ銀三弗二十五仙香港西貢は無契約にて相場不明なるも香港歐洲同盟運賃は六磅より一躍七磅に引上げられたりと

遠洋復航沈滯

海運界は今春以來出貨の激減に反し北米及印度方面より相當入貨あり神戸橫濱兩港とも揚荷停滯し滯貨數萬噸を算したるが最近に於る經濟界の變調は新に輸入品を消化するの能力なく近海荷動き先づ打撃の先驅を示し北海木材の積出し殆ど中絶せるのみならず上海航路の如き毎月數隻の臨時配船を以てして尙船腹の不足を訴へ居たるものも近來尠きは僅に七十噸を積取りたるに過ぎざるものあり獨り大連豆粕は積急ぎと配船關係にて一時運賃高を呈し居れるも來月以後積が此運賃を維持するやは疑問の外なく印棉復來月以後の積取りに手加減を要するものありとし郵船にては臨時配船を一時見合せんとするあり此上北米復航

の載貨減少を來すが如きあらば一時好況を呈したる遠洋復航は何れも著るしく荷不足となるを免れざるべし歐洲復航は雜貨の外海軍省の鐵材其他每航積取るべきものあるも濠洲復航と共に未だ入貨減退の大勢を支持すべくもあらず唯神戸橫濱兩港が依然滯貨山積し復航載貨の盛況を語るが如くなるも斯は概して金融關係に依り荷主が引取を困難とする事情のもの多く殆ど固定的滯貨なるを以て近々一掃を期し難きが今後入貨の甚だしく不振に陥るべき形勢漸次濃厚を加へ船主は再び復航配船難に陥るべしと觀測せらる

三驛發著主要貨物情勢 (三月中)

本月中の青島、大港、埠頭三驛發著貨物の數量を見るに到著貨物に在りては二萬一千三百四十噸を算し前月と大差無きも昨年三月に比すれば九千八十一噸の減退を示し發送貨に於ては昨年に比し三千九百餘噸の増加となり前月に比すれば實に八千四百八十八噸七の激増を現はせり之が主なる原因は石炭の輸出不振の爲支那人が炭價の下落と貨車賃割引を利用し青島在荷を買收沿線地賣として發送せしもの多きに困る殊に前月は舊正に當り一般支那人の休業半月以上に互りたる爲荷動きの減少を見たるに外ならざるべし

更に發送貨物中昨年同月と比較し著しく増加せるものは石炭四千四百四十一噸五煙草四百九噸四魚類九百十八噸五、高粱八百二十八噸二等にして減退せるは綿糸布、石油、砂糖、雜貨等々其主なるものとし燐寸及同材料は昨年と相似たる情勢を保てり到着貨物に在りては花生實、葉煙草の激増を現はせる外桐材、

麥粉、綿花、油粕、生牛、獸骨、麻袋等順調なる増進を見たるも石炭は博山炭の輸出不味の爲激減しコークスは内地鐵工界の沈静と共に亦昨年の盛況無く花生油米市況振はざる爲め思感筋の賣買盛んに行はるゝも現物に對する買氣薄にて何れも減退を見るに至れり

△發送貨

品目	二月中	三月中	昨年三月中	比	較
石炭	二〇三、五〇	四二、四四	六〇	○	四〇、一五
木材	三〇、一	五、六七	四、五二	○	一、三六
高粱	三三、三	八、八二	一、四四	○	八、三八
綿布	三三、二	二、四七八	五、七〇	△	三、五二
綿絲	二、八〇	四、七五五	一、六五、五	△	一、二六〇
石油	一、九〇〇	二、〇〇七	二、九五三	△	三、四六
砂糖	七、九一五	一、二九三	一、八三六	△	一、五四三
煙草	三〇、三	四、〇六四	一、五四九	○	二、五四五
藥品	二、四四	一、〇七五	二、七六	○	七、九九
魚類	一、三二	九、八五	五、九六	○	三、八九
雜貨	一、七六〇	一、〇三九	一、九六、四	△	九、七二五
構寸材料	八、二	三、七九二	三、七三	○	一、二九
構寸材料	二、五二六	三、九	一、〇〇	○	四、九
石炭	四、四三三	四、五三二	五、四六八	△	一、〇三六
コークス	八、四二〇	一、二八九	四、六二八	△	三、三四九
桐材	八、九七九	七、〇六	三、〇二三	○	四、六三
米	一、三〇二	四、八五九	一、七二五	△	八、六六
花生實	六、五五〇	四、一五八	二、六九三	○	一、四三九
麥粉	二、〇五八	四、七八	二、五九三	○	二、二五
棉花	二、九六〇	五、〇五三	一、八二	○	三、三二
花生油	三、三三一	九、三三	一、二四七八	△	三、四四
油粕	九、八〇	四、四〇	一	○	四、四〇

濟南驛發着貨物情勢 (四月中)

山東省特產物中濟南驛より青島向發送したる四月中の總數量は二萬四千七百二十噸にして昨年同月の二萬一千九百六十噸七分に比し二千七百五十九噸餘の増加を見たりと云ふが主要特產物發送數左の如し(單位噸)

發送品名	昨年四月	本年四年
落花生	五、二六三、八	三、一五九、九
落花生油	一、四七八、三	一、八二、一
高粱	一、二、五	一、四二五、六
大豆	四、三四三、六	九、四四三、九
棉花	三、六三、七	一、三三六、〇
獸骨	二、一三、四	一、二九八、五
生牛	二、三〇三、頭	五、八八、九
小麥	五、二二三、六	六、五八、一
白米	八〇、三	二、一九九、頭
油粕	四〇、四、三	三、一四、七
		一、二六〇、五
		七、四六、五

にして増加せる顯著なる貨物は大豆、高粱、棉花、白米等にして主として鐵道沿線向け貨物に限られ小麥は輸出禁止のため激減し又本邦向けとして昨年秋季以來空前の大出貨を見たる落花生及び落花生油は今尙ほ市場に相當の在貨を有し相場も下落し銀貨亦暴落して總てが輸出に好適なる狀勢たるに係はらず内地と

の取引は殆んど休止の状態にあるに目下廣東商人の買付盛んに行はれりとの事なるも獨り桐材に至りては昨年同月皆無なりしを本年は一千三百三十六噸の輸送を見たり一方濟南驛到著の特殊貨物は一般に非常なる減少を見たるが唯石炭に於ては昨年に比し三千噸餘の増加を示せるため結局一千二百噸の増加となりたり到著貨物の内減少せる主なるもの左の如し

到著品名	昨年四月	本年四月
綿布	四九一、一	一三五、〇
綿絲	五九四、二	〇
雜貨	七六〇、五	一六七、〇
簾	四八四、五	一〇九、六
石油	七五九、五	六五七、六
木材	二五五、五	六九四、九
陶器	一、〇	三七二、五
煙草	五七、七	三八八、八
燐寸	二二九、七	三七五、〇

以上の如く綿布綿糸の減少は日本政府の物價調節上輸出制限せられたる結果に外ならざるも其他未だ排日氣分終熄せざるにも因る處多かるべし今回綿糸布制限解禁せられたれば日ならず昔日の旺盛を見るに至る筈なりと當局は語れり

八年度山鐵輸送貨物

大正八年度中に於て山東鐵道が有貨一車扱にて輸送せし貨物の數量は九十八萬七千五百四噸にして之を大正七年度の八十三萬七千八百八十噸に比すれば十五萬六千七百二十四噸の増加なるが今八年度中に輸送されたる貨物の中一萬噸以上の數量を擧ぐれば

左の如し(單位噸)

▲石炭四四六、六〇〇▲落花生七七、五三九▲小麥四四、七六六▲大豆四二、三六七▲穀炭三九、五九三▲落花生油二九、六二二▲石油二五、〇八〇▲葉煙草一八、四五五▲高粱一六、三〇一▲石灰一四、八一六▲綿一三、九一四▲木材一二、一六〇▲砂糖一〇、四六五▲牛油四〇、四九二頭

山鐵輸送貨物比較

山東鐵道が西歷一千九百十三年度(獨逸經營時代の最も盛なりし年度)に輸送せし貨物の數量と大正八年度に輸送せし貨物の數量とを比較するに一千九百十三年度に於ける數量は九十四萬六千六百十噸

大正八年度に於ける數量は百七十三萬三千三百七十五噸にして後者は前者に比して七十八萬六千七百六十五噸といふ非常の増加を示せるが其貨物の品名に就て觀るも亦増加せるもの多し

即ち現在の貨物は石炭骸炭石灰煉瓦セメント硝子板硝子製品桐木材竹石白石材鐵板鍋古鐵大豆其他の豆類高粱小麥米落花生麥粉陶磁器及び土器紙麻綿布綿糸綿製品絹糸綿布類繭棗梨乾柿胡桃密柑瓜子石油落花生油豆油牛油油粕肥料麥稈真田安平棗稈稈鹽砂糖日本酒麥酒支那酒乾物野菜雞卵藍染料藥品藥材曹達煙草葉煙草茶豚毛獸骨牛皮豚皮魚類昆布其他海草帚木粉雜貨燐寸材料火柴藥銅貨銅家具麻袋布袋麥殼砂利鐵鑛豚羊驢馬驢馬馬牛

其他にして其中鐵鑛砂利大豆桐鐵鍋麥粉紙絹糸牛油麥酒乾物石鹼豚皮燐寸材料穀豚羊驢馬驢馬馬等は獨逸時代の輸送貨中に非ざりしものなるが大正八年度に於ける是等貨物の輸送數量左の如し(單位噸)

▲鐵鑛一五、三二四〇▲砂利七三、九九二▲大豆四二、三八一▲桐八、二三〇▲鐵

鍋一、三六三▲麥粉二、三三六▲紙二三〇▲絹絲一四一▲牛油一、二〇八▲麥酒二、八六一▲乾物一八四▲石鹼一三六▲豚皮二五八▲燐寸材料二、五〇三▲穀三、二九一▲豚一、七八六▲羊一、七四二▲驢及驢馬一、五七二▲馬二六一

八年度博山驛發着貨

▲石炭發送高

大正八年度

二七七一・二六噸

同 七年度

二三六九五・〇

同 六年度

二一五三・九七

▲コークス發送高

大正八年度

三六五・二三噸

同 七年度

六二五・一四

同 六年度

七六一・四九

▲貨物發送總噸數

石 炭

二七七一・二六

コークス

三六五・二三

雜 貨

二四五一・七

計

三三八一・六噸

▲貨物到著總噸數

一九四三・四噸

主要貿易品概況

(五月中)

◎綿 糸 布

綿絲、先月末來引續き昌邑岬山高密海洲方面より必需買絶わす一日二三百俵の荷動きあり殊に十六手銀月の如き商標の一般に知れ亘りたる品に對しては限りある生産に對し需要一時に重みたる爲め始終品拓の盛況を呈し相場は漸次昂騰し初旬百六十二兩見當の安値を示し居たる同品は中旬に至り百七十六兩と約十

四兩方の反撥を現はし他品も伴れて反騰せるか翻て内地市場の趨勢を伺ふにシンデケートの組織及銀行の資金貸出あり又紡績操業短縮等有らゆる救済策を講じ只管市場の救済に吸々たりしが大勢如何ともするに由なく窮狀を暴露するもの遂次増加し市場の大恐慌を惹起せるより一時立直りの氣勢を示せる定期市場は再び十七日三百三十一圓と大慘落を演じたりしかば當地商館筋も手持を賣焦りたる一方上海日本紡績筋よりの入荷潤澤を加へ相場の漸落を餘儀なからしめたり殊に本年奥地の早魃農作物の減收は農民の氣を殺き人氣頓に悪化氣配不良の裡に本月を經過せるが本月の相場足取を示せば

綿絲相場

	十日	二十日	三十日
銀 月	(十六手) 一六二	一七五	一六五
紅 月	(十六手) 一六一	一七四	一六四
丹 鳳	(十六手) 一五四	一六一	一五五
雙 虎	(十六手) 一五五	一六一・五〇	一五六
水 月	(二十手) 一八三	一八五	一七三
扇 面	(十六手) 一六三	一七七	一六六
福 助	(二十手) 一九四	二〇〇	一八〇

綿布、月初海洲高密博山方面より天笠、粗布、細布に向ひ小口買進みありしも其數云ふに足らず漸次華人側綿絲を買付自織する者多きを加へつゝある傾向あり相場も始終軟調を辿り阪地暴落相場に比するも尙當地は一二圓方の下鞘を示し居れり

綿布相場

	十日	二十日	三十日
粗 布 九 龍	六、五〇	六、三五	六、一〇
天 笠 大 鼓	三、六〇	三、五〇	三、二〇
同 菊	三、一五	三、〇〇	二、七五
(支那綿布)			

水	六、三〇	六、〇〇	五、八〇
丹	五、二〇	五、〇〇	四、八〇

◎砂糖

米政府の玖瑪糖買付に唆られて爪哇方面支那大手筋は機に乗じ思惑買付に出でたる爲め之等持久關係により思惑せる仕手關係によりて原産地爪哇原糖氣配は一層強調を示し同時に日本糖も高値を現はすに至りたるが此間の消息を熟知せる日本製糖家は支那方面に對しては容易に安値手離さず當地輸入糖全然皆無狀態に在り其が爲め市中在荷は月始より月末にかけ漸次減少するのみにして品薄と共に相場も漸騰し月始四溫十六元より月末十九元と上押せるか日本糖在荷皆無の有様にて僅かに安値時代のストツクを有する太古糖に對し小口實需方面より安値引合ありたるに過ぎずして大口取引行はれず前途の商況逆路すべからざるものあり氣迷裡に本月を終れり

◎燐寸

内地燐寸は過般來金融硬塞と對支爲替惡化の影響を受け全然輸入不能の狀態に陥りたるが當地も本年は奧地一體早魃に遭ひ農作物の不作に氣を腐らせたる爲か更に買氣無く相場も月始四十一元より月末三十八元八十錢と漸落せるも尙奧地客筋の乗出し無く三工場の堆貨合計二千餘噸に達すの現況に在り本來なれば本月は未だ夏枯時期といふにも非ず爲替高と共に日本品輸入不能の姿に在れば地製品に對しては相當商内ある筈にして相場も強調を呈すべく期待せられたるにも拘らず前記諸事情は其襲來の時期を早からしめたる感あり殊に金建の原料を使用せる當地工場製品として現在の安値にては採算到底引合はざるにより此際相互間の競争を避け賣値の維持を計らんが爲め青島、山東、

東魯三社協議の上工場渡銀四十五元と協定相場を發表せる爲先行氣配混沌として端睨すべからざるものあり

◎洋紙

内地洋紙界は製紙聯合會の相場維持策により辛ふじて市場の崩落を喰止め居れる觀ありしが本月に入ると共に印度方面より大口注文入込める爲め氣配遽かに一變強調に傾き相場は月末ザラ紙連金九圓六十錢有光紙相百六十圓と上押せるに反し當地は追々夏期需要閑散時期に入りたる折柄強敵瑞西紙の襲來により相場伸びず有光紙の如きは棚銀八十元見當を保合ひ内地相場との間に大逆鞘を現はし全然商買出來ず市況全く沈衰せり

◎木材

一般的金融硬塞の爲何れの方面を問はず多少の打撃を受けざるは無き中に在りて當地建築界の蒙りたる影響も蓋し尠少に非ず殊に個人の經營に係る諸工事の如きは殆んど休止の狀態に在るを以て結氷明の活況を期待し春先の需要に對する手當として相當の仕入を爲せる各材木商は何れも手持品の處分に苦心し居れるが相場は組合の協定により些の動搖を來さざるも殆んど商内出來ず市況頗る閑散を呈せり金融極度の逼迫を告げ何時建築界の恢復を見るべきか計り知れざる今日近頃問題となれる低利資金融通問題の如き斯界救済策として最も吃緊の事なるべし

◎米

江蘇米の原産地方に於ても本年度早魃諸穀減收の影響を受け細民の動搖甚しく同省長は再び江蘇米の出境禁止を布告するに至りたる爲め相場は遽かに一割高を示し上海十一弗五十仙と昂騰せるが爾來他省への搬出容易ならざるより當市場に於ても前

途品拂底を豫想し月末一袋金二十三圓と高値を出したるが銀の漸落に従ひ次第に有利の商狀に推移し鮮米は依然高保合の商狀を續け月末角丸赤石六十一圓五十錢青六十圓見當を唱へ居れり

◎落花生油

米市場の金融依然として緩和せられず堆貨の激増と共に全然買氣無く僅かに安値注文を繼ぎつゝある位にして神戸市場も氣腐れ容易に恢復せられざるものゝ如く新規商談更になく從て當地市況も相場暴落による買手控と一方新利洋行に對する受渡紛議の解決せざるありて三井買物(四五月)物の引渡整理時期に入り市中取引全く行はれず市況頗る閑散を呈せり相場は五六月物月始三十六圓三十錢を唱へしか仕手關係により多少の騰落あり月末三十三圓三十錢と暴落せり籠油は現物薄を理由として需要期を過ぎたるにも拘らず氣丈を示し月始十八元より十八九日頃二十元と好況を呈せしが箱油の不況に伴れ厭氣投げの氣配にて月末再び十七元九十錢と下押せり

◎落花生實

油の市況に従ひ盛衰を現はし居りたる剝實は既に出廻り期を経過せる事とて市中著しく現物拂底を告げ相場も月始十四元三十錢と強含みの商狀に在りしが中旬頃生油暴落に伴れ十三元迄漸落殆んど手合行はれざりしも既約品受渡の爲旬末華商市場小口買物現はれ現物薄と相俟て相場は十五元迄擡頭油に反し頗る強調を示せり

◎石炭

經濟界變動の爲め本邦に於ける石炭需要工場の閉止さるゝも

の多く石炭の需要激減を來せると金融硬塞による炭代仕拂不安等の爲め小炭坑の休業者相繼ぎ尙一面金融關係上投物續出せる爲め下等炭の市價は著しく軟調を呈するに至りたるが同炭の當地輸入は銀爲替の暴落に遇ひて頗る割高となり漸次輸入の減退を示せり。淄川炭は出炭比較的順調なるも洗炭機の都合により洗小塊類は却て減少を來し粉炭を除くの外は殆んど輸出の餘裕無く只地元需要は遺憾無く配給せられ居るに過ぎざる有様に在り、博山炭は最近上海中美實業公司より四五萬噸の大口引合ありたる模様なるも炭價の關係等より見て將して此成約により博山炭に活況を添へ得るやは頗る疑問とする所なり尙一方章邱炭は泰豐工廠部内の内訌絶へず爲に事業中止の狀態に在れば當分順調なる出炭望み難かるべきを以て現狀にして推移せば或は本年需要期前に於て従前の如く開平炭の輸入を有利ならしむるに至るやも計られざるべしと

◎牛肉

牛肉の内地輸出は毎年暖氣と共に漸次減退するを例とせるが本年は第五丸の如き冷蔵設備を有せる小型船の配船ありて八百十五頭の輸出を見昨年の同月に比し頗る盛況を示せるも氷凍設備無き當地の輸出業者が盛夏に於て尙現狀を維持し得るやは疑問となさる然るに開治洋行の麻尼刺輸出は日本向の減退と共に買付其他に餘裕を生じ本月中千八百十三頭の輸出をなせり

◎鹽

先頃發表せられたる本年度灣鹽内地輸入命令數量は總計二億九千八百萬斤にして其第一次命令數量一億七千四百八萬斤は既に當地各輸出業者及内地工業家に割當られたるが本年春鹽生産

時期に於て殆んど降雨無かりし爲め非常の豐作を見出廻亦旺盛を極むるに至りし折柄銀の暴落に遇ひ採算著しく有利となり相場も前月末六圓と昂騰稍強調を現はせしが經濟界の變動により各輸出業者は一齊買見送の態度に出たるを以て腰砕け支那側鹽田業者の投賣物も現はれ月末舳板面白上五元五十錢と漸落益前途の軟調を現はすに至れりされど金融狀態の緩和せらるゝに於ては納入鹽の買付と共に活況を迎へ相場も相當反撥を見するならんと期待せられつゝあり

◎桐材

内地金融硬塞の結果阪神間屋筋一齊買見送に出でたる爲め當地桐材商の阪神委託荷は夥だしき數量に上り相場は漸落の步調を辿りて中旬九太材河南物才金三十五錢山東物才三十一二錢と約三割見當の暴落を告げたるも買氣全く出でず益堆貨を増加するのみなるを以て過般當地の桐材組合に向つて送荷見合の入電あり内地の事情既に斯の如くなるを以て一昨年以來左しも旺盛を續けたる桐材の當港輸出も本月十五日以降全然其積出しを中止するの止むなき狀態に在り其が爲當地堆貨も漸次増加し月末邦人手持下駄材約五十萬足桐九太材三千四百七十本に達し尙此外に夥しき支那人手持品ありて市況沈衰殆んど取引行はれず

内外經濟要報

綿業シンデケート愈進捗

綿業界救済に關する當面の問題に就て紡績聯合會では廿二日大阪ホテルで委員會を開催の上種種協議の結果紡績會社は綿絲の

生産者たる立場よりして理論上當然に綿絲解合後の品物を買ひ取り輸出に振り向くるシンデケートに加盟する事は不可能である故シンデケートに依つて生ずる損益とも紡績が受ける事に變更すると云ふ綿絲商の申込に對して是亦不能であるが紡績當業者一同シンデケート運用の希望はあるもシンデケート組織に依つて綿絲を棒値に買取りたることも是に由つて昂騰する時或は海外と良く出合ふ場合は兎に角一般に損失のあるべきは豫想される所である故に紡績會社は輸出獎勵金と云ふ意味を以て其の損失の半額を負擔する事に決定したが其損失の程度は今より計り知れざるも棒値の樹て方數量の多寡に依つて多大の相違を來すが故に雙方より委員を選定する必要あれば先づ輸出綿絲同盟會より五名、紡績會社側より五名内地綿絲商側より五名の各委員を選定し廿三日午前九時から同盟會で評議する事と爲つた此の組織の決定を見たるシンデケートは最初關西の綿絲五六月物のみの解合殘玉を引受け關東は今の處步調が一致せぬため當分除外する事に決定して居た而して斯く決定を見る上は將來綿布をも加へ尙進んで東京名古屋も一團となして公平なる處理を爲す筈であるが若し時期の後れる場合は別にするやも知れずと因に紡績側の綿絲輸出に關しては金額上の事とて之に折衝する爲に大日本紡績紡東洋紡合同紡富士紡の五會社之に當る事に決したが紡績會社側態度は總て廿日の聯合會の委員に依りて諒解を得たるものであつて委員會社は極少數にして會合多數なる爲他の五十三の會社と共に二十八日臨時總會開催の上公平なる協定と公平なる率を定め負擔額を決定する由であるが廿三日の三派委員は大體の方針を決定するのみで綿布の救済に就ては其數量種類の大局を調査し都合よく進捗するに於ては棒値に關しても協

議する筈であるが到底其邊迄は進捗せない見込である尙輸出綿絲同盟會は二十二日午後一時から公會堂に於て總會を開催して救濟問題に就て協議したが其賛否に就ては大體諒解を得たるも確定する迄に至らざれば二十四日迄に事務所宛賛否を届出づる筈なれど尙委員五名選出し各紡績側及綿絲側に折衝する事に決定したが委員選定の伴に就ては喜多、兒玉兩氏に一任した又綿絲商側は同盟會に廿二日午後三時から會合し經過報告の上兒島、田附、八木、伊藤、岩田の五氏を選定して散會したが綿布商に於ても午後一時から同盟會に會合種々協議の結果救濟團に加盟する事に決定し其委員として山本、阿部、富永、竹村、伊藤の五氏を選定し折衝する事に決定した尙綿布は過般總解合と決定し居るに對し綿絲側に依り組織されたるシンデケートは五六限のみなるより今後の成行如何に依つては或は別にシンデケートを組織するやも計られないとの事であるが紛糾を極めし解合問題も先づ此處に於て殘る所は棒值問題のみになりたる爲互に我欲を捨て協議するに於ては全般の綿業界の大問題も全く解決を見るに至るであらうと

戰後財界變遷の實態

大正九年に於ける金融市場の大勢は時に甚だしい騰落を演じたのであるが一般に金利は昂騰して銀行高利貸の聲を聞くやうになつた加之這回の變動以來各銀行は自行の防衛のみに汲々として極端に金融を硬塞し遂に國債擔保をさへ受付けぬと云ふ金融界消滅の姿を呈し我金融史上の汚點を生じたのである春秋をして言はしむれば我財界を破滅せしめんとしたものは政府であり之を幫助したものは即ち金融業者である自ら財界に於ける不祥の氣運を助長せしめながら而も必到の結末に及んで驚愕狼狽し

始ど金融の中絶を顯現するに至つたのは洵に沙汰の限りである更に頃日來の金利奔騰の如き實に火事泥的の行爲であつて而も其利率は常に日銀公定歩合を超過し日銀貸出の利鞘を取得しつゝある現狀である從つて目今日銀利上決行説の唱へられるは至當であつて已に時期遅れの失態とは雖も當然爲すべき責務である諸戰後に於ける銀行業の發展は如何と云ふに東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋等に於ける各組合銀行の成績に依れば大略拂込資本金は二十三割強、積立金は八割弱、金銀在高は三十三割、預金は四十四割強貸出は四十四割弱の増加を來してゐるが其年次成績比較は末尾に附した表の通りである而して四月末現在の全國交換所組合及び代理交換銀行の諸勘定は拂込資金六億八千百萬圓積立金二億一千百萬圓、預金四十九億五千五百萬圓、貸附金四十八億二千二百萬圓に達してゐる斯の如き預金並に貸出の激増は物價騰貴と思惑取引の旺盛信用の膨脹、虛業實業の勃興等に基因するのであるが之を見ても如何に極端に資金が移動しつゝあるかを立證される而して銀行以外の預金として郵便貯金の激増も我財界好況の反映と見做されてゐるが其増加比較は左の通りである尙左表下段のものは全國に於ける貯蓄銀行の預金總額であつて内七年以後の概數は全國の貯蓄預金の統計がない爲めに東京貯藏、東京貯蓄、川崎貯蓄、大阪貯蓄銀行等の成績より推測算定したものである(單位千圓各年末現在)

年次	郵便貯金	貯蓄預金
元年	一九六、五〇一	一六六、四三二
二年	一九六、一八二	一六六、五三三
三年	一九六、〇七二	一六五、六四一
四年	二一九、五四七	一九三、〇六六
五年	一九五、〇七一	二二三、六〇七

六 年	四一、七三一	五九八、九四七
七 年	五五四、九八四	約九〇〇、〇〇〇
八 年	六八九、二四五	約一、〇〇〇、〇〇〇

其後郵便貯金は本年に入り七億圓臺に擡頭したが之を大正三年末現在一億九千六百萬圓に對比すれば約三十六割の増加である然しながら物價指數は約四十割に達してゐる比例よりすれば此の増加を以しても實際の効果に至つては反つて戦前の財界悲況時代以下にあると觀測される而して從來より郵便貯金を利用する者は都鄙を通じ國民の大多數であるから戦後財界の好況を目して一般人民の生活を安易にしたと云ふ政府の速斷は此の物價昂騰の指數を考慮せぬ甚しい謬見と謂はねばならぬ従つて現在の國民生活が如何に戦前の悲況時代以上に苦しみつゝあるかを察知せらるゝのである尙銀行業繁榮の一證左である手形交換高の累年比較は實に驚くべき巨額に達してゐる左表は東京、大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、廣島、關門、金澤、函館、小樽の十一手形交換所の交換高の各年總計の比較である（單位金額は百萬圓枚數は十枚）

年 次	枚 數	交 換 高
元 年	九、八九三	九、七二二
一 年	一〇、八〇七	一〇、三九六
二 年	一〇、九九一	一〇、二七三
三 年	一一、一九一	一一、六二五
四 年	一三、四九二	一〇、二二八
五 年	一五、八九二	三一、七三四
六 年	一九、九三三	五三、二二八
七 年	二四、一三六	七六、四〇四
八 年	一、九七三	七、一七一
九 年	二、一〇八	七、八一七
同 二 月		

左表は東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋の六組合銀行に於ける總成績の比較である（單位百萬圓）

年 次	拂込	資金	積立金	有價證券	金銀在高	預金貸出
四年二月	二五四	一〇四	二二	一〇一	九六	一〇四
五年二月	二四九	一一	三四	二五	一三七	一三七
六年二月	二六	二二	四七	二六	一六〇	一六三
七年二月	三六	二五	五〇	一九	二七六	二四二
八年二月	四〇	二二	八三	二五	三八三	三四九
九年二月	六〇	八三	八五	三六	四四二	四四三

銀價の前途不勢

五月七日二片四分の一方の暴落を演ぜし倫敦銀塊相場は八日一片八分の五引返して六十一片八分の五を報じ昨月中旬頃の相場と將に顔合せをなさんとする形勢なるが先物相場は六十片を唱へたる當時久しく支持し來れる六十片臺を遂に割り五十九片四分の一となり九日は現物相場の騰貴歩調と雁行する所なく僅に二分の一方の引戻しを見たるに過ぎずして氣配は寧ろ不勢の有様を示し眼先軟調を通らんとするものゝ如し固より倫敦價の銀前途如何は印度及支那が英米兩市場に於てブル若くはベイヤの出現如何により騰落の分水嶺を作すこと亦輕視すべからざるを以て容易にその前途を逆睹し得べからずと雖も倫敦銀價の高低を招致する紐育銀塊相場を觀るに四月十三日一弗二十仙臺を割りし以來漸落歩調を取り本月四日遂に一弗十仙臺を破り八日は二仙方引返せるも一弗四仙四分の一を告げ昨年七月十六日の相場に接近せんとするが如く是亦不勢の氣配を示しつゝあり今試みに現時の紐育銀塊と略是と近似數を示す昨年七月十六日の紐育銀塊とを基準とし各當時の米英間爲替相場により倫敦銀

塊の裁定平準相場を算出し倫敦銀塊の實際相場とを比較するに

紐育 米英 引直し 實際の 差 額
銀塊 爲替 倫敦相場 倫敦相場

昨年七月十六日

仙 片 片 片
一〇四、五〇 四、五〇 五一、五〇 五四、一二五 二、六二五

本年五月八日

一〇四、二五 三、八三 六〇、二五 六一、二三五 一、二七五

右表の如く今次の實際倫敦銀塊相場は昨年七月の夫と較べて寧ろ裁定標準相場に接近しつつあるのみならず右に示したる裁定標準相場は輸送に關する諸費用を全く計算外に置きたるものなれば今次の倫敦銀塊相場が大體に於て投機思惑の分子を包含し居らざる現實に近き相場なりと解し得ると共に銀價の將來が戰爭の終熄に伴ふ歐米軍の占領地帯に於ける貨幣の需要激減其他諸原因により從來の如き昂騰の可能性を有せざるを語るものならん他方米國側を觀るに同國政府の近時採り來れる投機思惑防遏手段たる資金制限策は銀塊の取引業者にも及びたるは固より其所にして紐育銀塊が稍頽廢の趨勢を示し來れるは或は此間の消息を語るものには非ざるか加之最近着の米誌を見るに米國は獨り産銀國たるのみならず一方には大産銀國たる墨國を有し他方には銀の大消費國たる支那を有し頗る有利なる地理的關係の上にあるを以て東洋開發の一要素として銀の供給に就て深甚の注意を拂ふべしとの論を高調する者あると共に戰時及戰後に於て支那に於ける米國の財政上及商業上の活躍は或意味に於て將來低落せんとする銀の使途に就て今より準備せんとするものと解し得べし

更に支那市場に於ける銀價の趨勢を察するに既報の如く八日上海の對英爲替は銀塊の引返しに拘らず六志を割りて五志九片に

落込み之に順應して對日爲替は四十五兩四分の三と急激の暴騰を示せるが對英爲替の漸落支那に於ける對外輸出貿易の不振與つて力あることならんが戰時に於て旺盛を告げたる支那の輸出貿易は我國同様平和來と共に固より衰運を招くは否むべからざる所にして今前記の對英爲替五志九片により倫敦銀塊相場を裁定すれば正に五十九片見當に當り上海市場の對外爲替相場は倫敦銀塊現物相場よりは寧ろ先物相場を基準とせるやの觀ありて上海に於ける爲替銀行特に爲替市場の大勢を決するものと目されつつある香上銀行等の對銀價觀は略察知するに難からざるが事情斯くの如くなるを以て我對支爲替は頃日來漸く昂進の步調を取り益輸出に不利の情勢を示さんとしつつありて銀價の暴騰を見ざる限り十日拂買相場は遂に五十兩を呼ぶに至るやも測り知るべからずして我綿絲布界は爲めに内外兩方面より尠からず惡影響を受け前途益難境に陥るや保し難かるべく要するに更に新なる暗礁は我財界に横はり來れる次第にして貿易業者の自制と警戒は愈益其必要の度を増加せるものと云ふべしと論する者あり

銀の生産に就て

印度大臣に提出したる英國鑛物學校冶金學教授「カーペンタ」及鑛物經濟學教授「カリス」兩氏の報告は世界の銀に對する需要供給を精細に研究したものに於て、甚だ參考となるものあり次に其要領を述べん、大體の結論は、此處數年間銀の缺乏を見るも遂に供給は消費を超過し、價格の下落を來すべしと云ふにあり一八六〇年には銀の世界總產額僅に約二千萬オンスに過ぎざりき其の後多少の消長ありしも概して生産は増大し一九一二年に至りて二億三千三百萬オンスの最大記録を作れり

之れ實に約半世紀間に八倍の増加を示すものなり、其後一頓挫を來し生産額の減少を來したるは世界の富源の枯渴したるに因るにあらずして、探掘上に急激なる一頓挫を生じたるに因るものなり、從來世界の銀總生産額の約四分の三は北米及墨西哥の占むる所なりき、當時加奈陀に於ては「コバルト」礦石の漸次盡くるに従ひ銀の生産も亦減少したるが、幸ひ米國に於ける銀産額増加によりて之を補ひて尙多少の余ありき然るに一方墨西哥に於ては引續ける革命の爲めに銀産額は一九一〇—一三年平均七千四百萬純オンスより一躍して一九一四—一七年平均三千二十五萬純オンスに減少せり即ち四千三百二十五萬オンスの激減にして、之を世界中の總減少五千〇二十五萬に對比せばよく銀供給難の寄因を知り得べし、右期中に於ける加奈陀及濠洲の生産減少は各々七百萬オンス、歐洲は三百萬オンスなるを示せり而して米國の増加額は九百萬オンス、亞細亞百萬オンスなりとす、此の米亞の増加は戰爭の影響に出づるものとも云ひ得べく加奈陀の礦石減少を補ふ力ありと云ふべし

戰時狀態は銀の異常なる需要、特に銀貨鑄造の必要を喚起し激甚なる銀の供給難を來せり、インデアンカレンシー、コンミテイの報告に依れば英帝國は一九一〇—一三年間に於ける銀貨鑄造高三千五十萬オンスに對し一九一五—一八年間には一億八百萬オンスの異常なる鑄造高を示せるが、他の諸國に於ても亦之と同様の鑄造高の増加を示せり、加之支那に於ては過去二ヶ年間銀の需要夥しきものありき即ち一九一四より一九一七年に至る迄は支那は常に銀の供給國たる地位にありて其輸出額は七千七百萬「スタンダード、オンス」を超過したりしに一九一八年には一變して盛に銀輸入を爲し殊に最近數ヶ月に於ける其の需

要の熾烈なるは銀市場の暴騰を來したる主因なりとす、更に印度に於ける銀の需要を見るに、印度は戰爭の影響を受けて輸出貿易の旺盛を極め、印度政府は其の貿易尻決濟の爲めに巨額の銀を吸收せり、即ち一九一六年四月より一九一九年三月に至る三ヶ年に於て印度の吸收したる銀は五億オンスの額に達し、此期間に於ける世界中の銀産額に匹敵するものなり以上は銀價をして一九一五年に於ける二十七片四分の一より七十九片八分の一に騰貴せしめ更に數日前には八十九片なる未曾有の「レコード」を造りたる主因なりとす

一九一二年に於ける世界の銀産額は二億三千三百萬オンスにして一九一四—一七年間の一ヶ年平均產出額約一億七千八百萬オンスなり而して此數字の内容に就て見るに大略八割は新大陸の產出に係り他の二割は舊大陸の產出する所にして此割合は從來殆ど一定不動なりしを以て「カーペンター」及「カリス」兩教授は近き將來に於ても亦之と大差なかるべしとの意見を發表せり英帝國の銀產出額は一九〇七年以來常に世界總產額の二割二分を占め居れり

近來金鑛、銅鑛、鉛鑛、亞鉛鑛等より副產物として銀を生産する事に依り銀産額は漸次増加の傾向あり、右四種の鑛石中より世界の銀産額の八割を生産し得べく、就中銅、鉛、亞鉛の三種鑛石より優に七割を得べく、而して「カーペンター」及「カリス」兩教授の意見によるに銅、鉛、亞鉛の市價は將來永く好況を持続すべく、其の需要高は現狀維持よりも寧ろ増加の趨勢にあり、尤も平和克復以來是等三種の金屬は手持品の相當多かりし爲め一時生産手控の狀態に陷るれ共歐洲の荒廢したる地域に於ける改造に莫大なる需要を喚起すべく、而も一旦戰時の缺乏

を充足し常態に復する時は更に新しき生産増加する事明なり、蓋し近代的生活には如上の金屬就中銅は最も多く使用せらるゝが故なり、於是是等金屬の生産増加する曉には亦銀産額も隨つて増加するの理なり尤も銀の産出額と含銀礦石たる銅、鉛、等の産出額との間には極めて密接なる關係あれ共、銀産額と是等金屬の市價との關係に就ては明白なる研究報告なし、故に是等は藥用金屬の需要に影響する原因とし貴金屬の需要に影響する原因とは別個のものと解し得べし

尙近來採鑛技術竝に冶金術の進歩に伴ひ銀、金、銅、鉛、亞鉛等の諸種の鑛石は益々安價に得る事を得、從て從來度外視せられたる此等の含銀鑛石は將來技術の進歩と共に益々鉛の生産を増加せしめ、銀價の安定を得せしむるに至るべし、上述の如く各種含銀鑛石の増加と冶術の進歩とは益々銀産額を増加せしむるのみならず、今日の鉛價上騰は之が生産増加を刺戟する一原因なり「カーペンター」及「カリス」兩教授の予想に依れば銀價は將來永く「スタンダードオンス」尙四志乃至五六志の間を往復すべしと云ふ、蓋し貴金屬採鑛の新に擴張するには尙多少の時を要すべく、一方銅、鉛、亞鉛等は戰時中の生産過剩の爲めに其産出を手控へ居る状態にあり、兩教授は結論として左の如く云へり。

一、銀山は古より時に發見せられ今世紀に入りてより既に數ヶ所の發見ありき、特に今日の發達せる科學力を以てせば將來幾多の發見の効あるべきを確信を以て予想する事を得
二、今後暫くの間は鉛産額は少かるべきも近き將來に於ては黃金屬産出増加時代に入り、且つ一時停止の状態にある含銀鑛の生産回復する曉には銀産額は堅實なる増加を示すべし

三、墨西哥の銀産額が今日の如き不況を持続する限りは世界の銀産額は一九一二年の最高記録以上に昇り得べくもあらざるが一度全國が常態に復する時は究竟は云はずもがな恐らくは程なく右記録を突破するに至るべし

四、一八七一年に始まり一九〇九年及一九一五年に於て低記録をなせる引續きたる銀價低落の原因は要するに生産過剩に歸するものにして、當時有力なる數銀山は擴張せられ含有銀鑛より銀を精煉する大仕掛の方法の採用を見たるなり

五、生産の減少需要の増加竝に戰爭の爲めの未決濟金の蓄積はこゝ數年間銀の供給を不足ならしめ銀價を高きに居らしむるも歴史は究竟繰返すものにして貴金屬鑛山よりする銀産額の増加と含銀鑛石よりする潤澤なる供給とは再び銀の生産をして其の消費に超過せしめ銀價の低落を招來するに至るべし

(タイムス貿易附録)

青島雜錄

△低資供給請願 內地經濟界の惡影響は惹て各植民地に及び當地の如きも三月中旬頃より市場次第に惡化し來り金融の硬塞は金利の昂騰を促し爲めに市況不振に陥り斯くて此趨勢にして永續せんか占領以來市民が刻苦經營折角今日の基礎を作り上げたる努力も遂に水泡に歸せんかを憂ひ一部市民の間に提唱せられたるもの即ち低利資金の供給説なりき爾來該問題に關し市民會評議員等の間に幾度か協議を凝し過般原辰治氏東上の際に於ても内々運動を托したるが其後議愈々熱し既に軍當局の諒解を得たれば具體案作製の上軍當局の手を経て陸軍大藏兩省に請願す

る事に決し既に印刷も出来上りたれば更らに市民會評議員一同連署の下に請願すべしといへるが右低利資金供給請願額は銀五百萬圓若くは金一千萬圓にして主として不動産に對する貸付資金なりと

△埠頭積卸料金 埠頭事務所に於て取扱ふ小口扱發著貨物積卸料金竝に聯絡手小荷物運搬料金は左記の通りにして前者は山東運輸會社後者は赤帽組合に請負はしめつゝありと云ふ

一、小口扱發著貨物積卸賃金

一、噸銀八錢

二、聯絡手小荷物運搬

(イ) 日本内地行定期船に接續する列車便に據る運搬賃金一個銀五錢

(ロ) 列車便に據らざる埠頭大港驛相互間運搬賃一個金十錢

(但し右に對する重量及び賃金計算法は噸以下二位にて四捨五入

錢未滿は切捨)

△灣鹽輸入命令數量 大正九年度に於ける膠州灣鹽の内地輸入命令數量は總計二億九千八百萬斤にして内一億二千三百九十二萬斤は豫算の關係等の爲めに留保され残りの一億七千四百八萬斤は第一次輸入命令數量となりたる譯なるが其當業者に對する割當左の如し

取扱人	分配數量	留保數量	第一次數量
大日本鹽	二九、五六〇	一三、〇六〇	一六、五〇〇
青島鹽	六六、八八〇	一〇、〇〇〇	五六、八八〇
東洋鹽	三四、四二二	一三、八二二	二〇、六〇〇
中村組	三〇、〇〇〇	一三、五〇〇	一六、五〇〇
中日鹽	九、〇〇〇	九、〇〇〇	
平田鹽	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
化學鹽	三六、六七〇	一八、二七〇	一八、四〇〇
許斐	一八、〇四〇	九、〇四〇	九、〇〇〇

旭硝子	三〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
日本曹達	一四、二二〇	七、二二〇
日本舍密	一五、〇〇〇	七、五〇〇
東海曹達	三、〇〇〇	一、五〇〇
大阪曹達	六、〇〇〇	三、〇〇〇
三井礦山	一、〇〇八	一、〇〇〇
厚達化學	一、二〇〇	一、二〇〇

△埠頭の計 二九八、〇〇〇 一二三、九二〇 一七四、〇八〇
△埠頭の改造曳船 曩に大阪より廻航到著せる埠頭事務所々屬曳船孤山丸は新造著手後既に五六箇月を経過し居れるより目下港務所工場に於て塗替中なるが同船は長さ八十五呎幅二十一呎總噸數百三十噸排水量二百五十噸實馬力四百八十速力十節以上にて到著後試運轉の結果十節半の成績を示したり同船の特徴は外部に碎氷裝置を施しあれば冬期は碎氷船として使用され得る外船中にモーターボート天馬船各一隻を積載しあり各種の作業に従事し得べく尙ほ入港各船舶に給水する設備をも有し其他難破船救助用として二個の揚水筒唧を具備する等在來の曳船に比し頗る完全なるものにて遠からず相生丸黃島丸と共に諸種の作業に従事すべしと

△兩炭坑出炭量 山鐵淄川炭坑及び坊子炭坑出炭高は年々激増を來たし販路亦次第に擴張されつゝあるが六、七、八年度に於ける年度別炭況一覽を見るに左の如き統計を示せり

地賣	七年	八年
淄川炭	四五七、五四三	四〇二、八一四
坊子炭	一	四七〇、一七四
販賣高 (單位銀元)	七	八
	七七〇、五四〇	六九五、五五九
	六年度	七年度
	四〇二、八一四	四七〇、一七四
	三五、五六五	六二、〇九一

同	六八、一三四	一八四、〇一一	坊子
輸出	四九一、二四二	五九九、八三二	淄川
同			坊子
燃料	二七、二五九	五、三一〇	淄川
計	一、三五七、一七六	一、四八四、七〇三	淄川

△魚市場水揚高 四月中青島魚市場賣揚成績は總計二萬四千九百四十七貫五百三十匁此金額五萬五千二百四十一圓八十五錢にして内日本漁船物一萬三千三百十三貫金額二萬二千九十四圓三十四錢支那漁船物九千九百二十四貫金額二萬二千四百二十三圓六錢内地物千七百十貫五百三十匁金額一萬七百二十四圓四十五錢なるが主なる漁獲物は日本漁船に在りては鱈、鰈、鯛、グチ支那人漁獲物は大海老、鰈、鰻、飯蛸又内地物は鯛、鰈、鯖、甲鳥賊等にして本月に入りては内地物の輸入は皆無となれり

△營業許可件數 四月中青島民政署に於て許可したる管内日支外人營業件數は合計二百五十六件にして内日本人百〇三件支那人百十六件歐米人二件廢業及び取消日本人二十二件支那人十四件なるが之を前月に比較すれば日本人側にありては八十一件を増加して四千七百七十六件となり支那人は百二件を同じく増加して二千四百六件となり歐米人にては二件を増して三十九件となり月末現在總計七千二百廿一件を數へ居れるが市況惡化の聲高まりつゝある際なりしにも拘らず營業件數のみは益々増加の趨勢にあり

△邦人にも課税 當守備軍管内に於ける課税は大體獨逸時代の制度を踏襲し地租營業税、酒税、阿片吸飲税及び雜税の外税外收入として土地建物貸下料、免許及び手數料裁判所手數料、懲罰及び沒收金其他雜收入等にして其税率は極めて輕微なる上獨逸時代の税目にして未だ實施せざるもの多く殊に日本人に對して

は特種のもをを除く外當分營業税を免除せられたり是れ占領後秩序未だ回復せず且つ在住邦人の固定せざる當時に在りては當然の措置なりしならんも今日は諸經費の膨脹と一般在住民の發展とに伴ひ其規定を改正する必要を認めらるゝに至り既に昨秋増税實施の計畫あるやに傳へられたるも往舊約一年を経過したるが當局は今回愈々順次其税率を増加し殊に日本人にも力めて支那人同様の負擔を爲さしむる方針にて過般發布せられたる船車税規則の改正を始め官有地貸下料其他に對しても目下増率額其他に關する調査の歩を進めつゝありと云ふ

△郵便爲替貯金 遞信部管下各郵便局に於て大正八年度中取扱ひたる爲替は受入六百五十七萬九千九百七十五圓餘拂出二百八十四萬五千五百六十八圓餘にして貯金は受入二百五十七萬六千五百十三圓餘拂出二百二十二萬三千三百三十一圓餘を算し受入總計に餘て前年度に比し四百十五萬八千八百八十二圓餘拂出に於て百九十二萬六千九百三十三圓餘孰も増加を示せり

爲替	六、五七一、九七五、四三〇	二、八四一、五六八、九三五	拂出
外國	一、二〇八、九八〇	六八一、五九〇	
貯金	二、五七六、五一三、九一七	二、二二三、三三一、九七六	
振替	二、一二二、三七七、四六八	七九、八六九、二七〇	
年金恩給及債券元利金支拂	一一、二七二、〇七五、七九五	五、一九八、三六四、四九九	

△屠畜數大減退 屠獸場に於ける四月中の屠殺高は三千九百六十九頭にして内牛二千九百三十頭五綿羊三十三豚千一平均一日の屠殺數は百八十頭最多數の日三百八十最少數三十五頭なりと云ふが之れを前月に比すれば牛三千四百廿五頭三綿羊九豚四百十九計三千八百五十六頭の減少を見たる事となるが主なる原因は暖季に入り日本への生肉輸出高減退したると濟南に於て開治

洋行の生牛購買意の如くならざりし結果麻尼刺輸出を減少せしめしに依る由なり因に四月中屠肉の仕向先は左表の通りなりと

	日本	マニラ	浦鹽	大連	青島
牛	一、六八〇	七三〇	二六九	六〇	一九六
綿羊	—	—	—	—	三三
豚	—	一一〇	—	—	八九一

△臺東鎮管内家畜數 最近青島民政署家畜診療所調査に係る臺東鎮管内に於ける家畜數は總計二千七百十七頭にして豚は其内の約過半數を占め千九十四頭あり驢之に次ぎ九百七十六頭あり内譯すれば

畜名	牝	牡	計
牛	二二四	六一	二八五
馬	七	五	一二
驢	六八九	二八七	九七六
騾	一七七	一〇三	二八〇
綿羊	一〇	二	一二
山羊	四九	九	五八
豚	六〇六	四八八	一、〇九四
合計	一、七六二	九五五	二、七一一

右表中牛は全部太平鎮牛乳村のものにして山羊も農家所有七頭を除くものゝ外は全部牛乳村の所有なり驢の最も多き地方は浮山所にして全數の過半四百六十五頭を占め騾は農事用及び交通用として其大部分は臺東鎮附近に於て飼養さる豚は浮山所地方に多く五百四十七頭ありて臺東鎮附近の部落之に次ぎ七十七頭を有す

○鐵道客貨増加 山鐵輸送の貨客は年々増しつつあるが今同部運輸課にて調査したる大正八年度の輸送數に依りて計算せる大正九度輸送見込數は左の通りにして約三割の増加を見るならん

と云ふ

旅客

八年度 二百五十四萬四千六百八人
九年度 三百二十萬四千四百八人

貨物

八年度 九十八萬七千五百噸
九年度 百二十三萬九千七百噸

無貨石炭

八年度 四十二萬六千三百噸
九年度 六十五萬噸

無貨鐵礦

八年度 十五萬三千三百噸
九年度 二十萬噸

鐵道用品其他(無貨)

八年度 十八萬噸
九年度 二十五萬噸

△青島病院取扱患者數 四月中青島病院取扱患者は合計一萬三千三百四十七人(延人員)にして之を前月に比すれば七百三十二人を減少し居れり内譯左の如し

内科	外科	小兒科	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	齒科	合計	入	出
七二五	七六八	一九四	一三三	八七	二二二	一五五	四	二、四三三	一、一五九

△料金後納電報數 當地遞信部が或る一部の人々の便宜のため

料金後納の電報を取扱ひつゝあるが右は發信多數に上る商店等より特に出願に依り査定する事となり居り目下該規約に基き料金後納電報を發し居る者五十餘名有り四月中の金扱を以てせる料金は九千四百九十八圓十五錢にして三月中に比し一千〇二十六圓二十三錢の増加を見たりと云ふ

△戰跡保存計畫 當地に於ける戰跡保存會は昨夏組織せられ鈴木高級參謀を委員長深見參謀以下文武官を委員とし屢々協議會を開きて大體の方針は既に決定したるも種々の事情の爲め未着手の儘今日に至れるが這回愈々其實施を期する筈にて主なる諸砲臺跡を公園とし開城談判を開けるモルトケバラツク軍使會見の場所たる東吳家村其他著名なる戰跡には夫々標石を建て、其事蹟の湮滅を防ぐ等全部竣成の曉古の大戦を永久に記念すると同時に戰跡巡遊客に對して多大の便宜を與ふるならん

△發電所現在燈數 發電所四月現在取付燈數は十燭光換算十一萬四燈又同月徵收の收入は三萬六千八百三圓八十四錢にして之を前月に比較すれば燈數に於て三千二百七十燈を増加せるも收入に於ては五千五百五十一圓二十六錢を減少せり

△嶗山療養所修築 嶗山々腹柳樹臺の療養所は獨逸時代に於て自國文武官を始め内外人の爲めに山氣療養の目的を以て設けられたるものにして同地青島間八里の坦路にて定期自動車を通じて遊覽客の便宜を圖り居たるが偶々這回の大戦勃發し獨人は退去の際建築物の大半を破壊したるより今日は唯其廢趾の殘留するのみ従つて嶗山柳樹臺の景勝を説く者も適當なる旅館若くは休憩所無きを遺憾とせしが李村國武農場主任鐘江敏氏は戦爭當時兵站部附として勤務中其將來有望の地たるに著眼し其後復舊工事を思ひ立ち昨年中大阪内外信託會社々長高木次郎氏の出資を

得て其計畫を開始せり然るに本年二月其附近一帯の貸下許可を得たるより四月更に復舊工事を出願し過般其認可を得たれば直ちに工事に着手し其第一期計畫として本年七月中には本館及び貸別莊一戸を竣工せしむる豫定なり而して同地は山上にて水の不便尠からざるも東麓溪間の清水を電力に依り供給すべく電気モーター二臺を据付くる筈引續き第二期以後の計畫としては山上の家屋大小十五戸全部を修築の上本館をホテルとし他の四戸を貸別莊に又舊兵營を溫泉場に當て一般遊覽客を招致すると同時に嶗山登攀者の便宜を圖るべく尙は青島柳樹臺間の定期自動車運轉をも復舊し獨逸時代に比して毫も遜色無き程度に萬端の設備をすべしと云ふ前記の計畫が全部完成の曉は夏の海水浴場と相俟つて在住者は勿論廣く在青内外人を招致し眞に青島を東洋唯一の樂土たらしむるならん

△電話規則改正 六月一日より電話方式が共電式に變更せらるゝに付之と同時に現行電話規則の改正を見る趣なるが逓信部當局者に就き其の改正要點を聞くに概ね左の如し

- 一、現行規則にては普通加入區域を二里以内特別加入區域を四里以内と定めあるも地況の發展に應じ適切なる區域を定むるに便ならしむる爲普通加入區域は別に告示にて之を定め又其の隣接地を特別加入區域と爲すこと
- 二、從來増設電話機を設くる場合は増設加入とし別に一加入として取扱ひたるも改正規則にては單に電話機の増設として取扱ひ加入登記料を徴せざること
- 三、會社旅館等の如き各事務室或は客室等より外部への通話の外各室相互間にも連絡を要し即ち宅内交換を必要とする者の便を圖り交換機、増設電話機等の設備及び維持並びに交換手

は加入者の負擔とし宅内交換を認め附加料金は増設一箇に付
 年額金八圓とすること

△大正八年度山鐵輸送客 大正八年度に於ける山鐵全線の貨物
 輸送總噸數は九十八萬七千五百〇四噸にして之れを大正七年度
 の五十九萬五千二百八十七噸に比すれば實に三十九萬二千二百
 十七噸の増加を見る又同八年度乗車人員月別表に依れば

四	月	二二、七五五
五	月	二〇、三八五
六	月	一四、七五五
七	月	一二、〇三九
八	月	一四、〇八九
九	月	一六、八三八
十	月	二〇、九〇七
十一	月	二四、〇四一
十二	月	二四、二五五
一	月	二七、四八三
二	月	二五、〇六五
三	月	三三、六七九
計		二、五四五、二六八

即ち大正七年度の一十一萬七千七百六十名に比し一百四十二
 萬七千五百〇八名の増加を見る因に八年度に歸還苦力の輸送合
 計は八萬〇九百十九人なりと

青島要覽

山東町町勢一斑

△前記 獨逸時代に於ける山東町の位置は市の西北隅に僻在し
 其附近一帯は支那人部落を爲し治德通保定町を分界として全然

獨人と區劃せられ居たる爲め自然市の繁榮を二分せる觀ありて
 商業上昨今の如き注意を惹きたる事無かりしとは云へ大港埠頭
 に出るの要路に當り静岡町治德通の兩大街を亨けて市の動脈を
 形造れる爲め交通極めて頗繁商況稍々見るべきものあり其晩年
 に至りては全街大小の店舗軒を接し支那部落中に在り最も整頓
 せる重要商業地帯として目せらるゝに至れり居住者日商五印度
 商店二の外は悉く支那商店にして洋品雜貨商、洋服商、兩替商
 等多數を占めたるものゝ如し大正三年我軍占領當時忽ち此地に
 軍政を布き秩序稍回復せられたりと雖ども本町に在住せし支那
 商中には未だ商業上不安の念を抱くもの尠なからず日本商人の
 續々入市し根據を此町に据ゆるもの多きに反し相當餘裕ある支
 商は一般に躊躇し唯商業の種類により多少前途に望みを屬する
 少數者の開店を見たる外は大低形勢觀望の姿に在る當時歐戰に
 於ける獨人の勢力旺んにして稍もすれば聯合軍を壓迫するの氣
 勢を示し居れる爲め今日の隆盛を豫想するものなく印度商店の
 如きは店没投資を爲し勿々として此地を引上るに至れり然るに
 日人小賣業者は他に適當の店舗地無かりし理由もあれど本町の
 將來に嚮望し店舗を構ふるもの多く期年ならずして日商の數支
 商を凌駕し大正四年央頃に至りては町勢全く一變し商業並に交
 通上須要の地位を占め青島市の中心地點を型造るに至れりされ
 ば青島發電所は本町に出張所開設の必要を認め元の中央カフェ
 ーの一室を收めて同出張所を設置し次て大鮑島郵便局（元中央
 カフェー）跡の開設となり其他憲兵派出所あり支那電報局あり
 て同年末既に今日般盛の基礎を爲すに至れり然れど當時の青島
 は大小の事業未だ其緒に付かず各貿易業者及工業者の數極めて
 微々たるものなりしが爾來日を経るに従ひ諸般の事業漸次發展
 膨脹の機運に向ひ臺東鎮工場地の建設に亞で若鶴山下より大港

小港一帯に於ける市街地の建設となり所謂大港を中心とせる大青島の建設は著々として實現せられ延て大正七年所澤町、吳淞町、大黒町、市場通り(舊練瓦地)の完成と共に此地方一帯は貿易業者の淵藪として實勢力を備へ來り茲に山東町は左に貿易地帯を控へ右に山の手一帯の官舎宿舍地を控へて其中間に介在し小賣商業上絶好の地位を占め殊に本年本町と所澤町との境界に新市場の新設せられたると同時に舊市場の移轉を見益本町繁榮の導火を爲すに至れり新市場は民政部が模範市場建設の目的を以て數十萬圓の工費を投し約一ヶ年の歳月を費して建廣壯外觀の美に加へて場内の設備至らざるなく階下に魚業及雜築せる丈ありて規模の貨商を收容し階上全部を勸商場に充當せり本市場は青島に於ける唯一の魚菜市場なるを以て全市の需要者蟬集し朝夕の雜沓謂はん方無く一方町の東南端靜岡町との境界に残存せる舊野菜市場と相俟て益本町の殷盛を誘致せるに似たり爾來商勢益擴大し街衢の整頓店前の美商品の豊富等進歩の跡歴然として見るべきものあり更に夜間に於けるショウウキンドの電燈裝飾は樂々座のイルミネーションと相俟て夜の山東町を變化せしめ恰かも東京に於ける銀座街の如く青島のメインストリートとしての實質外觀共に具備するに至れり

本町の西北端に在りて異彩を放てる樂々座は元支那劇場歌舞臺なりしを活動寫眞の勃興に伴れ内部を改造して大黒座と改め演劇及活動寫眞の興行を爲しつゝありしが一昨年再び樂々座と改稱して活動寫眞常設館となせしも本年五月更に其外部及内部に大改造を加へしより劇場としての要素全く備はり青島唯一の劇場として續々優秀なる俳優を上場せしめ愛劇家を喜ばしめつゝあり而して其屋外に施せるイルミネーションは目も醒めんばか

りの美觀にして全然從來の面目を一新し本町の夜の美觀を添ゆるに至れり

△居住營業者 獨逸時代に在りても山東町は小賣業者の淵藪にして大小の商店軒を接せしが當時日商として茲に居住せしものは多戸洋行(洋品雜貨)松森(玉突)菊川(時計店)小西(理髮)等の數人に過ぎず外に印度人二名ありたれど他は悉く支那商店なりしを以て日商の勢力誠に微弱なりしが戰後遽に日商の數多きを加へ殊に青島の發展擴大と共に本町が市の中心地點に當り小賣商業の最好適地として囑望せらるゝに至り邦商にして本町に開店するもの續出し忽ちにして日商の數支商を凌駕し茲に動かすべからざる商勢力を形成するに至れり最近の調査によれば東側日商三十六軒支商八軒西側日商二十六軒支商二十軒計日商六十二軒支商二十八軒を數へ一度此町を通過するものをして祖國に在るか如き感を抱かしむ而して日商中最も多きを占むるは洋品雜貨商の十二に次て吳服店、食料雜貨商の四、洋服商、貴金屬商、菓子商、藥種商の各三にして其數三十三種類に亘り支商は洋服商の六兩替商の三を主なるものとして其數十七種類の多きに亘れり今其職業別を示せば左の如し

○山東町居住者營業別

營業種類		日商		支商	
牛	肉卸小賣商	一	一	一	一
洋	服 商	三	六	一	一
半	襟 商	一	一	一	一
紙	文房具商	一	一	一	一
吳	服 商	四	一	一	一
洋	酒雜貨商	一	一	一	一
藥	種 商	三	一	一	一
兩	替 商	一	三	一	一
		蒲團綿商	一	一	一
		菓子製販業	三	一	一
		小間物商	一	一	一
		貴金屬商	三	一	一
		骨董商	一	一	一
		理髮業	二	一	一
		洋物雜貨商	一	一	一
		玩具具商	二	一	一
		日商	二	支商	一

書籍雜誌商	食料雜貨商	飲料店業	飲食店業	貨自動車業	金物商	裝飾家具雜貨商	火藥銃砲店	帳簿製造業	旅館業	熨斗雜貨商	計	日支商店合計	同營業種類
四二	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	六二	九十軒	四十種
時製計	靴製販	硝子店	牛乳洋食品店	印刷業	電氣器具機械商	煙草卸商	綿絲布商	陶器商	衣服商	演劇場	二八		
一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一			
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			

△土地及家屋 獨逸時代に在りては山東町は支那人部落の一部なりしを以て所在土地家屋は其二三を除くの外悉く支那人の所有する所たり日獨の戰禍に際し一時閉店を除議無くせられ戰後秩序稍回復せりと雖も前途尙如何に變化すべきか一時混沌として更に見定の付かざりし時に於て邦人の入市するもの多く從來山東町居住支那商中にも全然開店を希望せざるものと一は商買の關係上開店を有利とするものとに分れ前者は邦人の希望するが儘に多少の權利金を得て賃貸借契約を結びたるものにして爾來土地の繁榮に伴れ地代並に家屋賃貸借料の騰貴と共に借家權の賣買も自然騰貴し占領當時僅かに二三百圓に過ぎざりしものが今日に於ては普通二三千圓を稱へ場所によりては四五千圓見當を唱へ居れり然れど一般小賣商店の如きは場所の如何は大に商業に影響するを以て信用ある商店にありては場所に對する執着心強く萬金を以てしても容易に賣收し能はざる狀態を推移し來れり此特權は法律により何等の保護を與へらる事なしと雖ども邦人の習慣により家屋所有者たる支那人に何等の關係なく前

借家人と後借家人との間に公然賣買されつゝあり家屋の賃貸價格は場所により差異あれど坪銀二元より二元五十錢を普通とす大正三年十二月青島軍政署は建物賃貸價格率別表を發表し山東町を一等地中の最上位に置き總て家屋の賃貸借は此率に準據せしむるの方針を採りしが土地の發展と共に漸次昂騰し今日に於ては前記の如く軍政署の標準率に對し二倍強の昂騰を示すに至れり

大正三年十二月三日軍政署告示 建物賃貸價格率（一坪定一箇月銀建）

土地等級	建物等級	標準場所	洋式家屋	支那式家屋
一等地	上	山東町	三階建 二階建 一階建	二階建 平房
中	等	天津町	一〇八 一〇八 一一三	一一三 一一七
下	等	北京町	一〇四 一〇四 一〇八	一〇八 一一三
			〇九九 〇九九 一〇四	一〇四 一〇八

（以下略）

△商況 青島唯一の雜貨市場として知られたる山東町は日支兩國人により經營せらるゝ大小の店舗軒を連ね其數實に九十軒營業の種類四十種の多きに上り恰かも一大勸商場に臨めるが如き感あり人車の來往頻繁にして全市中最も殷盛の巷と化し足一度本町を踏むに於ては衣服食料調度等日需の諸品一として得られざる無き迄に完備せられ居るを以て自然客足を引き日々の賣上高多きは七八萬圓より少きも二萬圓を下らず殊に年末中元等に際しては一日の賣上高十數萬圓に上る事珍らしからずといふ顧客は全市の各階級を網羅せるも概して日本人は日本商店に需め支那人は多く支那商店に就き所謂二割物を好んで購入す現在青島及附近在住人口を見るに日本人約二萬人支那人三萬人外人四百あり支那人は暫く措き日人の需要方面に就て見るに官商を問はず個人經濟上一體に餘裕あるを以て華美に流れ易く洋雜貨

吳服、履物、高等裝飾品等の賣行殊に旺なる盛を極め何れも安物より高價なる物を好む傾向あり殊に閑却すべからざるは花柳界の盛況に伴ふ同方面の購買力の増大に在りとす何れの土地に於ても華美を競ふ花柳筋の需要が重要視せらるゝ習なるも青島に於ては約九百人の藝酌婦ありて全日本人の約一割弱を占め其一流筋の如き毎月の揚高二萬七八千圓達せる盛況に在り花柳界の盛況は個人經濟の半面を語るものにして殊に彼等が流行を追ひ贅を盡すに於ては其購買力蓋し侮るべからざるものあり本町の如きも五吳服店十二洋品雜貨店三貴金屬店ありて各相當の成績を擧げつゝあるより見て大勢を推知するに難からざるべし本町日本商店に於て販賣せらるゝ商品は悉く

日本内地より輸入せらるゝものなれば運賃諸掛及運送中破損等の關係より常に内地に比し二三割高價なるも際物賣行良好にして殊に價格の如何よりは實用的優良品を好むの傾向一般に生じ從て洋品雜貨の如き大阪物よりは東京物の賣行良好となりたるに見るも當地需要界の一般傾向を推知するを得べし本町在住支那商店中にも二三の大資本經營者あれども他は概して小資本なるを以て規模體裁共日本商店に比し甚だしく見劣りせらる殊に雜貨商の如きは主として支那人向安物のみを取扱ひ居れるが之等の劣等品は日本内地に於て特に支那輸出向として製作せられたるものにして價格は低廉なりと雖も品質の劣等なる到底日商販賣品と比すべくもあらず然れば近頃に至り歲末中元等の贈答品を日商より購買する支那人非常に増加せるは新らしき現象なりと某商店主は語り居れり前述の如くなるを以て日商の店頭花々しきに反し支商の店頭は一體地味に薄暗き感あり特にシヨウウキン、の裝飾等全く支那式を脱せずして殆んど云々するの價

値無く日商は常に此點に細心の注意を加へ流行を追ひ人目を牽き顧客の吸集に最めつつある中にも東側に在りては寺庄、藤木、滋賀の各洋品店、馬場、辻、近江屋、林屋の各吳服店及近江洋行、バイジス商店等は始終新奇を追ひてウキン、ド内の裝飾を變換し夜間は電燈裝飾を施して人目を牽く意匠を怠らず西側は支那商多き爲め店頭の華麗なる東側に比すべくもあらざれども天津町筋より北京町筋の中間即ち早川金物店よりたま屋玩具店に至る迄の間は日商の最も集合せる部分にして從て多戸、香川白石の各洋品店、青木、下江の二貴金屬店其他清桐洋行、香丁屋、たま屋玩具店等の店頭稍見るべきありされど此一部分を除けば其東南端は支那人經營の小洋服店軒を接し天津町筋の一角に支那電報局あり隣地二三十間許の空地を存じて益此邊の寂寞を誘ひ商勢の發展を沮害せる感あり更に北京町筋より西北を見れば支商中の白眉たる義成洋家具雜貨店あり松森撞球俱樂部あり樂々座ありて町の美觀を添へつゝあるも商業上の價值薄きに似たり前述の如きは只其一端を窺ひ見たるに過ぎざるも概して日商の店頭華々しく顧客市を爲せるに反し支商の店頭甚だ寂莫たる感あるは本町に集まり來る顧客の大部分が日人なるより見て蓋し當然の結果なりとするも支那商販賣品の概して劣等なること手持の豊富ならざる事等其主因を爲せるが如し

△町内會 大正五年十月町内居住者を以て組織せられ町内の草分たる多戸洋行多戸松次郎氏會長たり毎月會費を徴し居住者相互の親睦を計り禍福吉凶を訪ふを目的とす其他祭禮祝典等の場合に於ては町内共同一致して之に當る事となり居れり

△福和會 町内一部有志の聯合賣出會にして中元歲末の年二回共通福引券を發行し商業の繁榮を計るを以て目的とせり

會社商店彙報

●青島海運成立

實業洋行海運部は今回新に設立されたる青島海運株式會社(資本金二十萬圓全額拂込)に引繼ぐ事となり所有船日北丸(二九〇〇噸)外備船若干隻を青島神戸間航路に従事せしめ當地に於ける事務は中野町なる同支店に於て取扱ひ居れり

●山東土地解散

山東土地建物株式會社は山東起業會社成立と同時に同社の業務の一切を擧げて起業會社に引繼がべき性質のものなるを以て過般解散の決議を爲し爾來殘務整理中略終了を告げたれば近日中に愈々解散する事となる由

●齊魯燐寸許可

久しく懸案となれる大山格司氏等計畫出願の齊魯燐寸會社は過般許可の指令ありたるを以て近く具體的方針を立つると共に開業準備に著手の筈なるが工場は既に工場地に建設を終り目下製燐會社にて使用中にあれば一部修繕の上其儘使用する事となる可く機械も先月注文済なりと云へば存外早く操業を開始し得可し

●川崎工場著手期

神戸川崎造船所の機械製作工場敷地として貸下を受くべき滄口附近官有地檢分の爲め同社々長松方幸次郎氏は遅くも七月上旬頃には來青すべく本年秋頃には工事に取掛る豫定なりと

●帝國製糖規模

曩に報道したる帝國製糖株式會社工場建設に關し其後李村民政署に於て詮議の結果沙岑莊官有地三萬坪貸下

に決定したるを以て同社技師今井仲治氏は六日著の龍平丸にて大連より來青同社々民政署との間に借地契約を了したる由なるが當初同社の計畫は沙岑莊十萬坪の敷地を得て大規模の工場を建設する豫定なりしも叙上三萬坪に制限されし關係上規模の縮少は當然免かれざるべし因に同社々長松方正熊氏は近々來青實地を見分して工事に著手すべしといふ

●秋田商會組織變更

早霧町秋田商會出張所は今回大連本店と分離して資本金三百萬圓の株式會社となし本店を奉天に置き去る四月十九日同地總領事館に於て登記を了したるを以て青島民政署に支店設置營業許可を出願したり

●和田製材所拂込

曩に民政署より假許可を得たる和田製材所にては豫定に従ひ創立事務を進行せしむる事となりたるが同社が財界不況の今日斯く計畫を斷行せるは其事業の前途頗る有望にして現に異數の利得を計上するの狀態にあり然かも組織變更に伴ふ規模の擴張は更に利益を増大す可く財界隨て不況の爲に必ずしも躊躇の要なきを以て也と云ふ

●三業會社登記

資本金百萬圓を以て約三箇月前に成立を告げたる青島三業組合株式會社は過般民政署より營業假許可を得濟南領事館に於ける設立登記も完了せるに依り近々支店設置營業許可の出願に及ぶ筈なるが役員氏名左の如し取締役中島増太郎、藤崎助三郎、水野豐司、黒岩東次郎、中根幸太郎、小國泰藏、納富佐一郎
監査役弘津芳太郎、山田喜三郎、原口恒三郎

●福隆燐寸拂込

當地に設立を見たる多數事業中特に燐寸業は異數の利

益を擧げつゝあり然かも其前途は益々有望視さるゝ所より最近の計畫に係る福隆燐寸株式會社(資本金五十萬圓)の如きも財界未曾有の不況時代にも拘はらず株式は發起人賛成人に於て前部引受済となりたる由にて近々創立總會開催の運びに至る可く一方滄口に建設の工場は昨々大體の設備を終り藥品の到着を俟て操業を開始す可しと云ふ

●青島醬油總會

青島醬油株式會社にては過般濱松町同社事務所に於て定時株主總會を開く

●試運轉好成績

市街自動車株式會社は成立と同時に東京電氣工業會社に注文を發したる六臺の十六人乗り乗合自動車の内漸やく一臺到着し試運轉を行ひたるが成績頗る良好にて車體亦美麗にして残り五臺も愈々近日中に到着の筈なるが市内重要な箇所停留所を設け一區金七錢とし追て同數券を發行すべし

●相互建築總會

相互建築株式會社にては過般定時株主總會を市民會に開きたり出席者は六十名此持株一萬七千四百六十株にて伊藤社長議長席に就き營業經過を報告したる後利益金處分案を審議一株に付一圓六十錢即ち年一割二分七厘強の配當案を可決し次で定款の變更に移り原案に二三修正を加へたる上可決監査役の改選は全部重任に決せり

●漁業組合認可

曩に清輔爲太郎氏等五十二名に依りて設立認可出願せられたる漁業合資組合開始の事業は其定款中第二條業務の目的中第二號海產物の賣買並びに第三號前各項に附帶する一切の業務とあるは青島水產組合魚市場の事

業と抵觸し同組合が客年來漸く平穩に統一したる魚市場の根柢を覆へして紛擾を生ぜしむる恐れあるを以て右定款中(生魚介類を除く)として過般青島民政署より認可ありたり

●青島取引所竣成

四月十八日より難縣町舊市場跡の改築に著手したる青島取引所は此程工事全く竣成を告げたるを以て入澤所長以下取引所役員は愈々新事務所に移轉し同所にて事務を取扱ふ事となりたるが發起人總會も近く開かる、筈なるを以て創立に關する萬般の準備整ひ撃柝の響を聞くも近きにあるべし

●鈴木容器工場

鈴木商店青島支店にては近く臺東鎮制鐵工場を容器工場として使用すべき計畫なり云ふ今其内容を聞くに従來落花生油には石油罐を使用し來りしが其の漏洩量

協會錄事

定例總會 (六月)

六月定例總會は十日午後六時協會會議室に於て開會定刻に遲ること三十分にして漸く食卓に着く出席會員左の如し

出席會員 (順序不定)

伊藤忠商會社支店 岩城商會
龍口銀行支店 原田汽船會社
濱口商會社 日本棉花會社
日本郵船會社 東亞煙草會社
東和公司支店 東洋鹽業會社

は倫敦迄の間に全量の五パーセント或は夫れ以上に及び取引の上に多大の困難を感じ連も満足なる算盤を立てられず自營上必然の要求として完全なる容器を製造せんとするものにて愈々仕事を開始するは九月頃ならん而して在桑港カリフォルニアウエゼルコンパニーの中部支那總代理店として容器の製作權を獲得し製作品は舊く同業の爲めに分譲し漏洩量をして一分に足らぬ理想に到達せしめ度希望なりと

●二五會本許可

代表取締役鈴木友二郎氏より出願中なりし株式會社二五會は今回本許可ありたり

●福隆創立總會

既報の如く福隆燐寸株式會社は過般中野町蛇の目壽司に於て創立總會を開き出席株主二十六名此株數九千七百五十株にて苛原兼助氏より創立事務報告あり次で同

氏推されて議長席に就き定款を審議承認し役員報酬は三千圓以内とし夫れより役員選舉に移り議長指名三名の銓衡委員に附託創立費承認の件等滞なく終了同四時散會したり

▲取締役 天神伊三、中野孝義、吉田廣元、山田禎三、苛原兼助、吉岡嘉次郎、國見美雄
▲監査役 鈴木健吉、野田與七、松永清

●三業組合許可

久しく疑問裡に推移したる三業組合株式會社も今回假許可を得たるを以て濟南總領事館に於て登記を了し本許可出願中の處過般漸く支店設置營業許可の指令に接したり

●興業會社設置出願

過般成立したる青島興業株式會社は今回濟南總領事館に於て登記を了したるを以て本店設置營業許可を取締役社長板井辰藏氏より出願したり

東省實業會社	朝鮮銀行支店
東洋製油會社支店	大倉商會社
大星公司支店	橫濱正金銀行
吉澤洋行	大日本麥酒會社
大連汽船會社	内外綿會社支店
中村組支店	南昌洋行出張所
内外貿易會社	長瀨洋行出張所
南滿洲鐵道會社	神戸棧橋會社
江商會社支店	安部洋行
山東興業會社	山東化學工業所
湯淺洋行	三井物產會社
蜂村洋行	三菱商會社

新 利 洋 行 青 島 製 粉 會 社
青 島 糸 廠 鈴 木 商 店
久 原 商 事 會 社 山 東 葉 煙 草 會 社
青 島 銀 行 日 華 窯 業 會 社
山 東 起 業 會 社 大 日 本 紡 績 會 社
田 中 商 事 會 社 大 阪 商 船 會 社
以上四十六名午後七時半議事に移る議長副會頭飯塚重五郎君開會宣告

○新入會員及代表者交任紹介

五月中新に入會せられたる大日本紡績會社(代表者倉田敬三君)田中商事會社(代表者空閑知鷺治君)大阪商船會社(代表者川原井左司馬君)を議長より紹介三氏交々起て挨拶し東洋鹽業會社代表者貝原收藏君は着任後最初の出席なるを以て之も議長より紹介貝原君の挨拶終て協會役員總改選を行ふこととなる

○會頭副會頭選舉

役員選舉に當り議長より會頭副會頭同時に投票(用紙を別にし)てせられんことを一言したるも會頭選舉終り更に副會頭選舉を行ふを通例とせずやとの説出で之に決し別々に選舉することとなり猶ほ投票は必ず會社名を以てせず代表者名を以てせられんことを注意せり開票の結果左の如し(出席者四十六名各部長立會)

會 頭 (得票二七點) 飯塚重五郎君(新)
滿場拍手を以て之を迎へ、次に副會頭の選舉に移りたるが開票の結果

副會頭 (得票二三點) 近澤武男君(新)

滿場再び拍手を以て迎へたるも近澤氏は一身上の都合に依り就任し難き事情ある旨述べられたるも協議の結果兎も角一應任に當られんことを以てし近澤氏之を諒とせらる之にて總會に於ける正副會頭選舉は終了したる譯なるが此の機會に於て飯塚會頭不肖其の任にあらざることを深く信するも諸君の御推薦を無にするは本意にあらず幸ひ今後共諸君の御後援に依り大過なきを期せむとす云々

と挨拶し總會は少時休憩直に各部會を開き理事選舉及び部長の互選あり其の結果左の如し

○重要物産部 (五名)

部 長 金子慶治君(再)

同 小林乃君(再)

同 峯村正三君(再)

同 河原熊太郎君(再)

同 大村隆行君(新)

○棉花糸布部 (三名)

部 長 林田勇君(再)

同 西岡清市君(新)

同 一宮晃君(再)

○工業部 (三名)

部 長 石橋藤次郎君(再)

同 佐々木國藏君(再)

同 田邊郁太郎君(再)

○運輸部 (三名)

部 長 川畑竹馬君(新)

同 松本文三郎君(再)

○調 査 部 (五名)

川原井 左司馬君(新)

理 事 原 辰 治君(再)

針貝金次郎君(新)

同 西村義郎君(再)

同 石井久次君(新)

同 讚井源輔君(新)

調査部の部長は理事中二名の缺席者あるを以て追て互選會頭に通告することゝなれり猶調査部てふ名稱に就ても變更の必要なきやとの説出で研究宿題となる

以上を以て役員全部の改選を終りたるが飯塚會頭は過去四年間運動部長の任を汚したるも最近運動部も頗る多方面に亘り指揮監督上更に改革を要するものあり余は此際適任者に譲りたし御異議なければ會頭指名とせんことを圖りたるに「異議なし」拍手とあり飯塚會頭即ち

○運 動 部 長 倉田敬三君

を指名し之にて飯塚氏辭任倉田氏新に運動部長となる而して運動部改革の骨子としては先づ第一に同部規則第五章役員第十四條中一部長一名の次に(理事三名)及び幹事若干名の次に(委員若干名)を加へ理事は必ず協會員代表者を以て之に當て同部各部の統一上責任を盡すことゝなり理事は此の機會に於て會頭より指名して可なるやを圖り異議なしの聲あり直に飯塚會頭左記三名を指名せり

○運 動 部 理 事

松本文三郎君

○同

空閑知鷺治君

○同

大村隆行君

從て同部各般改革事項に就ては追て更に部長理事其他に於て協議することゝなれり次に湯淺洋行の小林氏より

協會役員は會員代表を以てするの明文規則中に存せざる以上單に諒解又は申合に止めず進で之を明記するか又は決議し置くの必要なきや

を提議したるもコハ昨年既に役員は總て代表者名に據ることを決定し居れば新めて規則中に明記するにも及ばざるべしとの説も出で結局小林氏提言の要旨たる

協會役員は代表者を以てすること

の決議に止め規則を改正せざることに決定之にて議事を終り午後十時散會せり

工 業 部 例 會

五月廿七日午後六時三浦屋に於て開會出席者左の如し(順序不定)

東和公司支店

山東興業株式會社

大倉商事株式會社

青島製粉株式會社

大日本麥酒株式會社

内外綿株式會社支店

岩城商會支店

青島絲廠

山東化學工業所

大連製氷株式會社

青島鹽業株式會社

東洋製油株式會社

山東葉煙草株式會社

日華窯業株式會社

大日本紡績株式會社

○新加入部員紹介

石橋部長より左記新加入部員の紹介あり伊東、中村、倉田の三氏交々挨拶せり

一山東葉煙草株式會社 代表者 伊東經真君
二日華窯業株式會社 同 中村康之助君
三三日本紡績株式會社 同 倉田敬三君

○工業用炭割引に關する請願の件

右は工業用燃料炭の數量夥多なると工業界の將來に鑑み鐵道部よりの供給賣炭は更に原價の貳割引を以てせられんことを當局に請願したる件石橋部長より詳細の報告あり

○工場地拂下に關する請願の件

工業は他の商業と異なり資金を固定せしめ全く土著的に従事する以上其の土地との關係は頗る密接にして現在當方面に於ける工業界の振興と土地制度とは大に考慮を要するものあり此際先づ工業地土地所有權の確立を見ん事喫緊の事に屬する旨刻下大連に於ける土地問題等引用し縷々請願せむため既に一切の順備成り近く之を民政當局に提出せむ手筈なりと石橋部長より詳述せり

之れにて例會を終り暫時休憩後太田保一郎氏の送別會に移れり

工業部主催太田氏送別會

豫定の如く五月廿七日午後七時(三浦屋に於て)開會出席者左の如し(順序不定)

東和公司支店	山東興業株式會社(二名)
大倉商事株式會社(二名)	青島製粉株式會社
大日本紡績株式會社	大日本麥酒株式會社
内外綿株式會社支店	岩城商會支店
青島絲廠	山東化學工業所
大連製氷株式會社	青島鹽業株式會社

東洋製油株式會社 山東葉煙草株式會社(二名)
日華窯業株式會社
定刻七時一同著席、石橋部長

甚だ僭越ながら一言御挨拶の辭に代へんとす由來會者定離の理に基き人間として始めて會ふ其刹那に於て既に別るゝの機至るは詮方なき次第なるが太田會頭が實業協會の當初よく克く指導せられ今日既に協會をして青年の域に達せしめられたるの功績決して之を没すべからざると共に我が工業部員が常に難問題を提げ會頭の煩を致さしめたるも能く之を採納處理せしめられたることは高恩永く銘すべきなり故に今に至り太田會頭に別るゝは恰かも嚴父慈母に別るゝに似たり此際別離の情として曰はんと欲するも能わず即ち曰はざるは曰ふに彌増さるの心事を諒とせられ希くは將來直接間接に指導督勵あらむことを

大略右の挨拶を終るや 太田氏

石橋部長より極めて御懇情ある御言葉に接し甚だ痛み入る次第なり實は協會今日あるは決して余の力に非ずして幾多經濟問題起るも能く歩調を一にし世の指彈を受けず今日に及びたるは全く會員各位努力協和の賜なりと深く信ず青島は始め商業地と目されたるも產物は僅かに落花生及落花生油を以て取引の主眼とせられ鐵道短く物資意の如く動かざるに反し氣候風土の順和工賃の低下などに因る工業界の振興は今日漸く工業地たるの觀を致さしめつゝあり部員各位は永く此地繁榮の爲め益御奮勵あらむことを望む
旨答へ主客何れも盃を上げて健康を祈り餘は和氣霽々と打寛ぎて献酬に時を費し午後十時散會せり

附屬運動部彙報

太田氏送別會

當運動部主催太田前會頭送別會は豫定の如く六月十三日午後七時大辰に於て開催出席者七十餘名席定るや飯塚前運動部長起て大要左の挨拶をなせり

太田氏は多年當地實業界の爲め甚大の努力を致され青島商工業今日の盛況を呈せるは全く君に負ふ所多し青島實業協會の如きも當初より多大の指導を仰ぎ今や有力なる實業團體として公認せらるゝの榮譽亦君の奮勵に俟つ所大なるは勿論なり殊に當運動部の爲には常に督勵鞭撻鮮かならざる貢獻あり加之其の近く當地を去らるゝに當り運動部員體育獎勵の一助として美事なる優勝旗を寄與せられたる如き永く當部の感銘せざるべからざる所なり而して君近く當地を去らむとす惜別之情甚だ切なり願くば今後も當部の爲め指導を吝まれざらむことを終に臨み盃を舉げて太田氏の健康と將來の福祥を祈らむとて乾盃之に對し太田前會頭肥滿せる體軀を徐に起し

只今飯塚氏より私に對する讃辭は敢て當らず甚だ痛み入る次第なり昔より「健全なる身體に健全なる精神宿る」と云ふ格言ある如く諸君が運動を怠らず身體の強健を圖らるゝは誠に結構なり今日も庭球試合に於て諸君が審判者の宣告に克く服し愉快に競技運動せらるゝの情況を拜見し心私に欣快とせり而して此の事たるや獨り競技其のものに於けるのみならず諸君が執務せらるゝ間に於ても行はれんことを希望せざるを得

す即ち運動に據りて得たる健全なる身體健全なる精神を以て上長主任の命に従ひ圓滿に愉快に執務せらるゝことは頓て諸君の發展國家の繁榮を來たす根本と信するものなり此の意味に於て大に運動せられんことを望む拙者老人の故を以て此の席上一言を致す所以なり茲に盃を上げて諸君の健康を祝さむとて乾盃次に飯塚前運動部長再び起て

不肖其任にあらざるに拘らず今回實業協會會頭の榮職に擧げられ甚だ赤面の至りなるが衆望默し難く就任せり就ては運動部長を兼ねぬるは多忙中其の任に堪へ難く如何かと思ひ之を辭退し新に適任者を擧ぐることを總會に圖り余の推薦指名説も滿場一致を以て容れられ茲に倉田敬三君を推薦したる所之亦滿場一致を以て賛同ありたり而して運動部と協會との連絡を更に一層密接ならしめ且つ運動の發展を期せむが爲新に理事制を設け理事の就任等も松本文三郎空閑知慈治大村隆行の三君滿場の同意を得て推薦を終れり此事たるや運動部の規則改定等にも關係あるを以て追て現在幹事諸君とも能く御協議を願ふことになり居れり此の機會に於て右御披露申し茲に新に任に就かれたる倉田運動部長を御紹介する次第なり

倉田運動部長は

過日協會總會に於て運動部長に御推薦を見たるも果して其の任に適せるや否や自ら疑なき能はず然れども飯塚前運動部長が協會の會頭に選舉されたる以上運動部長を兼任さるは事情怱び難き點もあり之を諒とし滿場の御推薦を否むに由なく其の任に就ける次第なりさりながら運動部長に新に推されたるにせよ別に大なる抱負あるにあらず部長と云ひ理事と云ふも鹿爪らしく之を解せず飽迄諸君と趣味を共にし運動體育の根

櫻俱樂部、病院等都合九團體五十組を數へ未曾有の盛會を極めたり當日入賞者左の如し

一等 神原、西(山鐵四方工場) 四等 村井、石黒(實業協業)

二等 大山、有吉(山鐵) 五等 上田、井手(同)

三等 龜井、楠田(櫻俱樂部)

△紅白試合入賞者

龜井、楠田組、野村、増田組、中田、石田組、飯田、惠藤組、野中、吉賀組、上田、井手組、大山、有吉組

△短艇競漕會參加 五月二十九日青島棧橋附近に於て舉行せられたる青島中學校主催短艇競漕會は青島に於ける最初の試みとして人心を熱狂せしめたるが當日當部よりも二組の選手を參加せしめ優秀の成績を收め得たり

法 規

布令第三十一號

電話規則左ノ通定ム

大正九年五月二十八日

青島守備軍司令官 由比 光衛

電 話 規 則

第一條 電話加入區域内ニ在ル者ハ本令ノ定ムル所ニ依リ電話交換ニ加入スルコトヲ得

第二條 電話加入區域ハ普通加入區域及特別加入區域ノ二種トス

普通加入區域トハ別ニ告示スル地域ヲ謂ヒ特別加入區域トハ普通加入區域ニ隣接スル地域ヲ謂フ

本に據らむとするものなり今は昔余も青年時代には運動競技多方面に亘り關係し多少の經驗を有せり當今と雖も諸君の運動せらるゝ分量丈けは充分自から運動しつゝあり故に今後共現在幹事諸君と力を協せ能く圓滿に當部の發展を圖らむと欲するものなり依て願くば幹事諸君に於かれても益々協力一致當部の發展に御盡力あらむことを希望するものなり

大要右の挨拶終るや拍手堂に滿ち宴益々酣なり時到れりとかかり舞臺の幕開かるゝや餘與二番一つは典雅なる舞技を以てし他は艷麗にして野趣ある鮎すくひの一幕何れも喝采を博せり斯て獻酬到る所に行はれ盃數全く忘らる頃西郷幹事大聲を發して庭内の模擬店準備整へり皆様案内とばかり報告あるや何れも酔歩を後庭に移して「シルコ」「ウドン」「ソバ」「スシ」「ビール」「關東煮」など種々なる店の繁昌は云はずもがな歡聲到る所に揚り太田氏に別るゝの好記念たる會合茲に全く終りを告げ散會したるは午後十時頃なりき

△協會庭球コート開 五月十六日旅順町協會庭球コート開きとして午前十時よりハード部ウキンナーカップ競技會を午後一時よりソフト部マツチを開催せらる出場選手約六十餘名頗る盛會を極めたるが當日の優勝者左の如し

△ハード部 優勝 惠藤(湯淺) 二等 米永(鈴木) 三等 太田(三井) 國弘(三井)

△ソフト部 優勝 藤谷(正金) 松本(三井) 惠藤(湯淺) 上田(滿鐵) 飯田(大正醫院) 田原(中村組)

△全青島庭球試合 今回協會テニスコートの完備を機とし青島に於ける各庭球團體を招待し五月十六日旅順町協會コートに於て全青島庭球試合を開催參加者山鐵、民政部、遞信部、中學校

第三條 電話加入ヲ爲サムトスル者ハ一加入毎ニ加入申込書

第一號ヲ當該電話官署ニ差出スヘシ

特別加入區域内ニ於テ電話加入ヲ爲サムトスルモノハ前項ニ準シ加入申込書ヲ其ノ加入ヲ爲サムトスル電話官署ニ差出スヘシ

第四條 電話官署ニ於テ電話加入ノ申込ヲ受理シタルトキハ之ヲ原簿ニ登記ス

第五條 電話ヲ開通シタルトキハ當該電話官署ニ於テ一加入毎ニ一箇ノ電話番號ヲ定ム

第六條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ電話番號ヲ變更スルコトアルヘシ

一 所屬電話官署ヲ異ニスルニ至リタルトキ

二 電話交換取扱上ノ必要アルトキ

第七條 加入申込者又ハ加入者電話番號簿中左記各號ノ掲載ヲ爲サムトスルトキハ其ノ請求書ヲ所屬電話官署ニ差出スヘシ

之ヲ取消シ又ハ廢止セムトスルトキ亦同シ

一 索引ヲ便ナラシムル爲自己ノ氏名、稱號等ヲ二箇所以上ニ掲載セムトスルトキ

二 自己ノ名義ニ代フルニ電話機設置場所居住者ノ名義ヲ掲載セムトスルトキ

第八條 加入申込者又ハ加入者ニ於テ他人ノ所有ニ係ル家屋ニ電話機ヲ設置セムトスルトキハ其ノ家屋所有者ニ於テ異議ナキ場合ニ限り之ヲ請求ヲ爲スコトヲ得

第九條 加入者其ノ加入電話機及附屬物品ノ一時撤去ヲ爲サムトスルトキ又ハ加入申込者若ハ加入者其ノ電話機及附屬物品ノ設置場所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該電話官

署ニ差出スヘシ但シ新設置場所カ他人ノ邸宅又ハ構内ナルト

キハ左記各號ノ事項ヲ該請求書ニ附記スヘシ

一 加入申込者又ハ加入者ト新設置場所居住者トノ關係

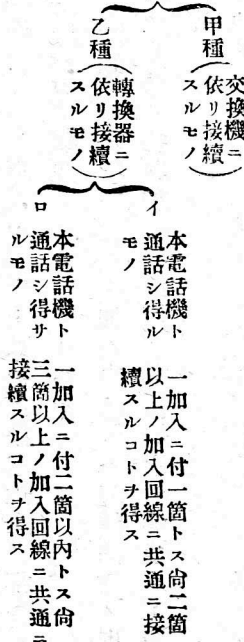
二 設置場所ノ變更ヲ必要トスル理由
電話機設置場所ノ變更ハ工事上ノ都合ニ依リ其ノ請求ニ應セサルコトアルヘシ

第十條 加入申込者卓上電話機ノ設置ヲ請求セムトスルトキ又ハ加入申込者若ハ加入者電話機ノ種類ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該電話官署ニ差出スヘシ

第十一條 加入者ハ増設機械ノ使用ヲ爲スコトヲ得機械増設ノ種別及裝置箇數ノ制限等左ノ如シ

一 電鈴 一加入ニ付一箇トス

二 電話機



第十二條 甲種増設電話機ノ設備及維持ハ加入申込者又ハ加入者ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十三條 甲種増設電話機ノ交換取扱ハ電話官署ノ指示スル所ニ依リ加入者ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十四條 加入申込者又ハ加入者電話機ノ甲種増設ヲ爲サムトスルトキハ其ノ申請書第二號ヲ當該電話官署ヲ經テ遞信部長ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

加入申込者又ハ加入者乙種増設電話機ノ使用ヲ爲サムトスル

トキハ其ノ請求書^{第三號}式ヲ當該電話官署ニ差出スヘシ

第十五條 乙種増設機械ノ裝置ヲ變更セムトスルトキ又ハ第二號書式第一號乃至第三號又ハ第六號乃至第八號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ前條ノ規定ニ準シ其ノ請求書又ハ申請書ヲ差出スヘシ

加入申込者又ハ加入者機械増設ノ請求若ハ申請ヲ取消シ又ハ増設機械ノ使用ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該電話官署ニ差出スヘシ

第十六條 第十二條ニ依リ加入申込者又ハ加入者ニ於テ甲種増設電話機ノ設備ヲ爲ス場合其ノ工事完了シタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信部長ニ届出ツヘシ第十五條第一項ニ依リ甲種増設電話機ノ設備ヲ變更シタル場合亦同シ

第十七條 増設機械ハ左ノ範圍ヲ超テ裝置スルコトヲ得ス。
一 電鈴及本電話機ト通話シ
得サル乙種増設電話機
本電話機設置場所同一戸内
本電話機設置場所不同

二 前號以外ノ増設電話機
本電話機設置場所不同
一ノ邸宅若ハ構内

第十八條 甲種増設電話機ノ設備及維持ニ從事スル者又ハ其ノ交換取扱ニ從事スル者ニシテ遞信部長ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第十九條 加入申込者其ノ申込ヲ取消サムトスルトキハ請求書ヲ當該電話官署ニ差出スヘシ

第二十條 加入申込者ノ名義ハ第二十一條ノ場合ヲ除クノ外之ヲ他人ノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

加入者其ノ加入名義ヲ變更セムトスルトキハ當事者ノ連署シタル請求書ヲ當該電話官署ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第二十一條 加入申込者又ハ加入者死亡ノ場合ニ於テ其ノ加入

申込又ハ加入ヲ繼承セムトスル者ハ其ノ相續人タルノ證明書ヲ添ヘ請求書ヲ當該電話官署ニ差出スヘシ

第二十二條 電話開通工事著手ノ際加入申込者ノ所在不明ナルトキ及加入申込者又ハ加入者死亡ノ場合ニ於テ管理人又ハ相續人ヨリ何等申出ナキトキハ其ノ加入申込又ハ加入ヲ取消スコトアルヘシ

第二十三條 加入區域變更ノ爲電話機設置場所他ノ普通加入區域内トナリタルトキハ其ノ所屬電話官署ヲ變更ス

特別加入區域ニ屬スル加入ハ工事上又ハ交換取扱上ノ都合ニ依リ所屬電話官署ヲ變更スルコトアルヘシ

第三十四條 特別加入區域ニ屬スル加入申込者ハ遞信部長ノ指示スル所ニ依リ其ノ特別加入區域内ノ電話線架設ニ要スル費用ヲ納ムヘシ

第二十五條 特別加入區域ニ屬スル加入者ハ電話線維持料ヲ納ムヘシ

第二十六條 加入申込者ハ加入登記料ヲ納ムヘシ

第二十七條 加入者ハ電話使用料ヲ納ムヘシ

卓上電話機又ハ増設機械ヲ使用スル者ハ附加使用料ヲ納ムヘシ

第二十八條 加入申込者又ハ加入者第七條ノ請求ヲ爲ストキハ電話番號簿掲載料ヲ納ムヘシ

前項ノ料金ハ一會計年度毎ニ之ヲ課ス但シ年度ノ中途ニ於テ掲載ヲ爲シ又ハ掲載ヲ取消シタル場合ト雖年額ヲ徵收ス

會計年度ノ末日ヨリ十五日以前ニ第七條ニ依リ廢止ノ請求書ヲ差出ササルトキハ次ノ年度ニ對スル料金ヲ課ス

第二十九條 加入者其ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ第二十一

條ノ場合ヲ除クノ外名義書換料ヲ納ムヘシ

第三十條 加入者第九條ノ請求ヲ爲ストキハ機械移轉料ヲ納ム

ヘシ

普通加入區域ヨリ特別加入區域内ニ電話機設置場所ヲ變更セムトスルトキ又ハ特別加入區域内ニ於テ電話機設置場所ヲ變更セムトスルトキハ機械移轉料ノ外第二十四條ニ準シ電話線架設ニ要スル費用ヲ納ムヘシ但シ特別加入區域内ノ電話機設置場所ノ變更ニシテ單ニ其ノ電話線路ヲ短縮スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 電話ニ關スル料金左ノ如シ

一 加入登記料 金二十五圓

二 電話使用料年額 金百圓

三 名義書換料 金五圓

四 電話番號簿重覆掲載一箇所毎ニ 金二圓
掲載料年額他人名義掲載 金十圓

五 附加使用料年額 金十六圓

イ 卓上電話機 一箇毎ニ 金十六圓

ロ 増設機械 一箇毎ニ 金三圓

電 鈴 金八圓

甲種増設電話機 金八圓

普通 金十六圓

乙種増設電話機 本電話機ト通話シ得ルモ金四圓ヲ附加ス

卓上 金三十二圓

二箇ノ加入回線ヲ共通ニ接續スルモノニ對シテハ尙金六圓ヲ附加ス

六 機械移轉料

イ 同一ノ邸宅若ハ構内ニ於ケル移轉又ハ機械一時撤去

電話機 一箇毎ニ 金四圓

増設電鈴 一箇毎ニ 金二圓

附屬物品電話機又ハ電鈴ノ移轉若ハ一時撤去ニ伴フ場合ヲ除ク 一箇毎ニ 金一圓

ロ 他ノ邸宅又ハ構内ヘノ移轉 金二十圓

増設機械アルトキハ同一ノ邸宅又ハ構内ニ於ケル移轉ノ料金ヲ附加ス

七 電話線維持料年額 町程一町迄毎ニ 金三圓

本號ノ町程ハ電話線ノ亘長ニ依ル

第三十二條 電話使用料 附加使用料及電話線維持料ハ年額ヲ

四分シ左ニ掲クル四期ノ別ニ從ヒ每一期分ヲ其ノ期ノ前月二

十日ヨリ其ノ末日迄ニ之ヲ納ムヘシ

第一期 四月一日ヨリ六月三十日迄

第二期 七月一日ヨリ九月三十日迄

第三期 十月一日ヨリ十二月三十一日迄

第四期 一月一日ヨリ三月三十一日迄

第三十三條 電話開通カ前條各期ノ中途ナルトキハ其ノ期ノ電

話使用料、附加使用料及電話線維持料ハ年額ノ日割ヲ以テ開

通ノ日ヨリ十五日以内ニ之ヲ納ムヘシ加入後新ニ附加使用料

又ハ電話線維持料ヲ納ムヘキ場合ヲ生シタルトキ亦之ニ準ス

第三十四條 第三十二條各期ノ中途ニ於テ電話使用料、附加使

用料又ハ電話線維持料ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ期ニ屬ス

ル分ハ日割ヲ以テ過不足ヲ算出シ超過額ハ請求ニ依リ之ヲ還

付シ不足額ハ異動ノ日ヨリ十五日以内ニ之ヲ徵收ス但シ第十

條又ハ第十五條ニ因リ附加使用料カ減少スル場合ハ之ヲ還付

セス

第三十五條 電話番號簿掲載料ハ翌年度分ヲ毎年三月二十日ヨリ同月三十一日迄ニ之ヲ納ムヘシ但シ掲載初年度ノ納付期日ハ當該電話官署ノ指定スル所ニ依ル

第三十六條 加入登記料ハ加入申込ヲ爲ストキ又名義書換料及機械移轉料ハ其ノ請求ヲ爲ストキ之ヲ納ムヘシ

第三十七條 電話ニ關スル料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外通貨ヲ以テ納ムヘシ但シ加入登記料、名義書換料及機械移轉料ハ郵便切手ヲ以テ納ムヘシ

第三十八條 加入申込者法人ニシテ解散ノ爲加入申込ヲ取消シタルトキハ加入登記料ハ其ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第三十九條 電話官署ノ過失ニ因リ徵收シタル過納及誤納ノ料金ハ其ノ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第四十條 第九條ニ依ル請求ヲ其ノ工事著手前ニ於テ取消シタル場合ノ機械移轉料ハ加入者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第四十一條 第四十八條又ハ第四十九條ニ依ル通話停止期間中ノ電話使用料、附加使用料及電話線維持料ハ之ヲ免除セス

第四十二條 料金還付ノ請求ハ當該電話官署ニ之ヲ爲スヘシ其ノ請求期間左ノ如シ

- 一 第三十八條ニ依ル場合ハ加入申込取消ノ日ヨリ六十日間
- 二 第三十四條又ハ第三十九條ニ依ル場合ハ料金納付ノ日ヨリ五月間

三 第四十條ニ依ル場合ハ料金納付ノ日ヨリ六十日間

第四十三條 電話ニ關スル料金ノ還付ハ通貨ヲ以テ納メタルモノハ通貨、郵便切手ヲ以テ納メタルモノハ郵便切手ヲ以テス

第四十四條 電話官署ハ電話機設置ノ邸宅又ハ構内ニ在ル電話線、電話機及附屬物品ヲ點檢セシムル爲隨時吏員ヲ派遣スル

コトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯セシム

第四十五條 加入者ノ故意又ハ過失ニ因リ其ノ使用ニ供スル電話線、電話機及附屬物品ヲ亡失毀損シタルトキ又ハ第四十七條ニ違反スル所爲ニ因リ復舊工事ヲ要スルニ至ラシメタルトキハ加入者ニ於テ其ノ補充又ハ修繕ニ要スル費用ヲ辨償スヘシ

第四十六條 加入者ハ報酬ヲ受ケ其ノ使用ニ供スル電話機ヲ他人ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第四十七條 加入者ハ其ノ使用ニ供スル電話線、電話機及附屬物品ヲ濫リニ取外シ又ハ裝置方法ヲ變更シ若ハ之ヲ分解スルコトヲ得ス但シ水火其ノ他ノ事變ニ際シ保護ノ目的ニ出テタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

加入者ハ其ノ使用ニ供スル電話線、電話機及附屬物品ニ對シ濫リニ他ノ線條機械等ヲ連結スルコトヲ得ス

第四十八條 加入者電話使用料、附加使用料、電話線維持料、電話番號簿掲載料又ハ通話ニ關スル料金ヲ規定ノ期日迄ニ納付セサルトキ又ハ第四十五條ノ補修費ヲ辨償セサルトキハ其ノ滯納ノ期間通話ヲ停止スヘシ

第四十九條 前條ニ依ル通話停止期間三十日以上ニ及ヒタルトキ又ハ其ノ停止度數一年三回以上ニ及ヒタルトキハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

加入者故ナク第四十四條ノ點檢ヲ拒ミタルトキ又ハ第四十六條若ハ第四十七條ニ違反シタルトキハ六月以内通話ヲ停止シ又ハ加入ヨリ除名スヘシ

第五十條 前條ニ依リ加入ヨリ除名セラレタル者ハ其除名ノ

日ヨリ一年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ同一ノ加入區域内ニ於テ加入申込又ハ加入ヲ爲スコトヲ得ス

附 則

第五十一條 本令ハ大正九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條 公衆電話交換規則及大正九年一月布令第十一號ハ之ヲ廢止ス

第五十三條 公衆電話交換規則ニ依ル増設電鈴ノ使用料ハ大正十年三月三十一日迄仍同規則ニ定メタル額ニ依ル

第一號書式

加入申込書

私儀電話規則ニ遵ヒ何地電話交換ニ加入致度左ニ電話機設置場所ヲ指定シ此段申込候也

住所

稱號

職業

大正 年

月 日

何某印

何局御中

一 電話機設置場所

第二號書式

甲種電話機増設申請書

電話規則第十四條ニ依リ左記ノ通電話機増設致度候ニ付御許可相成度此段申請候也

住所

職業

何年何月何日

何某印

青島守備軍民政部遞信部長殿

記

一 加入申込月日又ハ電話番號

二 電話機及附屬物品設置場所

三 電話機及附屬物品ノ種別並箇數

四 増設電話機交換取扱見込數(一日中ノ最繁時通話見込數)

五 加入回線通話見込數(一日中ノ最繁時通話見込數)

六 交換取扱者(電話交換ニ關スル智識及技能ヲ疏明シ得ヘキ履歷書添附ヲ要ス)

七 工事設計(電話機、交換機、線條、其ノ他附屬物品ノ種類箇數裝置方法等)

八 工事擔當者(該工事ニ必要ナル智識及技能ヲ疏明シ得ヘキ履歷書添附ヲ要ス)

備考 第二號及第七號ニ關シテハ別ニ圖面添附ヲ要ス

第三號書式

乙種電話機増設請求書

左記ノ通電話機増設相成度此段請求候也

住所

職業

何年何月何日

何某印

何局御中

記

一 加入申込月日又ハ電話番號

二 電話機及附屬物品設置場所

三 電話機及附屬物品ノ種別並箇數

布令第三十三號

大正四年五月軍軍令第四十三號電話通話規則中左ノ通改正ス

大正九年五月二十九日

第一條中「同一電話加入區域内ニ於ケル」ヲ削ル

第十六條第一號中「翌月二十日迄ニ納付スヘシ」ヲ「翌月二十日迄ニ通貨ヲ以テ納付スヘシ」ニ、同第二號中「請求ノ際」ノ下ニ「郵便切手ヲ以テ」ヲ加フ

第十八條中「請求ニ依リ」ノ下ニ「郵便切手ヲ以テ納付シタルモノハ郵便切手、通貨ヲ以テ納付シタルモノハ通貨ヲ以テ」ヲ加フ

附則

本令ハ大正九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

倫敦銀塊相場

大正九年
五月

十一日	六十四片二分一	十一日	六十一片二分一	二十一日	五十八片四分一
二日	日曜	十二日	六十片	二十二日	五十八片二分一
三日	六十三片四分三	十三日	五十九片四分三	二十三日	日曜
四日	六十五片二分一	十四日	五十八片四分三	二十四日	五十九片四分一
五日	六十四片八分三	十五日	五十八片八分一	二十五日	同
六日	六十三片二分一	十六日	日曜	二十六日	五十九片二分一
七日	六十二片四分一	十七日	五十八片	二十七日	五十九片八分七
八日	六十片	十八日	五十八片二分一	二十八日	五十九片八分三
九日	日曜	十九日	五十八片八分三	二十九日	同
十日	六十一片八分五	二十日	五十八片四分一	三十日	日曜
				三十一日	五十七片四分三

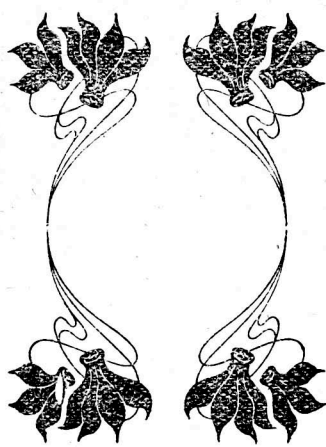
寄贈書類目錄

（大正九年四、五、月）
（到着）

○月	○月	○月
報	報	報
至	至	至
第	第	第
九	三	一
五	三	五
三	二	四
號	號	號
下	大	名
ノ	日	古
關	本	屋
商	紡	商
業	績	業
會	聯	會
議	合	議
所	會	所

[illegible]

○商工案內第七版
 名古屋西區傳馬町七丁目
 中井名古屋店
 報大正九年三月埠頭事務所



○商報	第第四號	青島商報社
○會報	第五六號	遼陽實業協會
○時報	第二七號	大阪商工時報社
○大陸	第八卷第四號 第五號	大陸社
○日報	自第一一八三號 至第一九七六號	青島實業日報社
○銀行時報	自第一九七六號 至第一九五五號	保險銀行時報社
○貿易通報	第一一五五號	大阪商業會議所
○經濟時報	第五號	山東經濟時報社
○通商彙報	第三九號	大阪府立商品陳列館
○商工彙報	第一四五號	岡山商工彙報堂
○內外商工時報	第七卷第五號	農商務省商品陳列館
○黑龍江省	第五卷	南滿州鐵道總務部調查係
○貿易統計	大正八年	上海商業會議所
○氣象略表	大正九年四月	青島測候所
○經濟資料	第四號 第五號	南滿州鐵道株式會社
○大亞義會	大正九年四月	奉天大亞義會本部
○滿蒙實業彙報	第五八號 第五九號	大連商業會議所
○經濟報	自第一一〇六號 至第一二一〇號	濟南經濟報社
○統計概要	大正九年三月	調查靜岡商業會議所
○滿蒙經濟事情	第二四號	關東廳民政部
○朝鮮經濟雜誌	第五一號 第五二號	京城商業會議所
○工藝品概況	第三輯調查	府立東京商工獎勵館
○日華公論	四月號	日華公論社

青島港出入船舶細別表

(大正九年四月中)

(空船ヲ除ク)

△入港之部

入港月日	國籍	船名	登簿噸數	揚荷噸數	揚荷主	要貨物名	仕出地
三月廿八日	米國	シチーオブアラ	四、三五一	六、四一五・〇	石油、洋雜貨		桑港
同 廿九日	英國	メタ號	一、二一六	一、六八九・一	砂糖、卷煙草、藥品、染塗料、鐵		廣東
同 卅一日	日本	龍平丸	四二七	一一六・〇	機寸、鐵		大連
四月一日	同	薩摩丸	一、一二二	六七二・六	海產物、食料品、洋雜貨、金屬製品、蔴類		大阪
同 二日	同	第六原田丸	二〇五	二二三・六	食料品、木材、箱材		同
同 三日	同	海州丸	七五	二・二	食料品		海州
同 四日	同	支海丸	八七四	五四・二	砂糖、海產物、綿布		大連
同 五日	同	神戶丸	一、三四五	五・六	醬油		同
同 六日	米國	ローレン號	二、五一〇	七・〇	車輛		マニラ
同 七日	日本	神戶丸	一、五三六	一〇六・三	海產物、清涼飲料、家具		上海
同 八日	支那	增利號	五五四	二五一・三	食料品、染塗料、麻袋、鐵		香港
同 九日	日本	佐川丸	六七一	八一・一	洋雜貨、機械		神戶
同 十日	英國	鎮安丸	一、六一〇	七・二	家具		福州
同 十一日	支那	得利號	一、三五四	九七六・五	麥粉、茶、砂糖、卷煙草、藥品、綿絲、鐵、支那紙		上海
同 十二日	日本	扶桑丸	三二九	四六・六	高粱、日本紙		大連
同 十三日	同	遠洲丸	五八〇	三二七・三	茶、車輛、竹材		上海
同 十四日	同	西京丸	五〇八	七二九・六	硝子及同製品、木炭、蔴類		門司
同 十五日	同	龍平丸	一、五一一	八六七・三	日本酒、食料品、染塗料、綿絲布、電氣用品、洋雜貨		大連
同 十六日	同	第二十一共同丸	四二七	一六一・〇	棉花、石炭、鐵		大連
同 十七日	同	海州丸	七〇五	七二・六	茶、洋酒、燐寸		同
同 十八日	同	第六萬盛丸	七七五	三四・六	穀類及種子		石臼所
同 十九日	同	支海丸	七八四	五・九	染塗料		仁川
同 二十日	英國	ノーウキツク號	四、一一七	二、二四・〇	水砂糖、綿布、洋紙 石油、車輛		大連 紐育

[illegible]

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	仕向地
同十九日	日本	海州丸	七五	三四・三	食料品、皮革、油類	海州
同二十日	日本	支海丸	七八四	一二三・四	清涼飲料、卷煙草、綿布、木材	大連
同	英國	昌隆號	一二五六	一・七	卷煙草	芝罘
同	日本	第二十一共同丸	七〇五	三五・一	卷煙草、綿布	仁川
同	英國	福海丸	四五五	五二四・三	油類、鐵、木材、木炭、蕚類	門司
同	英國	エムエスダラ號	六、九一九	五三・五	木材	仁川
同二十二日	日本	西京丸	一、五一一	七四一・九	果實、食料品、染塗料、綿布、洋雜貨、金屬製品、家具	大阪
同	同	扶桑丸	五八〇	二三〇・七	麻、機械、竹材	大阪
同	同	第二御崎丸	五四三	八六八・九	藥品、燐寸、同材料、金屬製品、木材	大阪
同二十三日	支那	得利號	三二九	七九・三	冰糖、洋紙	大連
同	日本	龍裕丸	一、三五八	一二〇・三・六	卷煙草、染塗料、綿絲、セメント、木材、硝子製品、蕚類	神戶
同二十四日	同	龍平丸	一、三四五	一九・三	清涼飲料、食料品、藥品、硝子製品	大連
同	同	神戶丸	四二七	一三六・六	卷煙草、棉花、鐵	同
同二十五日	同	三星丸	一、五三六	八五・二	洋酒、卷煙草、藥品、洋雜貨、車輛、家具	上海
同	同	寶山丸	五七六	一四七・三	竹材、木材、木炭、蕚類、箱材	門司
同	同	海州丸	八三六	七一・二	麥粉、染塗料、支那紙、竹材	上海
同二十六日	同	玄海丸	七五	三八・五	食料品、豆粕	大連
同	同	臺北丸	八七四	六二・九	砂糖、車輛	大連
同二十七日	同	益進丸	一、五二二	六七九・一	日本酒、食料品、藥品、染塗料、綿絲布、洋雜貨、金屬製品、竹材	大阪
同二十八日	同	扶桑丸	五五八	三六九・四	洋酒、食料品、綿布金屬製品、竹材	上海
同二十九日	同	第廿一共同丸	五八〇	〇・四	洋酒	同
同	同	江原丸	七〇五	三・三	家具	仁川
同三十日	同	龍平丸	四二六	一一・二	日本酒、味噌、醬油	同
同	同	海州丸	四二七	三一・四	豆類、清涼飲料、綿絲、日本酒	太連
同	同	海州丸	七五	二二・〇	高粱、豆粕	海州

四月一日	同	日本	益進丸	五五八	八三五・四	葉煙草、石炭	上海
二月一日	同	同	扇洋丸	六九三	一、六〇〇・〇	鹽	下松
三月一日	同	同	第廿一同丸	七〇五	四二三・三	生質、麥酒、葉煙草、棉花	大連
四月一日	同	同	蚊龍丸	四一〇	五二・五	牛肉、豆粕	門司
三月一日	同	同	柳丸	一、三四五	一六五・四	葉煙草、綿絲	上海
四月一日	同	同	壽丸	八八三	一、六五〇・〇	鹽	橫濱
三月一日	同	同	辨天丸	二、六一二	三、六五〇・〇	石炭	德山
四月一日	同	同	薩摩丸	一、一二二	一、一二五・七	生質、生油、牛肉、卵、桐材、麥稈真田	門司
三月一日	同	米國	ワレン號	二、五一〇	一六二・九	牛肉	マニラ
四月一日	同	日本	神戶丸	一、三五六	一八・四	麥酒	大連
三月一日	同	支那	增利號	五五四	八・九	鐵	香港
四月一日	同	日本	湖北丸	一、六一〇	一六五・二	麥酒、綿絲	天津
三月一日	同	英國	鎮安號	一、三五四	一、一三一・八	獸皮、生油、染塗料、石炭	上海
四月一日	同	日本	雲海丸	一、二六〇	二、九〇〇・〇	鐵礦	八幡
三月一日	同	同	第廿一同丸	七〇五	三二九・八	生油、生質、果實	大連
四月一日	同	同	第六原田丸	二〇五	二五八・六	牛肉、牛脂、桐材、麥稈真田	大連
三月一日	同	同	遠州丸	五〇八	三八八・八	獸骨	鹿兒島
四月一日	同	同	神福丸	一、二九八	三、三〇〇・〇	鐵礦	八幡
三月一日	同	同	龍平丸	四二七	九七・〇	麥酒、果實、桐材	大連
四月一日	同	同	西京丸	一、五一一	一、一八〇・七	生質、小麥、鷄卵、牛皮、羊毛、生油、桐材、麥稈真田、豆粕	大連
三月一日	同	同	第五萬盛丸	八五七	一、五五〇・〇	溜川炭	門司
四月一日	同	同	玄海丸	七八四	一・八	牛肉	大連
三月一日	同	同	江原丸	四二六	一七六・四	食料品、葉煙草	仁川
四月一日	同	同	柳東丸	一、三四五	二八七・一	葉煙草、綿絲、絹屑糸、家具	上海
三月一日	同	同	關東丸	八七九	二、二〇〇・〇	鐵礦	八幡
四月一日	同	同	益進丸	五五八	一、〇五四・二	葉煙草、生油、溜川炭	上海
三月一日	同	同	神戶丸	一、五三六	五八・〇	牛肉、麥酒、綿絲	大連
四月一日	同	支那	Telloc	一、〇七一	一、〇〇二・八	葉煙草、生油	上海
三月一日	同	日本	第六萬盛丸	七七〇	八四三・四	鹽、葉煙草、木材	釜山
四月一日	同	同	第廿一同丸	七〇五	一〇六・七	生油	大連
三月一日	同	同	アイム丸	四、八二三	一二七・五	生油	桑港

[illegible]

[illegible]

品目		建物		單位		本月ノ價格		前月ノ價格		比較増減					
麻	袋	新	新	大小	一	枚	銀	350	銀	370	△	20			
							"	310	"	350	△	40			
							"	320	"	280	○	40			
石	炭	撫	順	塊	炭	一	噸	"	17,000	"	—	×	—		
								"	10,000	"	14,000	△	4,000		
								"	10,000	"	13,500	△	3,500		
鹽	溜	原	川	塊	炭	福	"	4,900	"	5,800	△	900			
							一	大	箱	"	39,000	"	38,000	○	1,000
										"	39,000	"	38,000	○	1,000
燐	寸	雙	三	星	"	"	"	40,000	"	—		—			

品名		建 物	單 位	本月ノ價格		前月ノ價格		比 較 増 減	
石	材	普通花崗石平均才	一 才	銀	490	銀	450	○	40
		通才下ノ花崗石平均才	"	"	550	"	500	○	50
		三才下ノ花崗石平均才	"	"	710	"	650	○	60
		迄才下ノ花崗石平均才	"	"	820	"	750	○	70
		三才下ノ花崗石平均才	千 箇	"	9,400	"	8,500	○	900
煉 瓦	類	日本型機械赤	"	"	8,800	"	8,000	○	800
		鱗瓦屋根瓦	"	"	38,500	"	35,000	○	3,500
		中葺屋根瓦	"	"	71,500	"	65,000	○	6,500
		黑煉瓦	"	"	8,300	"	7,500	○	700
		手押煉瓦（支那型）	"	"	8,200	"	7,500	○	700
木	材	鴨綠紅白松 一連	一 立 方 米	"	25,000	"	21,000	○	4,000
		同 二連	"	"	28,000	"	24,000	○	4,000
		同 三連	"	"	{ 29,000 31,000	"	{ 25,000 28,000	○	{ 4,000 3,000
		同 四連	"	"	32,000	"	26,000	○	6,000
		鴨綠江赤松 一連	"	"	44,000	"	38,000	○	6,000
		同 二連	"	"	32,000	"	39,000	△	7,000
		同 三連	"	"	34,000	"	46,000	△	12,000
(蔬菜及果實類)									
馬 齡 薯		百 斤	金	8,000	金	11,200	△	3,200	
薩 摩 芋		"	"	9,600	"	6,400	○	3,200	
牛 芡		"	"	12,000	"	19,200	△	7,200	
人 蓼		"	"	8,000	"	8,000	×		
大 根		"	"	7,500	"	8,800	△	1,300	
白 菜		"	"	6,400	"	8,000	△	1,600	
葱		"	"	5,500	"	6,400	△	900	
林 檳		百 目	"	300	"	280	○	20	
梨		"	"	280	"	250	○	30	
蜜 柑		"	"	300	"	350	△	50	
乾 柿		"	"	220	"	200	○	20	
(雜 貨)									
雙 虎 十 六 手		一 俵	銀兩	163,000	銀兩	170,000	△	7,000	
紅團龍 同		"	"	160,000	"	170,000	△	10,000	
丹 鳳 同		"	"	163,000	"	192,000	△	29,000	
銀 月		"	"	169,000	"	190,000	△	21,000	
紅 月		"	"	168,000	"	189,000	△	21,000	
水 月 二 十 手		"	"	187,000	"	207,000	△	20,000	

品 名		建 物	單 位	本月ノ價格		前月ノ價格		比 較 增 減	
(支 那 品)									
上 海 高 大 小 大 落 花	米	一 二 三 等 等 等 品	百 五 十 斤 入	銀	12,000	銀	12,000	×	
		二 三 等 等 等 品	"	"	9,000	"	9,400	△	400
		三 等 等 等 品	"	"	8,500	"	8,800	△	300
		滿 洲 一 等 品	百 斤	"	3,550	"	3,500	○	50
		滿 洲 二 等 品	"	"	3,400	"	3,400	×	
	麥	同 三 等 品	"	"	3,100	"	3,200	△	100
			"	"	3,000	"	3,600	△	600
			"	"	4,500	"	4,800	△	300
			"	"	3,400	"	4,500	△	200
		無 殼 品	"	"	8,500	"	8,900	○	500
麥	粉	兵 船 一 等 品	一 袋	="	2,600	"	3,200	△	600
		同 同 二 等 品	"	"	2,500	"	2,650	△	150
		同 同 三 等 品	"	"	2,100	"	2,550	△	450
		一 二 鹿 鹿	"	"	2,850	"	3,200	△	350
		三 鹿	"	"	2,750	"	2,650	△	100
	花生油		百 斤	銀兩	25,200	銀兩	24,000	○	1,200
			"	"	18,000	銀	15,000	○	3,000
			"	"	14,500	"	14,000	○	500
			"	銀	3,400	"	3,800	△	400
			一 磅	金	300	金	300	×	
牛 豚 鷄 鷄 牛 牛 牛 建築材料 石 胡	肉	上 中 下	百 目	"	500	"	500	×	
			"	"	400	"	400	×	
			"	銅元	300	銅元	350	○	50
			"	金	500	金	500	×	
			"	"	1,200	"	1,200	×	
	卵		千 個	金	25,000	"	35,000	△	10,000
			百 斤	銀兩	26,000	銀兩	32,000	△	6,000
			"	"	25,000	"	27,000	△	2,000
			"	"	32,000	"	34,000	△	2,000
			"	銀	3,200	銀	3,600	△	400
牛 牛 牛 建築材料 石 胡	油		"	"	17,500	銀	17,500	×	
			百 斤	"		銀			
			十 貫	銀	750	銀	750	×	
			一 才	金	3,000	金	3,000	×	

品名		建物	單位	本月ノ價格		前月ノ價格		比較増減	
木	材	同 正 六 分 板	一 坪	金	4,300	銀	2,500		
		同 正 一 寸 板	"	"	6,360	"	3,700		
		同 一 寸 五 分 角	一 本	"	480	"	280		
		同 二 寸 角	"	"	820	"	480		
		同 二 寸 ノ 三 寸	"	"	1,330	"	720		
		同 三 寸 角	"	"	1,850	"	1,030	木材ハ本月ヨリ	
		同 四 寸 角	"	"	3,260	"	1,900	金價格=改正シ	
		中 横 三 寸 四 分 ノ 五 分	一 枚	"	350	"	220	タルモ前月ト大	
		大 横 三 寸 七 分 ノ 七 分	"	"	560	"	330	差ナシ	
		木 摺	一 坪	"	1,890	"	1,100		
		鹽 地 柚 角	一 才	"	200	銀兩	120		
		栓 柚 角	"	"	200	"	120		
		檜 柚 角	"	"	240	"	130		
		清 津 紅 松 柚 角	"	"	240	"	140		
		北 海 松 角	"	"	150	"	90		
(雜貨)	綿 絲	菊 花 四 十 二 手 燃 絲	一 俵	銀兩	300,000	"	365,000	△	65,000
		美 人 三 十 二 手	"	"	280,000	"	350,000	△	70,000
		扇 面 十 六 手	"	"	170,000	"	199,000	△	29,000
		福 助 龍	"	"	200,000	"	203,000	△	8,000
		九	一 疋	"	6,400	"	6,700	△	300
	綿 布	龍 鼓 天 C	"	"	6,300	銀	6,600	△	300
		太 鼓 天 竺	"	"	3,400	"	3,530	△	130
		菊 天 竺	"	銀	3,100	"	3,100	×	
	石 油	青 金 勝	一 箱	"	5,100	"	5,100	×	
		赤 金 勝	"	"	5,000	"	5,000	×	
		美 孚 孚	"	"	5,750	"	5,750	×	
		美 虎 虎	"	"	5,700	"	5,700	×	
		亞 細 亞 僧 帽	"	"	5,400	金	5,400	×	
		幸 福 印	"	"	4,450	"	5,450	×	
		星 印	"	金	5,400	"	5,400	×	
	木 炭	人 吉 小 (丸 上 角 淺	六 貫 俵	"	4,200	"	4,000	○	200
		同 角	"	"	3,900	"	3,800	○	100
		同	"	"	3,700	"	3,500	○	200
		同 丸 淺	"	"	3,500	銀	3,200	○	300
		同	"	"	3,200	"	3,000	○	200

名	品	建	物	單	位	本月ノ價格	前月ノ價格	比	較	增	減
錫	{	劍	先	百	目	金 2,000	金 2,000	×			
鯉		二	番	"		" 1,000	" 1,300	△		300	
		上		"		" 1,900	" 1,800	○		100	
		中		"		" 1,700	" 1,600	○		100	
		下		"		" 1,500	" 1,400	○		100	
	節	龜	印	"		" 1,700	" 1,600	○		100	
罐	{	松	茸	一	罐	" 1,100	" 1,100	×			
		筍		"		" 680	" 750	△		70	
		鯉		"		" 500	" 500	×			
		赤	貝	"		" 450	" 450	×			
		サ	ザ	エ	"	" 500	" 450	○		50	
大小隱	元	豆	豆	一	升	" 450	" 450	×			
挽	{			"		" 600	" 650	△		50	
		角	割	"		" 450	" 600	△		150	
		花	割	"		" 500	" 500	×			
				"		" 450	" 450	×			
				"		" 400	" 450	○		50	
櫻	麥	麥	麥	"	" 500	" 500	×				
譽	麥	麥	麥	"	" 120	" 130	△		10		
片	栗	栗	栗	一	袋	" 1,500	" 1,500	×			
へ	ツ	ト	ト	三	磅	" 1,500	" 1,500	×			
ラ	ー	ド		"		銀 1,500	" 1,500	×			
(建築材料)											
丸	鐵	5 ³ / ₈ —3 ³ / ₄	拾	貫	枚	" 14,000	" 14,800	△		800	
鐵	{	十	三	入	3'×6'	" 2,800	" 2,800	×			
		五	入	二	厘 3'×6'	" 6,900	" 6,950	△		50	
		平	板	#30—3'×6'	" 3,400	" 3,600	△		200		
		同	上	#26—3'×6'	" 4,100	" 4,900	△		800		
亞	{	浪	板	#30—3'×6'	" 3,200	" 3,300	△		100		
		同	上	#26—3'×6'	" 4,100	" 4,100	×		2,000		
		洋	釘	///—5//	百斤入一樽	銀 17,000	銀 19,000	△		200	
阿	{	鑄	色A	二十八磅入	一	樽	金 5,400	" 5,600	△		
		白	鉛	同	"	" 10,200	" 10,200	×			
		小	野	田	"	銀 5,000	銀 5,000	×			
		淺	野	野	"	" 15,000	"	—		—	
		並	四	分	板	一	坪	金 2,060	" 1,200		
セ	メ	ン	ト			" 3,090	" 1,800				

青島物價表 (大正九年三月末日)

(○印ハ増△印ハ減×印ハ保合)

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較増減
白糯米	印特撰赤	一石	金 65,000	金 63,000	△ 1,000
	"	"	" 63,000	" 65,200	△ 2,200
	"	"	" 62,000	" 64,700	△ 2,700
	特撰一	"	" 65,000	" 65,000	×
	特撰二	"	" 63,000	" 63,000	×
麥酒	キリ	四打箱	" 22,560	" 20,000	○ 2,560
	アサ	"	" 22,000	" 23,000	△ 1,000
	サ	"	" 22,000	" 17,000	○ 5,000
	青島	"	" 23,000	" 24,000	△ 1,000
	ナツボ	"	" 22,000	" —	×
清酒	白眞	四斗五升箱	" 93,000	" 102,000	△ 9,000
	東正	"	" 89,000	" 98,000	△ 9,000
	シトロ	"	" 89,000	" 98,000	×
	三ツ矢	四打箱	" 13,000	" 13,000	×
	サイダー	"	" 13,000	" 13,000	×
飲料	リボン	"	" 12,000	" 12,000	×
	正喜	一斤	" 1,300	" 1,300	×
	青柳	"	" 750	" 750	×
	川柳	"	" 650	" 650	×
	龜甲	一斗箱	" 12,000	" 12,000	×
醬油	龜甲	"	" 11,500	" 11,500	△ 50
	白中	一斤	" 350	" 400	△ 30
	澤梅	"	" 320	" 350	×
	白庵干	百目	" 150	" 150	×
	"	"	" 220	" 220	×
漬物	奈京	"	" 500	" 500	×
	漬漬	"	" 180	" 180	×
	瓢葺	"	" 460	" 500	△ 40
	葺布	"	" 3,500	" 3,500	×
	"	"	" 500	" 500	×
乾物	凍凍	"	" 350	" 350	×
	豆菊	"	" 250	" 250	×
	腐藕	"	" 250	" 250	×

青島屠獸場屠殺數

(四月中)

青島實業協會月報 第貳拾九號

日 次		牛	犢	豚	羊	山 羊	計
一	日	244	1	50	1	—	296
三	日	141	—	111	2	—	254
四	日	7	—	21	—	—	28
五	日	194	—	115	1	—	310
六	日	26	—	10	2	—	38
七	日	276	—	22	1	—	299
八	日	49	—	35	5	—	89
十	日	179	—	117	1	—	297
十一	一 日	6	—	15	—	—	21
十二	二 日	131	1	27	2	—	161
十三	三 日	197	—	21	—	—	218
十四	四 日	7	—	23	2	—	32
十五	五 日	182	—	40	2	—	224
十六	六 日	160	—	29	1	—	192
十七	七 日	4	—	28	1	—	33
十八	八 日	—	—	—	—	—	—
十九	九 日	5	—	27	1	—	32
二十	十 日	28	—	26	—	—	54
廿一	十一 日	218	—	26	2	—	246
廿二	十二 日	55	—	47	3	—	105
廿三	十三 日	209	—	34	2	—	245
廿四	十四 日	—	—	32	2	—	—
廿五	十五 日	8	—	—	—	—	42
廿六	十六 日	9	—	32	1	—	42
廿七	十七 日	8	—	28	2	—	38
廿八	十八 日	245	1	27	2	—	275
廿九	十九 日	29	—	49	2	—	80
三十	二十 日	181	—	31	1	—	213
合 計		2,738	5	1,923	39	—	3,865
昨 年 五 月 中		1,986	10	840	40	—	2,876

出 港 乘 船 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神戶	門其ノ他司	朝鮮	上海	芝罘	安東縣	天津	香港	ウヘイルム	バベーン	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計	
日本	人	男	344	202	548	6	19	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	1,126	
		女	109	140	270	5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	526	
支那	人	"	13,439	13	8	—	163	515	835	112	—	—	—	250	98	309	288	394	244	16,563	
		"	1,189	—	—	—	23	73	177	—	2	—	—	9	2	99	51	37	12	1,674	
英國	人	"	3	3	—	—	27	—	—	—	19	—	—	—	—	—	—	—	—	52	
		"	1	2	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
露國	人	"	2	1	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	
		"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
米國	人	"	2	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	
		"	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	
獨逸	人	"	1	1	—	—	3	—	—	—	—	—	377	—	—	—	—	—	—	382	
		"	1	—	—	—	5	—	—	—	—	—	219	—	—	—	—	—	—	225	
佛國	人	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
瑞典	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
波蘭	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
丁抹	人	"	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
比律賓	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合	計	"	13,791	223	556	6	239	515	835	131	377	250	105	309	288	334	244	—	—	18,143	
		"	1,303	142	270	5	37	74	177	—	2	219	9	2	99	51	37	12	—	—	2,439
		計	15,094	362	826	11	267	589	1,012	133	596	239	107	309	339	431	256	—	—	—	20,582

青島大港兩驛乘降客人員 (大正九年四月中)

驛 別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	210	239	1,081	1,439	23,669	44,400	24,960	46,078
大 港 驛	36	6	337	55	19,445	465	19,818	526
合 計	246	245	1,418	1,494	43,114	44,865	44,778	46,604
昨 年 四 月 中	210	191	1,625	1,627	24,494	27,790	26,329	29,608

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
牛	發 著	—	—	—	—	—	—	—
		2,905	—	—	—	—	—	2,905
合 計	"	7,610.8	895.2	2,939.9	—	3,306.1	15.5	14,676.6
	"	8,445.5	232.8	4,956.9	11.9	6,598.5	1.3	29,126.9

青島港出入船舶旅客 (大正九年四月中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大 神 戸	門 ノ 司 他	朝 鮮	上 海	臺 灣	天 津	浦 鹽	安 東 縣	バ ン ク	リ プ ア ル	マ ニ ラ	石 臼 所	海 州	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	關 東 州	計
日 本	人	男	374	334	778	32	31	3	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	1,557
		女	156	266	518	18	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	963
支 那	人	"	3,431	30	7	84	293	75	74	445	7,928	1,435	1	1,237	165	732	528	367	331	17,166	
		"	391	1	—	4	44	18	—	69	—	—	—	153	—	324	192	101	90	1,387	
英 國	人	"	1	1	—	—	—	3	—	—	16	32	—	—	—	—	—	—	—	—	52
		"	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
露 國	人	"	6	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
		"	3	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
米 國	人	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	3
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2
佛 國	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和 蘭	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獨 逸	人	"	1	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
		"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
波 蘭	人	"	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	計	"	3,814	365	785	116	342	377	74	445	79,44	1,467	4	1,237	170	732	528	367	331	18,801	
		"	554	237	518	22	53	218	—	69	—	—	2	153	—	324	192	101	90	2,365	
		計	4,368	632	1,303	138	395	595	74	514	7,944	1,467	6	1,390	170	1,056	720	468	421	21,166	

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
茶	發 著	18.4	2.3	—	—	—	—	20.7
豚	毛	—	0.1	—	—	—	—	0.1
羊	毛	0.3	—	—	—	—	—	0.3
獸	骨	2.1	0.1	—	—	—	—	2.2
		—	—	—	—	—	—	—
		21.0	—	—	—	—	—	21.0
		—	—	—	—	—	—	—
		325.6	0.2	258.7	—	187.3	—	771.8
牛	皮	3.0	0.8	1.0	—	—	—	4.8
豚	皮	74.5	13.7	15.6	0.3	21.5	—	125.6
魚	類	—	—	—	—	—	—	—
		—	0.7	—	—	—	—	0.7
		1,327.1	149.4	98.7	—	128.7	—	1,703.9
		—	0.8	—	—	—	—	0.8
昆布其ノ他海草		1.4	0.2	—	—	8.0	—	9.6
		—	—	—	—	—	—	—
筴		—	—	12.7	—	358.0	—	370.7
木	粉	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)		743.8	18.3	22.5	—	—	—	784.6
		28.2	3.2	10.3	0.9	10.0	—	52.6
燐	寸	88.5	12.3	385.1	—	—	—	485.9
		—	0.1	—	—	—	—	0.1
燐 寸 材 料		10.6	—	59.9	—	95.8	—	166.3
火 藥 類		—	—	—	—	—	—	—
銅 貨		5.0	1.1	19.3	—	—	—	25.4
		—	24.8	—	—	—	—	24.8
青 銅 錢		—	—	—	—	—	—	—
		—	0.1	—	—	—	—	0.1
銅		1.5	1.8	—	—	30.0	—	33.3
		0.6	0.2	—	—	—	—	0.8
家 具		—	0.6	—	—	—	0.9	1.5
		1.8	3.2	6.3	0.2	—	—	11.5
麻 袋 及 布 袋		98.3	41.3	35.2	—	7.4	—	182.2
		0.1	34.3	—	—	1.7	—	36.1
其 ノ 他		68.4	68.0	118.0	—	40.0	4.9	299.3
		475.0	13.8	143.1	2.9	189.5	0.4	924.7
豚		—	—	—	—	—	—	—
羊		7.8	—	—	—	—	—	7.8
驢 及 驢 馬		—	—	—	—	—	—	—
馬		—	—	—	—	—	—	—

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
豆 油	發著	—	—	—	—	—	—	—
牛 油	"	131.1	0.4	53.6	—	—	—	185.1
油 類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	—	—	—	—	—	—
油	"	67.0	9.7	79.8	—	31.1	—	274.9
油	"	9.4	8.1	22.9	—	6.0	—	46.4
油	"	10.9	2.1	—	—	—	—	13.0
油	粕	44.1	—	—	—	—	0.9	45.0
油	"	103.8	—	242.6	—	—	—	346.4
肥 料 各 種	"	—	4.3	43.6	—	—	—	47.9
肥 料 各 種	"	4.0	—	10.3	—	—	—	14.3
麥 稈 眞 田	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
麥 稈 眞 田	"	124.0	0.1	—	—	—	—	124.1
安 平	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
安 平	"	208.8	0.3	14.8	—	—	0.2	224.1
粟 及 粟 稈	"	—	—	—	—	—	—	—
粟 及 粟 稈	"	31.5	—	—	—	—	0.1	31.6
鹽	"	—	—	—	—	—	—	—
鹽	"	—	—	—	—	—	—	—
砂 糖	"	721.9	6.6	176.4	—	89.4	—	994.3
砂 糖	"	—	—	—	—	—	—	—
日 本 酒	"	0.2	6.3	0.4	—	—	—	6.9
日 本 酒	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
ビ ー ル	"	10.1	5.6	22.5	—	—	—	38.2
ビ ー ル	"	—	—	—	—	—	—	—
支 那 酒	"	0.8	—	—	—	—	—	0.8
支 那 酒	"	—	8.4	0.4	0.9	—	—	9.7
食 料 品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	236.8	22.2	1.1	—	—	—	260.1
食 料 品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	2.6	7.6	1.6	0.1	—	—	11.9
乾 物	"	—	5.9	—	—	—	—	5.9
乾 物	"	4.7	0.7	—	—	—	—	5.4
野 菜	"	—	4.2	11.5	—	—	—	15.7
野 菜	"	9.6	7.5	—	—	—	—	17.1
鷄 卵	"	—	—	—	—	—	—	—
鷄 卵	"	7.9	34.2	208.5	0.2	—	0.1	250.9
藍	"	—	—	—	—	—	—	—
藍	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
染 塗 料	"	43.5	12.0	—	—	—	1.9	57.4
染 塗 料	"	49.6	1.8	—	—	10.0	—	61.4
藥 品 及 藥 材	"	60.5	21.2	6.5	—	—	1.8	90.0
藥 品 及 藥 材	"	17.4	1.3	7.4	—	—	—	26.1
曹 達	"	38.1	2.4	—	—	—	—	40.5
曹 達	"	—	0.3	—	0.2	—	—	0.5
石 鹼	"	2.5	4.2	—	—	18.0	—	24.7
石 鹼	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
煙 草	"	36.5	24.0	8.8	—	—	—	69.3
煙 草	"	—	2.2	—	0.1	—	—	2.3
葉 煙 草	"	26.9	—	3.2	—	375.0	—	405.1
葉 煙 草	"	98.0	1.3	23.6	0.8	1,913.3	0.5	2,037.5

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
穀 類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	586.3	0.4	81.0	—	—	—	667.7
	"	181.3	1.8	—	—	—	—	183.1
落 花 生	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	155.1	—	431.5	—	2,869.3	—	3,455.9
麥 粉	"	3.0	1.4	—	—	—	—	4.4
	"	396.8	1.0	15.0	—	—	—	412.8
陶 磁 器 及 土 器	"	1.9	2.1	4.8	—	—	—	8.8
	"	47.0	0.1	32.0	—	—	—	79.1
支 那 紙	"	267.1	5.6	—	—	64.9	—	337.6
	"	0.1	1.6	4.3	—	—	—	6.0
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	—	1.5	15.5	—	8.0	—	25.0
	"	—	0.2	4.2	—	—	—	4.4
麻	"	6.0	0.2	—	—	—	—	6.2
	"	34.0	0.1	—	—	—	—	34.1
綿	"	9.9	—	1.6	—	107.5	0.5	119.5
	"	110.3	0.1	72.8	—	24.0	—	207.2
綿 布	"	163.6	109.1	3.5	—	—	—	279.2
	"	—	6.0	—	0.4	—	—	6.4
綿 絲	"	331.5	170.8	1.0	—	—	—	503.3
	"	—	1.3	291.0	—	14.5	—	305.8
綿 製 品	"	—	2.4	—	—	3.7	0.7	6.8
	"	3.1	2.1	—	0.2	0.1	—	5.5
絹 絲 (屑ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	7.3	2.3	—	—	—	—	9.6
絹 布 類	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	"	—	1.5	—	—	—	—	1.5
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	3.3	—	3.3
	"	25.5	—	—	0.3	4.6	—	30.4
棗	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	10.1	—	—	—	—	—	10.1
梨	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	2.4	0.4	—	—	—	—	2.8
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
蜜 柑	"	—	8.4	3.3	—	—	—	11.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜 西 瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜 子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	2.8	—	—	—	—	2.8
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	1.3	—	—	—	—	1.3
	"	23.6	0.1	—	—	—	—	23.7
石 油	"	—	—	1,142.0	—	801.4	—	1,943.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
落 花 生 油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	50.8	—	433.3	—	—	—	487.1

青島三驛發著貨物主要品 (大正九年四月中)

(單位噸以下一位數類ハ頭數ヲ示ス)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭	發 著	662.0	—	75.0	—	210.0	—	947.0
		1,855.0	1.0	270.0	0.9	987.0	—	3,113.9
コ ー ク ス	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	290.0	0.1	45.0	—	78.0	—	413.1
石 灰	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	792.0	—	653.4	—	36.0	—	1,481.4
煉 瓦 (瓦ヲ含ム)	"	30.0	1.1	—	—	—	—	31.1
	"	32.0	—	—	0.5	—	—	32.5
セ メ ン ト	"	42.5	4.6	—	—	367.5	—	414.6
	"	196.9	—	279.1	—	120.0	—	596.0
硝 子 板	"	29.4	2.0	—	—	—	—	31.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
硝 子 製 品	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
	"	20.5	0.6	—	—	—	—	21.1
桐	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	514.6	—	1,109.4	—	0.6	—	1,624.6
木 材 (板ヲ含ム)	"	275.5	18.4	342.6	—	353.2	—	989.7
	"	58.3	0.1	75.0	—	—	—	133.4
竹 及 割 竹	"	103.2	0.6	0.2	—	—	—	104.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 臼	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
石 材 及 同 製 品	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	—	—	0.1	—	—	0.1
鐵 板 鐵 製 品	"	38.7	4.6	3.0	—	—	—	77.4
	"	5.0	31.8	12.5	2.7	10.0	3.9	34.8
鐵 鍋	"	1.5	—	—	—	76.1	—	77.6
	"	118.6	—	0.2	0.1	—	—	118.9
古 鐵	"	631.1	0.2	—	—	—	—	631.3
	"	—	—	135.0	—	—	—	135.0
大 豆	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	281.0	—	—	—	—	—	281.0
豆 類 (大豆ヲ除ク)	"	73.1	2.1	—	—	—	—	75.2
	"	120.8	0.5	13.6	—	—	—	134.9
高 粱	"	657.6	0.2	205.9	—	154.2	—	1,017.9
	"	4.9	—	—	—	—	—	4.9
小 麥	"	74.5	—	—	—	—	—	74.5
	"	251.0	—	—	—	—	—	251.0
米	"	21.8	15.8	10.3	—	—	—	47.9
	"	957.7	—	—	0.1	—	—	957.8

仕出地	日本船			英國船			米國船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
其他朝鮮	1	836	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	836	—
大連	21	17,501	—	—	—	—	—	—	—	2	4,111	8	3,813	—	—	31	25,425	—
上海	11	9,427	—	10	29,704	—	—	—	—	—	—	—	1	467	—	22	39,598	—
芝罘	1	784	—	—	—	—	—	—	—	1	1,492	1	1,071	—	—	3	3,347	—
天津	2	1,746	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	601	—	3	2,347	—
其ノ他支那諸港	5	373	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	573	—	6	946	—
香港	1	1,169	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,169	—
浦鹽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻尼刺	—	—	—	—	—	—	1	2,501	—	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—
臺灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他外國	—	—	—	1	2,803	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2,803	—
合計	99	66,933	—	12	38,237	—	1	2,510	—	3	5,663	—	12	6,525	—	118	118,908	—

入港汽船揚荷噸數仕出地別 (大正九年三月中)

汽船國籍別	日本內地				臺灣	朝鮮	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	浦鹽	マニラ	其ノ他外國	計
	大	阪	門	司												
日本船	8,358.9	—	11,067.6	—	469.0	434.8	4,674.2	3,426.8	1.0	0.1	33.0	—	—	—	10.0	28,475.4
英國船	—	—	—	—	—	—	—	2,460.6	—	—	78.2	1,129.7	—	—	1,895.0	5,563.5
米國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露國船	—	—	—	—	—	—	—	694.8	—	—	—	—	518.4	—	—	1,213.2
支那船	—	—	—	—	—	—	1,093.0	898.1	—	—	—	—	—	—	—	1,991.1
合計	8,358.9	—	11,067.6	—	469.0	434.8	5,767.2	7,480.3	1.0	0.1	111.2	1,129.7	518.4	—	1,995.0	37,243.2

出港汽船積荷噸數仕向地別 (大正九年三月中)

汽船國籍別	日本內地				臺灣	朝鮮	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	浦鹽	マニラ	其ノ他外國	計
	大	阪	門	司												
日本船	11,477.2	—	32,771.6	—	—	3,132.6	1,831.5	7,425.7	600.0	6.4	—	1,640.0	14.7	—	—	58,499.7
英國船	—	—	—	—	—	—	—	2,049.9	—	—	1,549.3	55.6	—	—	—	3,654.8
米國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	286.4	—	286.4
露國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15.4	—	—	15.4
支那船	—	—	—	—	—	—	27.8	—	54.9	617.0	134.8	—	—	—	—	834.5
合計	11,477.2	—	32,771.6	—	—	3,132.6	1,859.3	9,475.6	654.9	623.4	1,684.1	1,695.6	30.1	286.4	—	63,690.8

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
豆	噸	2,758.7	—	—	—	—	2,758.7
燐	寸	—	—	—	—	—	—
メ	ト	—	—	—	—	—	—
石	油	—	1,300.0	—	—	—	1,300.0
鐵	礦	6,500.0	—	—	—	—	6,500.0
鑛	石	505.7	—	—	90.0	—	595.7
金銀銅貨紙幣	紙幣	0.1	—	—	2.8	—	2.9
其ノ他	他	999.5	79.0	—	36.6	0.1	1,115.2
合 計	計	44,248.8	3,132.6	—	14,297.3	2,112.1	63,593.8

入港汽船仕出地及國籍別 (大正九年三月中)

仕出地	日本船			英國船			米國船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日本內地	42	37,075	—	3	15,871	—	—	—	—	—	—	—	1	691	—	46	53,547	—
仁川	4	1,983	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1,983	—
釜山	2	643	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	643	—
其 他 朝鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大連	21	14,603	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	2,954	—	28	17,557	—
上海	16	15,405	—	5	6,210	—	1	4,351	—	2	4,111	—	2	1,930	—	26	33,097	—
芝罘	4	2,127	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	902	—	6	3,029	—
天津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他支那諸港	5	373	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	—	6	2,883	—
香港	—	—	—	2	10,530	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	10,530	—
浦鹽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,492	—	—	—	—	1	1,492	—
麻呢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺刺	1	962	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	962	—
其ノ他外國	—	—	—	2	5,626	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	5,626	—
合 計	95	73,171	—	12	38,237	—	2	6,961	—	3	5,603	—	12	6,387	—	124	130,259	—

出港汽船仕向地及國籍別 (大正九年三月中)

仕向地	日本船			英國船			米國船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日本內地	39	30,375	—	1	5,730	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	36,105	—
仁川	5	2,409	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	2,409	—
釜山	4	1,413	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1,413	—

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
牛 脂	噸	303.1	—	—	11.1	—	314.2
豚 脂	"	—	—	—	—	—	—
蓖 麻 子 油	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他油類	"	6.0	—	—	—	—	6.0
藥 品	"	—	0.6	—	10.2	—	10.8
染料及塗料	"	—	—	—	48.3	—	48.3
綿 絲	"	—	—	—	803.7	1.4	805.1
絹 絲	"	—	—	—	17.7	—	17.7
絹 屑	"	21.0	—	—	45.0	—	66.0
麻	"	18.0	—	—	—	—	18.0
棉 花	"	120.4	163.5	—	117.8	—	401.7
繭 (屑ヲ含ム)	"	34.9	—	—	—	—	34.9
綿 布	"	—	13.4	—	0.3	—	13.7
絹 布	"	—	0.1	—	2.8	2.2	5.1
麻 袋	"	15.9	—	—	1.7	—	16.7
紙 類	"	—	0.2	—	64.7	—	64.9
石 炭 (淄川)	"	4,880.0	—	—	3,815.7	1,640.0	10,335.7
石 炭 (博山)	"	0.2	0.1	—	153.5	—	153.8
石 炭 (撫順)	"	—	—	—	—	—	—
石 炭 (日本)	"	0.7	—	—	—	—	0.7
石 炭 (開平)	"	—	—	—	—	—	—
石 炭 (大崑崙)	"	—	—	—	—	—	—
同 (青 州)	"	—	—	—	600.0	—	600.0
コ ー ク ス	"	453.0	—	—	15.5	—	468.5
陶 磁 器	"	—	—	—	—	—	—
硝子及同製品	"	0.4	—	—	66.8	7.0	74.2
鐵 (古鐵ヲ含ム)	"	126.5	—	—	0.4	—	126.9
銅 (真 鍮) 塊	"	—	—	—	0.4	—	0.4
其ノ他金屬	"	233.2	—	—	—	—	233.2
金 屬 製 品	"	122.4	—	—	92.6	—	215.0
機 械	"	10.0	—	—	0.1	—	10.1
車 輛	"	0.3	—	—	61.4	—	61.7
桐 材	"	1,538.8	—	—	1.1	—	1,539.9
其ノ他木材	"	—	—	—	42.5	—	42.5
麥 稈 眞 田	"	238.2	20.7	—	51.6	5.5	316.0
家 具	"	28.2	—	—	122.5	14.7	165.4

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (大正九年三月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生牛	噸	109.5	—	—	—	—	109.5
其ノ他動物	"	0.5	—	—	0.5	0.8	1.8
落花生實	"	4,395.8	15.0	—	2,903.6	17.9	7,335.3
豆類	"	21.3	—	—	—	—	21.3
小麥	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	"	850.3	4.7	—	0.1	—	855.1
麥粉	"	—	—	—	—	—	—
蔬菜	"	11.8	6.6	—	11.5	—	29.9
果實	"	2.4	75.0	—	112.3	24.0	213.7
核子	"	—	—	—	—	—	—
白砂糖	"	—	—	—	—	—	—
赤砂糖	"	—	—	—	—	—	—
冰糖	"	—	—	—	—	—	—
鮮魚	"	—	—	—	4.1	—	4.1
其ノ他海產物	"	0.2	—	—	0.5	—	0.7
牛肉	"	974.3	2.1	—	39.1	227.4	1,242.9
鹽豚肉	"	—	—	—	—	—	—
其他獸肉	"	—	—	—	—	—	—
豆素	"	—	—	—	—	—	—
鷄卵	"	161.8	2.5	—	0.4	63.0	227.7
卵製品	"	—	—	—	6.8	—	6.8
麥酒	"	0.2	—	—	775.3	—	775.5
其ノ他酒類	"	—	0.7	—	5.6	—	6.3
鹽	"	16,522.7	600.0	—	—	—	17,122.7
其ノ他食料品	"	—	45.7	—	0.2	8.1	54.0
卷(刻ミ)煙草	"	—	—	—	129.1	—	129.1
葉煙草	"	—	802.7	—	3,719.9	—	4,522.6
獸骨	"	190.0	—	—	—	—	190.0
骨粉	"	296.2	—	—	—	—	296.2
牛皮	"	401.8	—	—	7.0	—	408.8
其ノ他獸皮	"	—	—	—	0.8	—	0.8
羊毛	"	0.8	—	—	12.7	—	13.5
豚毛	"	—	—	—	5.8	—	5.8
落花生油	"	1,369.4	—	—	279.2	—	1,648.0
豆油	"	25.5	—	—	—	—	25.5

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
染料及塗料	噸	83.1	—	—	133.3	75.1	291.5
綿絲	"	380.6	—	—	784.2	—	1,164.8
絹絲	"	1.1	—	—	0.3	—	1.4
麻	"	6.3	—	—	0.1	—	6.4
棉花	"	0.2	—	—	170.3	—	170.5
綿布	"	576.5	8.0	—	424.9	—	1,009.4
絹布	"	2.1	—	—	1.5	—	3.6
麻袋	"	77.5	—	—	3.2	26.3	107.0
洋物雜貨	"	265.1	—	—	40.3	0.6	306.0
日本紙	"	78.6	—	—	2.0	—	80.6
洋紙	"	113.8	—	—	60.1	—	173.9
支那紙	"	—	—	—	1,546.5	—	1,546.5
石炭(撫順)	"	—	—	—	130.0	—	130.0
石炭(日本)	"	1,051.0	—	—	—	—	1,051.9
石炭(開平)	"	—	—	—	—	—	—
セメント	"	700.9	—	—	8.3	—	709.2
煉瓦及瓦	"	24.6	—	—	—	—	24.6
陶磁器	"	88.0	—	—	7.5	—	95.5
硝子及同製品	"	149.4	—	—	27.3	—	176.7
鐵(古鐵ヲ含ム)	"	1,503.1	—	—	263.3	264.9	2,024.3
其ノ他金屬	"	137.3	—	—	194.9	0.1	368.3
金屬製品	"	382.4	0.2	—	200.0	—	582.6
機械	"	113.6	—	—	43.5	—	157.1
電氣用品	"	102.1	—	—	20.0	—	122.1
電車	"	36.5	—	—	79.8	—	116.3
竹材	"	16.9	—	—	1,032.6	—	1,049.5
木材(板ヲ含ム)	"	6,919.6	—	—	1,900.1	1,905.0	10,724.7
燐寸材料	"	660.7	—	—	13.3	—	674.0
木炭	"	234.8	—	—	53.8	—	288.6
蔬菜類	"	662.7	88.9	—	—	7.0	760.6
家具	"	53.7	8.2	1.7	70.1	—	133.7
豆粕	"	—	—	—	—	—	—
阿片	"	—	—	—	—	—	—
石油空罐	"	—	—	—	442.5	—	442.5
箱材	"	930.2	—	—	98.5	—	1,028.7
金銀銅貨紙幣	"	0.2	—	—	0.4	—	0.6
其ノ他	"	877.3	9.3	6.3	249.4	23.8	1,166.1
合計	"	19,423.5	434.8	469.0	13,359.8	3,553.1	37,243.2

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (大正九年三月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
白豆	米類	噸 0.1	65.1	—	284.5	—	349.7
高玉	梁黍	噸 14.9	3.7	—	5.4	—	24.0
蜀小	麥	噸 —	—	—	1,872.6	—	1,872.6
其ノ他穀類及種子	粉	噸 —	—	—	—	—	—
麥	菜	噸 —	—	—	—	—	—
蔬	實	噸 119.0	0.8	—	5.0	—	124.8
果	實	噸 220.1	3.1	—	84.4	6.8	314.4
茶	實	噸 5.5	—	5.6	104.7	—	115.8
白砂	糖	噸 4.8	—	455.4	409.5	164.9	1,034.6
赤砂	糖	噸 —	—	—	1.2	500.4	501.6
冰砂	糖	噸 14.4	—	—	74.8	—	89.2
鮮魚	介	噸 219.3	9.9	—	0.2	518.4	747.8
昆布及海草	草	噸 0.1	0.8	—	—	—	0.9
其ノ他海產物	酒	噸 272.4	105.4	—	341.0	0.4	719.2
日本酒	酒	噸 47.4	4.0	—	9.6	—	61.0
洋酒	酒	噸 11.4	4.0	—	25.5	—	40.9
支那酒	酒	噸 —	—	—	20.2	—	20.2
麥酒	酒	噸 10.8	—	—	0.1	—	10.9
清涼飲料	料	噸 60.4	—	—	26.3	—	86.7
醬油	油	噸 35.3	19.4	—	9.2	—	63.9
味噌	噌	噸 1.8	8.2	—	7.5	—	17.5
其ノ他食料品	品	噸 530.7	22.2	—	124.6	30.6	708.1
卷(刻ミ)煙草	草	噸 181.1	70.6	—	805.2	—	1,166.9
皮革類	類	噸 3.6	3.0	—	9.0	—	15.6
石油	油	噸 —	—	—	—	—	—
桐油	油	噸 —	—	—	107.9	—	107.9
其ノ他油類	類	噸 217.3	—	—	136.5	—	353.8
蠟燭	燭	噸 5.9	—	—	46.5	—	52.4
石鹼	鹼	噸 18.3	—	—	26.3	—	44.6
藥品	品	噸 248.0	—	—	175.8	28.8	452.6
磷寸	寸	噸 813.5	—	—	39.3	—	852.8

輸入支那品仕出地別 (大正九年四月中)

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	9,800	—	—	—	9,800
雲 齊 布(同)	疋	50	—	—	—	50
土 布	擔	23	—	—	—	23
花 色 土 布	擔	131	—	10	—	141
綿 織 絲	擔	4,357	—	16	—	4,373
(雜 貨)						
砒 石	担	362	—	—	—	362
竹 筴	箇	306,860	—	—	—	306,860
竹 筴	担	947	—	—	—	947
筍	"	431	—	—	190	621
書 籍	"	16	—	—	—	16
蠟 燭	"	—	—	—	—	—
米	"	1,891	—	—	—	1,891
磁 石	"	10	—	—	—	10
紙 卷 煙 草	担	3,133	—	247	—	3,380
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	—	—	—
紙 扇	箇	599,300	—	—	—	599,300
小 麥 粉 機 械 製	担	4,123	—	—	—	4,123
夏 布 粗 製	"	71	—	—	—	71
同 精 製	"	28	—	—	—	28
藥	"	147	—	8	149	304
桐 油	"	567	—	—	—	567
紙 一 等	"	1,255	—	—	—	1,255
同 二 等	"	6,517	—	—	339	6,856
同 錫	"	601	28	—	12	641
同 其 ノ 他	"	3	—	—	—	3
糖 菓	"	151	—	—	3	154
三 蒸 酒	"	79	—	5	2	86
靴 綿 及 絹	双	1,737	—	—	—	1,737
生 絲	担	9	—	—	—	9
同 白 黃	担	11	—	—	—	11
同 品 形 田	斤	1,491	—	—	—	1,491
同 鹹 條	担	37	—	—	—	37
同 麥 真 糖	"	—	—	—	—	—
同 砂 (赤)	担	—	—	—	—	—
同 (白)	"	—	—	—	—	—
茶 葉	"	629	44	4	—	677
煙 草 刻 品	"	17	—	—	—	17
木 製	"	11	—	1	—	12

[illegible]

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
日 本	担	130	—	—	—	—	—	90	—	220
石 鹼	〃	405	—	—	—	—	31	—	—	436
同 化 粧	海關兩	3,218	—	153	—	—	611	591	—	4,573
曹 醬	担	21	—	—	1,363	—	1,614	50	—	3,048
	〃	271	—	—	—	—	—	75	—	346
砂 糖 (赤)	〃	—	—	—	3,975	—	—	—	—	3,975
同 糖 (白)	〃	—	—	—	—	—	—	708	—	708
同 精 製	〃	—	—	—	4,825	—	7	8	—	4,840
同 冰	〃	200	—	—	825	—	—	1,017	14	2,056
木 材 (堅)	立方呎	45,194	—	—	—	—	31,632	—	—	76,826
同 材 (軟)	〃	1,732,604	—	479,900	—	—	36,571	52,293	—	2,301,368

輸 出 支 那 品 仕 向 地 別 (大正九年四月中)

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生 豆	頭	314	—	—	—	—	32	—	—	346
黃 柏	担	21,858	—	—	—	—	—	—	—	21,858
牛 豆	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
牛 肉	クォーター	4,847	—	—	—	2,664	316	18	—	7,845
牛 骨	担	12,765	—	—	—	—	—	—	—	12,765
銅 豚	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
毛 氈	〃	—	—	—	—	—	—	249	54	303
東 帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
炭 灰	噸	70	—	—	—	—	—	4,965	240	5,275
山 花	担	48	—	—	—	—	859	93	—	1,000
錫 黑	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋 白	〃	—	—	—	77	—	—	—	—	77
蛋 乾	〃	165	—	—	—	—	—	56	—	221
	〃	—	—	—	—	—	—	1,176	—	1,176
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鷄 卵	個	2,049,300	—	—	—	—	—	—	—	2,049,300
麻 鹽	担	4	—	—	—	—	—	—	—	4
果 鮮	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
硝 子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
落 花	〃	—	—	—	69	—	—	165	100	265
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	69

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥 担	1,029	—	—	—	—	200	—	—	1,229
蠟 燭	担	24	—	—	—	—	1	—	—	25
セ メ ソ ト	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	担	8,640	—	—	—	—	—	3,000	—	11,640
磁 石 瓦 器	海關兩	3,141	37	—	—	—	195	—	—	3,374
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	7,000	—	—	10,710	—	270	17,980
同 (日本品)	〃	3,974	—	—	—	—	—	—	—	3,974
掛 置 時 計	個	723	—	—	—	—	902	—	—	1,625
石 炭	噸	734	—	—	—	—	—	—	—	734
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	—	—	—	—	—	684	—	—	684
人 造 藍	担	2	—	—	2	—	632	—	—	636
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	35	—	—	—	—	35
白 鉛 粉	〃	21	—	—	300	—	—	—	10	341
ロ シ ャ 越 幾 斯	〃	—	—	—	—	—	10	—	—	10
電 氣 材 料	海關兩	2,906	—	—	—	—	2,622	193	—	5,721
珞 瑯 洗 面 器	打	308	—	—	—	—	—	—	—	308
麥 粉	担	3,774	—	—	—	—	—	—	—	3,774
窓 硝 子	箱	242	—	—	—	—	90	—	—	332
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	1,263	—	—	—	—	907	15	—	2,185
燐 寸 (黃 燐)	哥	78,100	—	—	—	—	—	4,000	6,400	88,500
同 (安 全)	〃	—	—	—	—	—	—	4,700	—	4,700
疊 及 莫 座	枚	43,125	—	—	6,330	—	—	—	—	49,455
コンデンスミルク	打	4	—	—	—	—	101	—	—	105
針	千 本	36,700	—	—	—	—	750	—	—	37,450
石 油 (米品箱入)	ガロン	—	—	324,645	—	—	—	—	—	324,645
同 (裸)	〃	—	—	1,890,197	—	—	—	—	—	1,890,197
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 胡	担	1,707	—	—	22	—	691	405	—	2,825
椒	〃	—	—	—	335	—	—	—	—	336
米	〃	972	—	—	990	—	—	—	—	1,962
昆 布	〃	187	—	—	454	—	—	—	—	641

品 目	單 位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計 合
タ オ ル	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	16	—	—	—	—	—	—	—	19
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	—	2,170	—	—	2,170
同 (日 本)	"	1,372	—	—	—	—	32	—	—	1,404
綿 縫 絲(絲卷)	哥	4,049	—	—	—	—	3	—	—	4,052
(毛綿交織類)										
ユニオン及ボンチ ヨークロース	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(毛製品類)										
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林ウール及毛絲 (雜質織物類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
絹 製 品 交 織 (金 屬 品)	斤	4,047	—	—	—	—	1,191	726	—	5,964
片	担	60	—	—	—	—	—	—	—	60
線	"	69	—	—	—	—	—	—	—	69
銅 板	"	7	—	—	—	—	—	—	—	7
鐵及軟鐵 (新)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
條	担	428	—	—	450	—	72	15	—	965
屑 鐵 及 屑 鐵 線	"	13	—	—	122	—	589	—	—	724
籠	"	—	—	—	—	—	118	—	—	118
橡	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	"	6	—	—	—	—	—	—	—	6
ネール(フイヤー)	"	45	—	—	104	—	8	95	—	252
片 及 板	"	136	—	—	—	—	82	—	—	218
線	"	14	—	—	26	—	20	—	—	60
鐵 及 軟 鐵(古)	"	8,580	—	—	6,849	—	2,395	15	—	17,836
鍍 金 鐵 片	"	279	—	—	—	—	28	—	—	307
鉛 塊	"	14	—	—	22	—	222	—	—	258
鋼 鐵	"	—	—	—	—	—	736	—	—	736
葉 鐵	"	—	—	225	—	—	1,566	—	—	1,791
白 銅 片 及 線	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(雜 貨)										
麻 袋	枚	1,044	—	—	1,608	—	—	—	—	2,652
麥 酒 帶	担	737	—	—	—	—	—	—	—	737
綿 帶	"	18	—	—	—	—	—	1	—	19
バ タ 一	擔	—	—	—	—	—	22	—	—	22

青島輸出入貿易 (大正九年四月中)

— 膠海關貿易統計 —

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金巾	疋	7,920	—	—	—	—	2,170	1,570	—	11,660
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	320	—	—	320
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	190	—	—	190
同 (日本品)	"	5,623	—	—	—	—	—	2,944	—	8,567
晒金巾	"	1,912	—	—	—	—	1,751	161	—	3,824
綾金巾	"	—	—	—	—	—	100	—	—	100
雲齋布(米品)	"	—	—	—	—	—	90	—	—	90
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	20	—	—	—	—	—	40	—	60
ツエーン(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	160	—	—	160
同 (日本品)	"	4,936	—	—	—	—	—	3,110	—	8,046
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	4,160	—	—	4,160
同 (日本品)	"	42,820	—	—	—	—	440	300	—	43,560
寒冷紗及綿紗	"	60	—	—	—	—	714	—	—	774
平織捺線染色各種	"	4,404	—	—	—	—	1,788	1,367	4	7,563
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリンテッド フラーネチュロー	"	—	—	—	—	—	149	1	—	150
捺線綿襪子	"	—	—	—	—	—	—	67	—	67
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	200	—	5	205
コットンイタリア ン及ラッスイング	"	12,797	—	—	—	—	3,318	1,821	—	17,936
イーズドブラック	"	—	—	—	—	—	1,670	—	7	1,677
同平織染色	"	33	—	—	—	—	90	820	—	943
同 綾	"	—	—	—	—	—	320	—	—	320
緋金巾及綿天竺布	"	15,460	—	—	—	—	2,730	2,774	—	20,964
綿スパニシストラ イプ 六十四吋	担	—	—	—	—	—	72	—	—	72
綿フランネル	"	967	—	—	—	—	156	—	—	1,123
同 フランケット	"	12	—	—	—	—	—	1	—	13
手 巾	打	1,493	—	—	—	—	306	15	—	1,814

◁青島實業協會月報第貳拾九號▷

◁統計表目次▷

☐	青島輸出入貿易(膠海關統計)(四月中).....	1
☐	埠頭陸揚貨物噸數仕出地別(三月中).....	7
☐	同船積貨物噸數仕向地別(三月中).....	9
☐	入港汽船仕出地及國籍別(三月中).....	11
☐	出港汽船仕向地及國籍別(三月中).....	11
☐	入港汽船揚荷噸數仕出地別(三月中).....	12
☐	出港汽船積荷噸數仕向地別(三月中).....	12
☐	三驛發著貨物主要品(四月中).....	13
☐	青島港出入船舶旅客表(四月中).....	17
☐	青島大港兩驛乘降客(四月中).....	18
☐	青島屠獸場屠殺數(五月中).....	19
☐	青島物價表(四月末日).....	20

(定不序順)

青島實業協會員

大正九年五月現在

會 員		代 表 者		所 在																											
岩 城 商 會 支 店	伊藤忠商事株式會社青島支店	原田汽船株式會社青島支店	日本郵船株式會社青島出張事務所	日本綿花株式會社 青島出張所	東 和 公 司 青 島 支 店	東亞煙草株式會社 青島販賣所	朝 鮮 銀 行 青 島 支 店	大倉商事株式會社 青島出張所	橫濱正金銀行 青島支店	大連汽船株式會社 青島出張所	大日本麥酒株式會社 青島出張所	內外綿株式會社 青島出張所	山 田 出 張 所	三菱商事株式會社 青島出張所	茂木合名會社 青島出張所	神戸棧橋株式會社 青島派出所	山東運輸株式會社 青島支店	日華協信公司 青島支店	青 島 絲 織 廠	山 東 化 學 工 業 所	青 島 鹽 業 株 式 會 社	東洋殖產株式會社 青島支店	東洋製油株式會社 青島支店	大 星 公 司 青 島 支 店	久原商事株式會社 青島出張所						
田邊郁太郎	西岡清市	川畑竹馬	近澤武男	林 田 勇	河原熊太郎	西村義郎	讚井源輔	石橋藤次郎	太田保一郎	松本文三郎	三宅重孝	佐々木國藏	山田三平	濱 丈 夫	永井貢	河南薰	神谷武松	藤波茂時	鈴木格三郎	磯野清平	三好光三郎	針貝金次郎	田中穆	遠藤要	佐久間長吉郎						
早舟町	所澤町	所澤町	葉櫻町	北京町	北京町	北京町	所澤町	早舟町	所澤町	葉櫻町	臺東鎮長通	市外四方庄	北京町	市場通	葉櫻町	早舟町	葉櫻町	北京町	工場地	工場地	濟南町	佐賀町	若鶴町	早霧町							
會 員		代 表 者		所 在																											
山東葉煙草株式會社	江商株式會社 青島支店	安部幸兵衛商店 青島出張所	湯淺貿易株式會社 青島出張所	三井物產株式會社 青島支店	南滿洲鐵道株式會社 青島出張所	峯村鈴木商店 青島出張所	合名會社鈴木商店 青島支店	中 村 盛 青 島 支 店	和 盛 青 島 支 店	東洋鹽業株式會社 青島支店	泰 利 青 島 支 店	山 東 興 業 株 式 會 社	青 島 製 粉 株 式 會 社 支 店	青 島 粉 株 式 會 社 出 張 所	新 利 洋 行 青 島 出 張 所	太 平 商 事 株 式 會 社 青 島 支 店	福 昌 公 司 青 島 出 張 所	南 昌 洋 行 青 島 出 張 所	內 外 貿 易 株 式 會 社 青 島 出 張 所	大 連 製 氷 株 式 會 社 青 島 支 店	龍 口 銀 行 青 島 支 店	東 省 實 業 株 式 會 社 青 島 支 店	中 外 綿 業 株 式 會 社 青 島 出 張 所	濱 口 商 事 株 式 會 社 青 島 出 張 所	長 瀨 洋 行 青 島 出 張 所	青 島 銀 行	日 華 實 業 株 式 會 社	山 東 起 業 株 式 會 社	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	大 田 畜 事 株 式 會 社	大 阪 商 船 株 式 會 社
伊東經真	一宮晃	副島高市	小林乃	飯塚重五郎	內 九 勇	峯村正三	金子慶治	原辰治	石本貫一	秋元定恭	松崎翠	空閑知鷺治	吉澤干城	百澤深	古賀茂登吉	飯田啓三郎	田中三昇	中村道三	河上律一	倉脇武治	原田昇	田子金吾	前谷庫太郎	大村隆行	橋 文 助	石井久次	中村康之助	村地卓爾	倉田敬三	空閑知鷺治	川原井作司馬
輕藻町	所澤町	所澤町	葉櫻町	所澤町	葉櫻町	葉櫻町	吳淞町	吳淞町	若葉町	大和町	早霧町	早舟町	市場通	三月月町	野山町	河南町	若葉町	早霧町	三日月町	保定町	若葉町	北京町	大黑町	伏波町	市場通	所澤町	久留米町	筑後町	早舟町	早舟町	

大正九年五月十八日印刷

大正九年五月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）

發行兼編輯者
印刷所
印刷人

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十四番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地足立孝社
（實費銀參拾錢）